

第2期  
高原町地域福祉計画  
・地域福祉活動計画

令和4年度～令和8年度

令和4年3月

高原町  
高原町社会福祉協議会



## ごあいさつ

令和3年4月に改正社会福祉法が施行され、重層的支援体制整備事業が創設されました。これまで福祉政策が整備してきた、対象者ごとの支援体制では、人々が持つ様々な支援ニーズへの対応が困難になってきたことが背景にあります。また、新型コロナウイルスの蔓延等の影響により、地域においても、人と人との関係性がこれまでとは大きく変化し、世帯が抱える悩みに気付きにくくなった部分もあります。

そのような中、重層的支援体制整備事業では、市町村全体の支援機関の連携をはじめ、地域住民が支え合い、それぞれのコミュニティの中で様々な問題・課題を早期発見して、解決できるような包括的な支援体制の構築を目的としています。

高原町では、平成28年3月に高原町地域福祉計画を策定し、地域に暮らす全ての人々が支え合い、生きがいを持って生活していけるように、「一人ひとりが輝き、みんなであわさを分かちあう福祉のまちづくり」を基本理念とし、各種福祉施策を進めてまいりました。

今回、計画の見直しに併せて、高原町社会福祉協議会の地域福祉活動計画との一体的な計画として策定し、より効果的で実効性のあるものとなりました。高原町におけるまちづくりの基本的な考え方をはじめ、包括的な支援体制の構築や、生活支援の体制づくりを推進するための取組が盛り込まれています。

今後も、本計画の実現に向け、各種施策を積極的に推進してまいりますので、町民の皆様及び関係機関の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、アンケート調査にご協力をいただきました町民の皆様をはじめ、ヒアリング調査にご協力いただきました福祉関係事業所の皆様、さらに、策定の過程においてご議論いただきました策定委員の皆様に、心よりお礼申し上げます。

令和4年3月

高原町長 高妻 経信



## ごあいさつ

「一人ひとりが輝き、みんなであわさを分かちあう福祉のまちづくり」  
を目指して

平素より皆様におかれましては、高原町社会福祉協議会の各種活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

近年、少子高齢化の進展に伴い、高齢者、障がい者あるいは子育て家庭等が抱える多様な課題に対し、公的サービスだけでは解決できない状況が散見されるようになりました。

こうした中、誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしていくためには、行政・地域住民・福祉関係事業者・ボランティアなどによる地域福祉活動を推進することが、これまで以上に重要になっています。

本会は、地域での生活や福祉課題の解決に向け、平成29年度に「高原町地域福祉活動計画」を策定し、地域福祉の推進に努めてまいりましたが、このたび、「第2期高原町地域福祉活動計画」を策定するにあたり、高原町の策定する「第2期高原町地域福祉計画」と一体的に策定することで、町との連携姿勢をより明確にしています。

地域福祉の課題やニーズは、地域の中にあり、それを的確に解決する方法も地域の中にあると考えます。本会といたしましては、地域福祉の推進主体であります町民の皆様に対しまして、引き続き積極的な活動をお願い申し上げる次第です。

そして、「一人ひとりが輝き、みんなであわさを分かちあう福祉のまちづくり」を基本理念とし、地域福祉の一層の充実のために、町民の皆様とともに、本会の役職員が一体となって更なる取組を進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただいた策定委員会委員の皆様、そして、アンケートにご協力をいただいた町民の皆様や関係団体各位に心より感謝申し上げます。

令和4年3月

社会福祉法人 高原町社会福祉協議会

会長 北迫 泉



# 目 次

第1章 計画策定にあたって .....	1
1 計画策定の背景と趣旨 .....	1
2 各計画の位置づけ .....	4
3 計画期間 .....	7
4 計画の策定体制 .....	8
第2章 高原町の地域福祉を取り巻く状況 .....	9
1 統計データからみる高原町の状況 .....	9
2 アンケート調査結果の概要 .....	16
3 地区別ヒアリング調査結果の概要 .....	24
4 関係団体ヒアリング調査結果の概要 .....	26
5 高原町の地域福祉を取り巻く課題 .....	31
第3章 計画の基本理念と基本目標 .....	33
1 基本理念 .....	33
2 基本目標 .....	34
3 施策の体系 .....	35
第4章 施策の展開 .....	36
基本目標1 地域で支え合いの体制づくり .....	36
基本目標2 支援を必要とする人への支援の充実と権利擁護 .....	46
基本目標3 安全な福祉環境の整備 .....	57
第5章 計画の推進に向けて .....	63
1 地域住民を中心とした協働による計画の推進 .....	63
2 計画の普及・啓発 .....	64
3 県及び近隣の市町との連携 .....	64
4 計画の推進及び評価・進行管理 .....	65
資料編 .....	66
1 高原町地域福祉計画策定委員会設置要綱 .....	66
2 高原町地域福祉計画策定委員会委員名簿 .....	68
3 高原町地域福祉計画作業部会委員名簿 .....	69
4 策定の経緯 .....	70
5 用語解説 .....	71
6 アンケート調査 .....	75

「\*」がついている用語については、資料編「5 用語解説」において用語の解説を掲載しています。





# 第1章 計画策定にあたって

## 1 計画策定の背景と趣旨

### (1) 地域福祉とは

「地域福祉」とは、誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して生活が送れるように、地域における様々な生活課題の解決に向けて、あらゆる主体が連携し、地域全体で支え合いながら、取り組んでいくことです。

「地域福祉」の推進にあたっては、住民自らの行動による「自助」、住民同士の自発的な助け合いによる「互助」、制度化された相互扶助による「共助」、行政などが取り組む「公助」、そして、住民と行政など地域に関わる主体がそれぞれの特長を生かしながら「協働」することが重要となります。

また、社会福祉法においても、地域住民、社会福祉関係者等が相互に協力して地域福祉の推進に努めるよう定められています。

#### (地域福祉の推進)

第四条 地域福祉の推進は、地域住民が相互に人格と個性を尊重し合いながら、参加し、共生する地域社会の実現を目指して行われなければならない。

2 地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者（以下「地域住民等」という。）は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が確保されるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

### (2) 計画策定の社会的背景

我が国では人口減少社会となり、少子高齢化の進行とともに、ライフスタイルや個人の価値観の多様化、家族形態の変化等が進んでいます。そうした中で、孤独死や虐待、ひきこもり、貧困問題などに加えて、いわゆる8050問題\*やダブルケア\*など、地域における生活課題はますます複雑化・多様化してきています。しかし、地域・家庭・職場などの生活の様々な場における、支え合いの基盤は弱まってきており、身近な生活課題を家族や近隣同士で解決することのできる関係性が薄れつつあります。一方、近年では、全国各地で大規模な自然災害が発生しており、災害時の助け合いなどにより、地域コミュニティの重要性や地域のつながりの重要性が再認識されています。

このような社会的背景の中で、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送るためには、地域における生活課題や福祉ニーズ等を地域住民自らが早期に把握し、適切に対応できるようにしていくことが重要です。そのため、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共につくっていくことのできる「地域共生社会」の実現に向けた体制整備などを進めていくことが求められています。

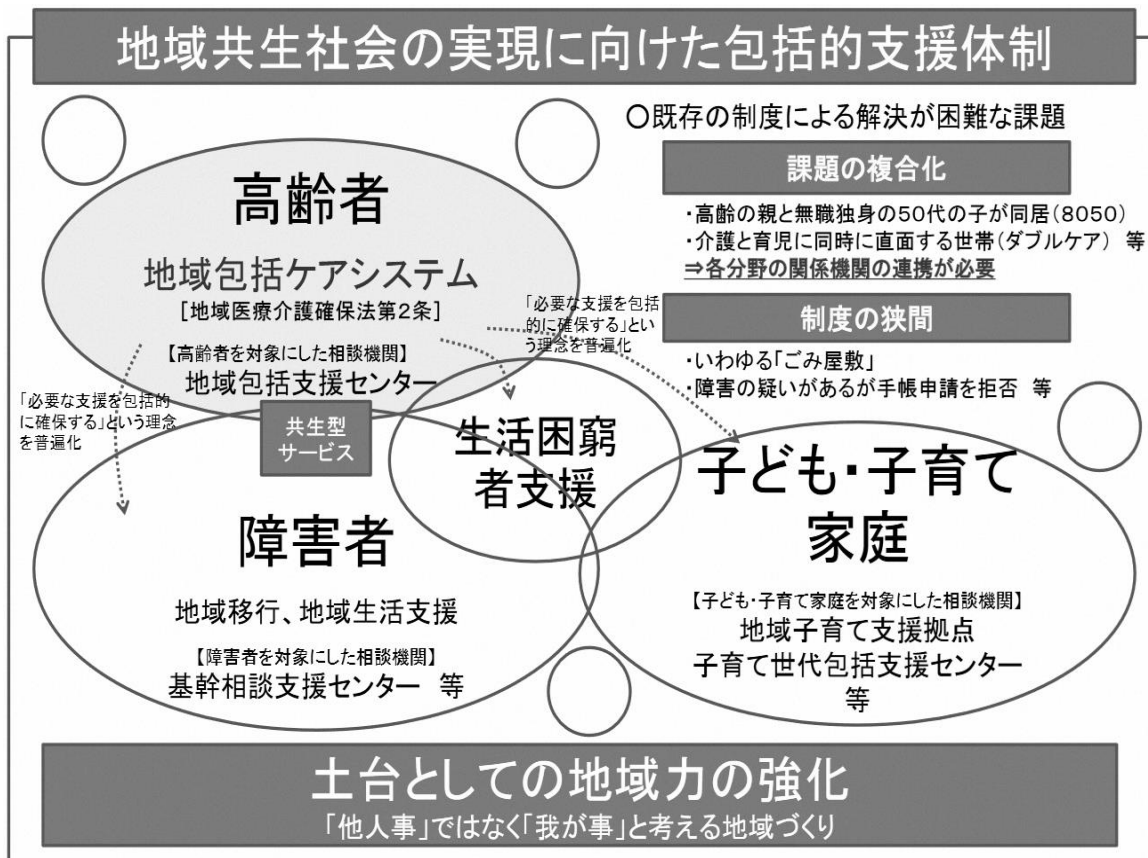
### (3) 地域共生社会の実現に向けて

「地域共生社会」とは、制度・分野ごとの縦割りや「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共につくっていく社会のことです。

地域共生社会の実現に向けては、地域住民の暮らしに関わる個々の生活課題に対して、地域全体で支えていけるように、地域力を強化するとともに、複雑化・多様化する生活課題にも対応できるように、分野を問わず包括的に相談・支援が行える体制の構築が求められています。

この包括的な支援体制については、高齢者を対象とする「地域包括ケアシステム\*」における「必要な支援を包括的に確保する」という理念を普遍化し、高齢者だけでなく、障がい者、子ども・子育て家庭、生活困窮者など、生活上の困難を抱える地域住民への包括的な支援体制としていくことが必要です。

#### ■地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制のイメージ図



資料：厚生労働省作成資料

#### (4) 計画策定の趣旨

---

高原町（以下「本町」という。）では、平成28年3月に「高原町地域福祉計画」を策定し、「一人ひとりが輝き、みんなでしあわせを分かちあう福祉のまちづくり」を基本理念として、行政と社会福祉協議会、関係機関・団体との連携により『地域福祉』に関する施策を総合的に推進してきました。また、高原町社会福祉協議会では、「高原町地域福祉計画」との整合性を図りつつ、平成29年3月に「高原町地域福祉活動計画」を策定し、「元気なまち たかはる 豊かなまち たかはる 笑顔あふれるまち たかはる」を基本理念として、『自助』『互助・共助』『公助』を重層的に組み合わせた、地域ぐるみの福祉を推進してきました。

「高原町地域福祉計画」は令和2年度に最終年度を迎え、「高原町地域福祉活動計画」も令和3年度で最終年度となることから、社会情勢の変化や本町の実情を踏まえながら、より地域住民のニーズに沿った内容で更なる地域福祉の推進を図るため、計画の見直しを行い、「第2期高原町地域福祉計画・地域福祉活動計画」（以下「本計画」という。）を策定します。

## 2 各計画の位置づけ

### (1) 地域福祉計画とは

「地域福祉計画」とは、社会福祉法第107条の規定に基づいて市町村が策定する地域福祉の推進に関する計画であり、地域福祉推進の主体である地域住民等の参加により、地域生活課題を明らかにするとともに、その解決のために必要となる施策の内容や体制等について、目標を設定し、計画的に整備していくことを内容とするものです。

平成30年4月の社会福祉法の一部改正により、地域共生社会の実現に向けた「地域福祉の理念」に加えて、新たに「推進方策」として、支援を必要とする住民（世帯）が抱える多様で複合的な地域生活課題について、住民や福祉関係者による把握及び関係機関との連携等による解決を目指すことが規定されています（社会福祉法第4条第3項）。

また、市町村の責務を具体化し、地域福祉を推進する上での公的責任を明確にするために、地域の力と公的な支援体制による、地域生活課題を解決するための「包括的な支援体制の整備」に努めることが規定され、令和3年4月の一部改正では、包括的な支援や地域住民等による地域福祉の推進に向けた重層的支援体制整備事業\*が創設されています（社会福祉法第106条の3第1項）。

さらに、福祉の各分野における共通事項を定め、上位計画として位置づけられるとともに、市町村による「地域福祉計画」の策定が努力義務化されました（社会福祉法第107条）。

#### (地域福祉の推進)

##### 第四条

3 地域住民等は、地域福祉の推進に当たっては、福祉サービスを必要とする地域住民及びその世帯が抱える福祉、介護、介護予防（要介護状態若しくは要支援状態となることの予防又は要介護状態若しくは要支援状態の軽減若しくは悪化の防止をいう。）、保健医療、住まい、就労及び教育に関する課題、福祉サービスを必要とする地域住民の地域社会からの孤立その他の福祉サービスを必要とする地域住民が日常生活を営み、あらゆる分野の活動に参加する機会が確保される上での各般の課題（以下「地域生活課題」という。）を把握し、地域生活課題の解決に資する支援を行う関係機関（以下「支援関係機関」という。）との連携等によりその解決を図るよう特に留意するものとする。

##### (包括的な支援体制の整備)

第百六条の三 市町村は、次条第二項に規定する重層的支援体制整備事業をはじめとする地域の実情に応じた次に掲げる施策の積極的な実施その他の各般の措置を通じ、地域住民等及び支援関係機関による、地域福祉の推進のための相互の協力が円滑に行われ、地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制を整備するよう努めるものとする。

##### (市町村地域福祉計画)

第百七条 市町村は、地域福祉の推進に関する事項として次に掲げる事項を一体的に定める計画（以下「市町村地域福祉計画」という。）を策定するよう努めるものとする。

- 一 地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項
- 二 地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項
- 三 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項
- 四 地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項
- 五 地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制の整備に関する事項

## (2) 地域福祉活動計画とは

---

「地域福祉活動計画」とは、社会福祉法第109条で「地域福祉の推進団体」とされる社会福祉協議会が呼びかけて、「地域住民」「地域で社会福祉活動を行う者」「社会福祉事業を営業者」が主体的に参加して策定する、互いの協力により地域福祉を推進していくことを目的とした民間の活動計画です。実践的な活動計画として、具体的な行動と関係機関の役割分担が明示されたものです。

(市町村社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会)

第百九条 市町村社会福祉協議会は、一又は同一都道府県内の二以上の市町村の区域内において次に掲げる事業を行うことにより地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であつて、その区域内における社会福祉を目的とする事業を営業者及び社会福祉に関する活動を行う者が参加し、かつ、指定都市にあつてはその区域内における地区社会福祉協議会の過半数及び社会福祉事業又は更生保護事業を営業者の過半数が、指定都市以外の市及び町村にあつてはその区域内における社会福祉事業又は更生保護事業を営業者の過半数が参加するものとする。

## (3) 地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体的な策定

---

本町が策定する地域福祉計画と高原町社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画を一体的に策定することで、地域福祉に関わる行政や社会福祉協議会、地域住民、団体等、それぞれの役割が明確になり、共通の理念や目標のもとで、より効率的、効果的な活動や事業の展開が可能となります。このため、本計画では、地域福祉計画と地域福祉活動計画を一体的に策定することとします。

## (4) 地方再犯防止推進計画の位置づけ

---

本計画の基本目標2「(3) 再犯防止に向けた取組の推進」を再犯の防止等の推進に関する法律第8条第1項に規定される「地方再犯防止推進計画」として位置づけ、本計画に包含するものとします。

(地方再犯防止推進計画)

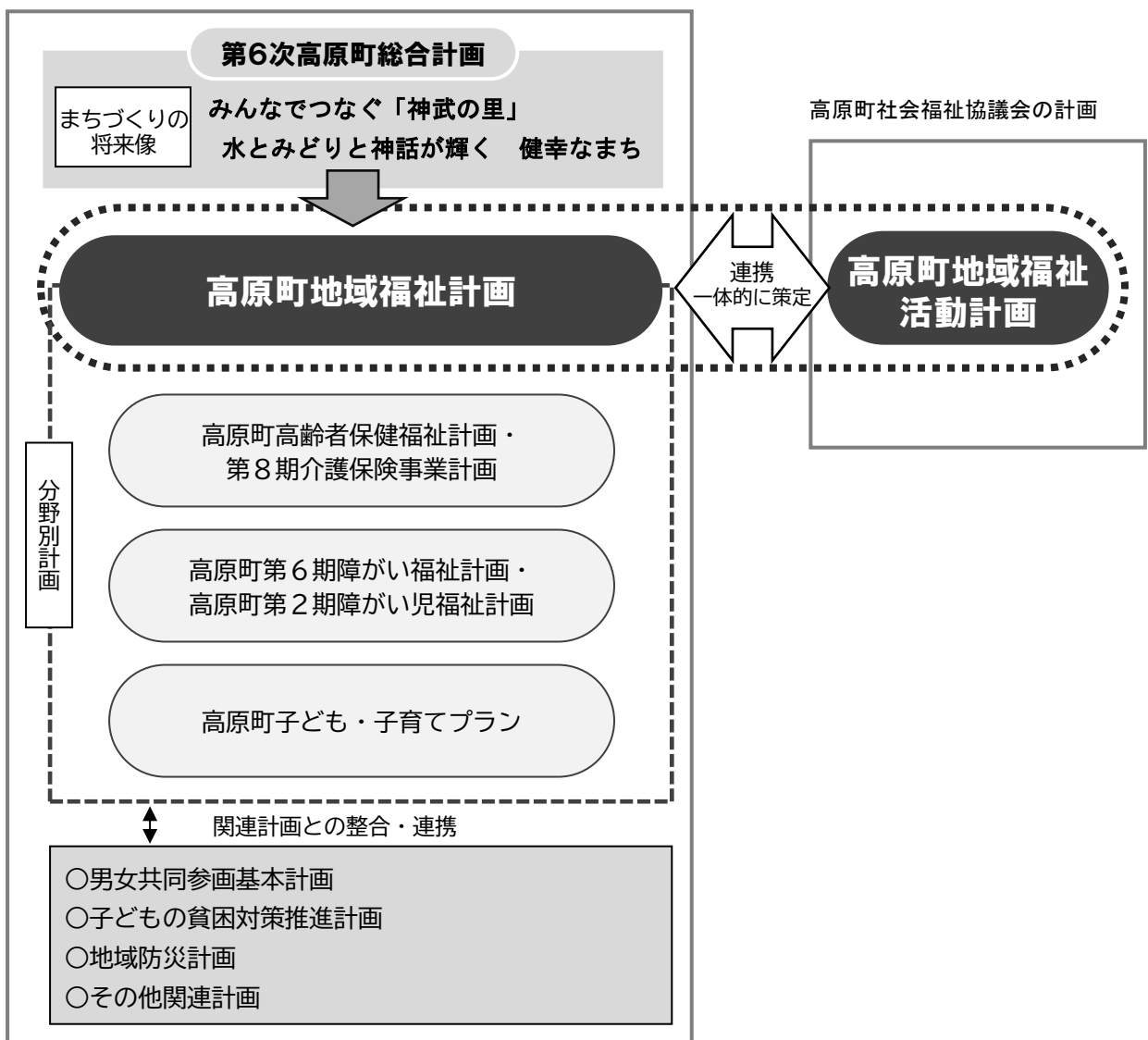
第八条 都道府県及び市町村は、再犯防止推進計画を勘案して、当該都道府県又は市町村における再犯の防止等に関する施策の推進に関する計画（次項において「地方再犯防止推進計画」という。）を定めるよう努めなければならない。

## (5) 他の計画との関連

本計画は、本町の「高原町総合計画」を上位計画とし、保健・福祉の分野別計画が共通して取り組む事項等を一体的に定め、その他の関連計画とも整合や連携を図りながら、分野別計画を横断的につなげていく、保健・福祉に関する総合的な計画として地域福祉の理念や仕組みをつくるものです。また、地域住民の主体的な参加と多様な主体との協働により、誰もが住み慣れた地域の中で、安心して充実した生活を送ることのできる地域共生社会を実現するための、地域福祉推進の指針として位置づけます。

### ■高原町地域福祉計画・地域福祉活動計画の位置づけ

高原町の計画



### 3 計画期間

計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。ただし、社会経済情勢の変化や大きな制度改正などに柔軟に対応できるよう、必要に応じて見直しを行います。

#### ■計画期間

令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	
	高原町地域 福祉計画	見直し	第2期高原町地域福祉計画・ 地域福祉活動計画					次期計画		
	高原町地域福祉 活動計画									
			第5次高原町総合計画 (後期基本計画)				第6次高原町総合計画 (前期基本計画)			
							次期計画			

※「高原町地域福祉計画」は、「高原町地域福祉活動計画」と次期計画の開始時期を合わせるために1年の見直し期間を設け、計画期間を調整しています。

## 4 計画の策定体制

---

本計画の策定にあたっては、町民等のニーズや課題を把握し、それらを計画に反映させていくため、アンケート調査や事業所ヒアリング調査等を実施するとともに、策定段階から関係者及び町民の意見聴取を行うため、計画策定委員会での協議・検討を行いました。

### ○アンケート調査の実施

20歳以上の町民に対するアンケート調査を実施し、町民の地域での生活や地域福祉に関する意識の把握を行いました。

### ○地区別ヒアリング調査の実施

民生委員・児童委員を対象に、地域の実情や地域福祉を進めるための課題を把握するため、ヒアリング調査を実施しました。

### ○関係団体ヒアリング調査の実施

地域において福祉活動に取り組んでいる団体に対し、事業所ヒアリング調査を実施し、地域の福祉に関する課題や活動内容等の把握を行いました。

### ○計画策定委員会の開催

本計画の策定にあたっては、関係者及び町民の意見を広く聴取するため、学識経験者や福祉関係団体、地域活動団体等の代表者で構成される計画策定委員会を開催し、委員から本計画に係るご意見・ご審議をいただきながら、検討・策定を進めました。

### ○パブリックコメントの実施

本計画について、町民から幅広い意見を募集するため、計画案に対するパブリックコメントを令和4年1月から2月にかけて実施しました。



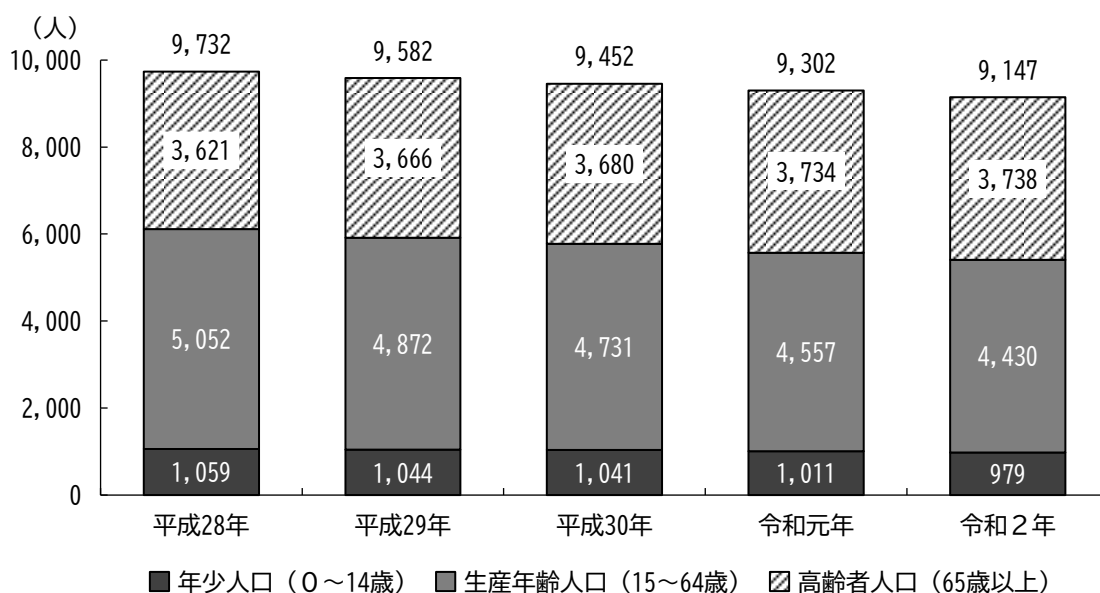
## 第2章 高原町の地域福祉を取り巻く状況

### 1 統計データからみる高原町の状況

#### (1) 人口・世帯の状況

年齢3区分別人口の推移をみると、総人口は減少が続いており、平成28年の9,732人から令和2年は9,147人と、585人減少しています。年齢3区分別では、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）は減少が続いているのに対して、高齢者人口（65歳以上）は増加が続いています。

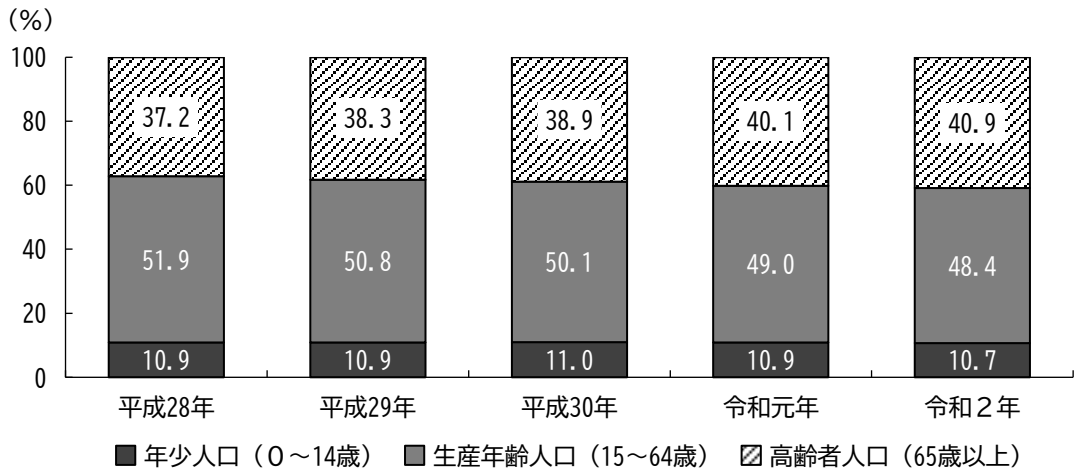
■ 年齢3区分別人口の推移



出典：住民基本台帳（各年9月末日現在）

年齢3区分別人口構成比の推移をみると、年少人口（0～14歳）はほぼ横ばい、生産年齢人口（15～64歳）は低下しているのに対して、高齢者人口（65歳以上）は上昇が続いており、令和2年は40.9%となっています。

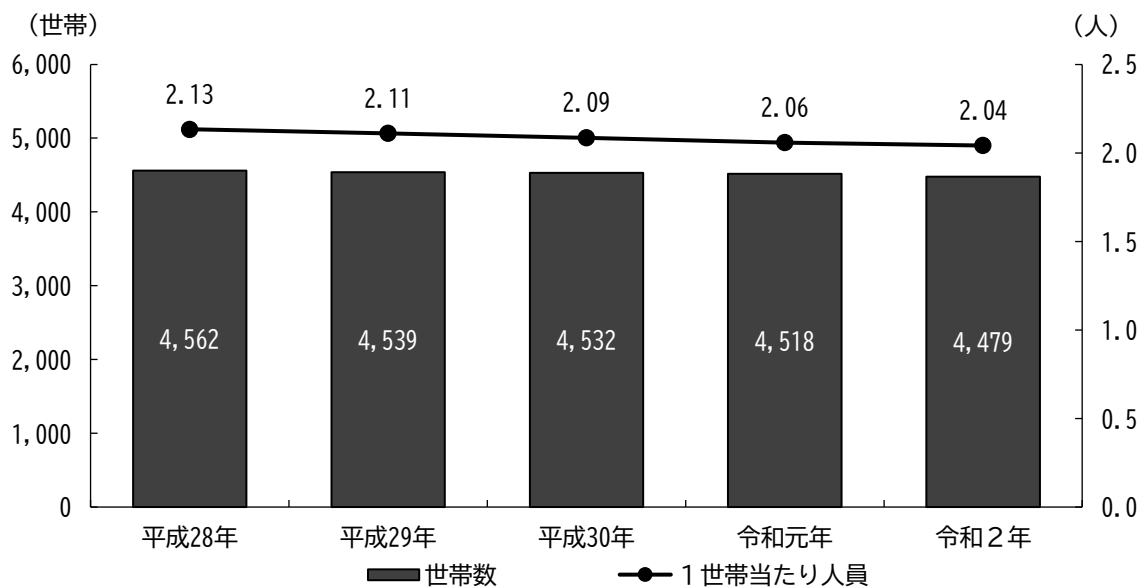
■年齢3区分別人口構成比の推移



出典：住民基本台帳（各年9月末日現在）

世帯数と1世帯当たり人員の推移をみると、世帯数は減少が続いており、平成28年の4,562世帯から令和2年は4,479世帯と、83世帯減少しています。1世帯当たり人員は、平成28年の2.13人から令和2年は2.04人と、減少が続いています。

■世帯数と1世帯当たり人員の推移



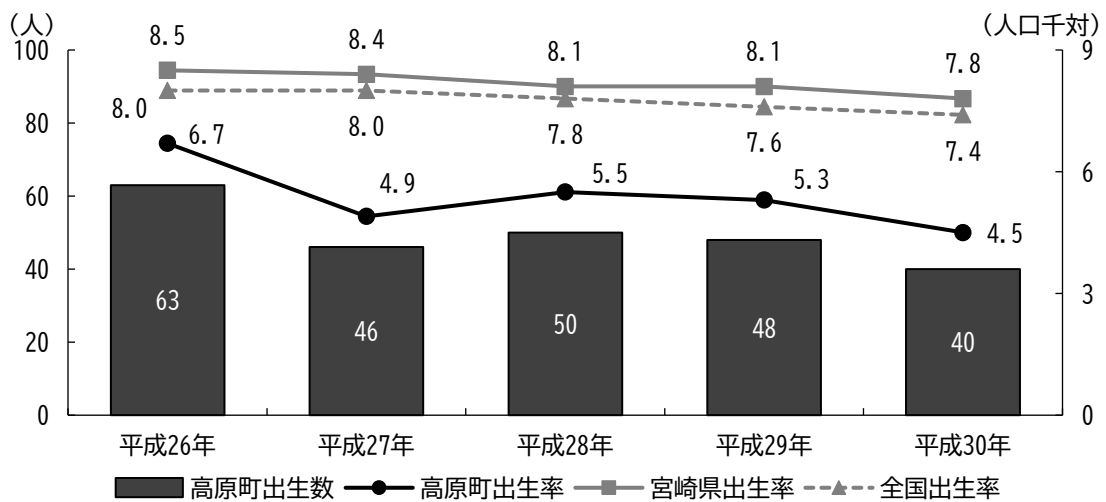
出典：住民基本台帳（各年9月末日現在）

## (2) 子どもの状況

出生数及び出生率の推移をみると、出生数は減少傾向となっており、平成26年は63人でしたが、平成30年は40人となっています。また、出生率は宮崎県や全国を下回って推移しています。

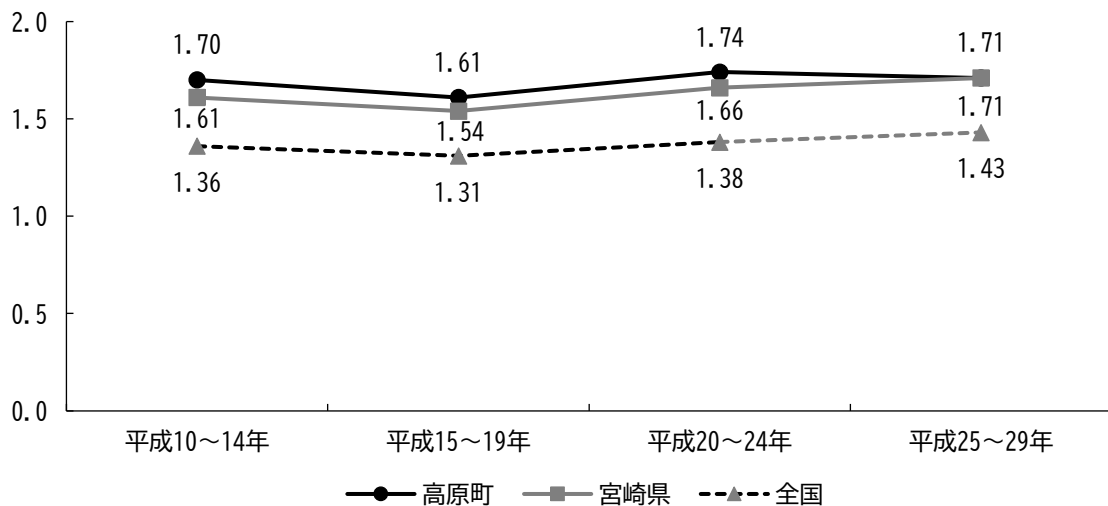
合計特殊出生率\*の推移をみると、おおむね宮崎県や全国を上回って推移していますが、平成25～29年は宮崎県と同率で、1.71となっています。

### ■出生数及び出生率の推移



出典：宮崎県衛生統計年報

### ■合計特殊出生率の推移



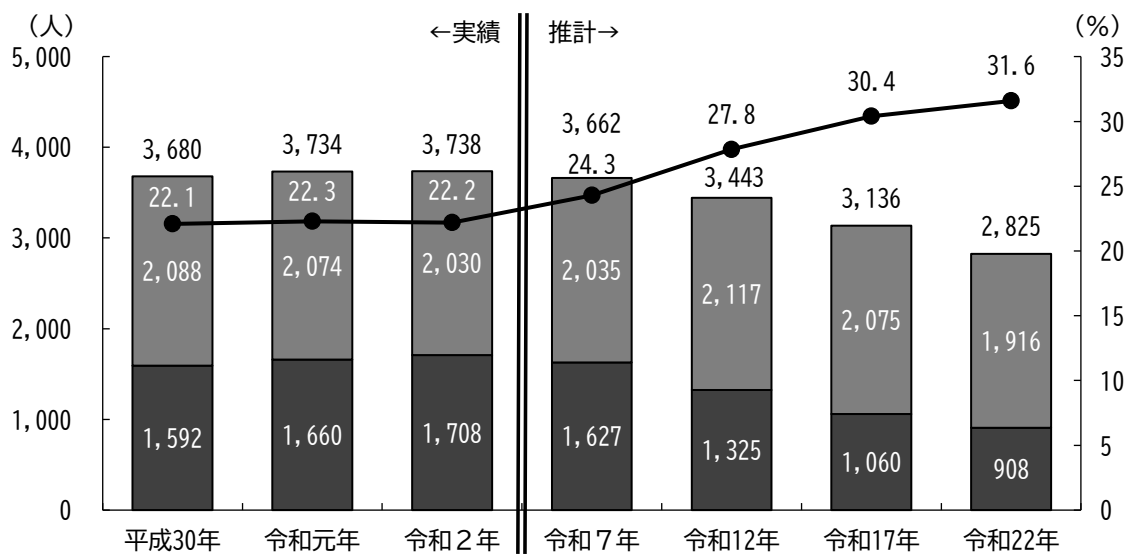
出典：人口動態統計特殊報告

### (3) 高齢者の状況

高齢者人口・後期高齢者率の推移をみると、前期高齢者は増加が続き、後期高齢者は減少が続いています。総人口に占める後期高齢者率は横ばいとなっており、令和2年は22.2%となっています。令和7年以降、前期高齢者は減少が続き、後期高齢者は令和12年まで増加し、令和17年以降は減少に転じると見込まれます。また、後期高齢者率は、令和7年以降上昇が続く見込みです。

高齢者世帯の推移をみると、高齢者単身世帯は増加が続き、高齢者夫婦世帯も増加傾向となっており、高齢者のいる世帯は、平成7年の1,836世帯から平成27年は2,253世帯と、417世帯増加しています。

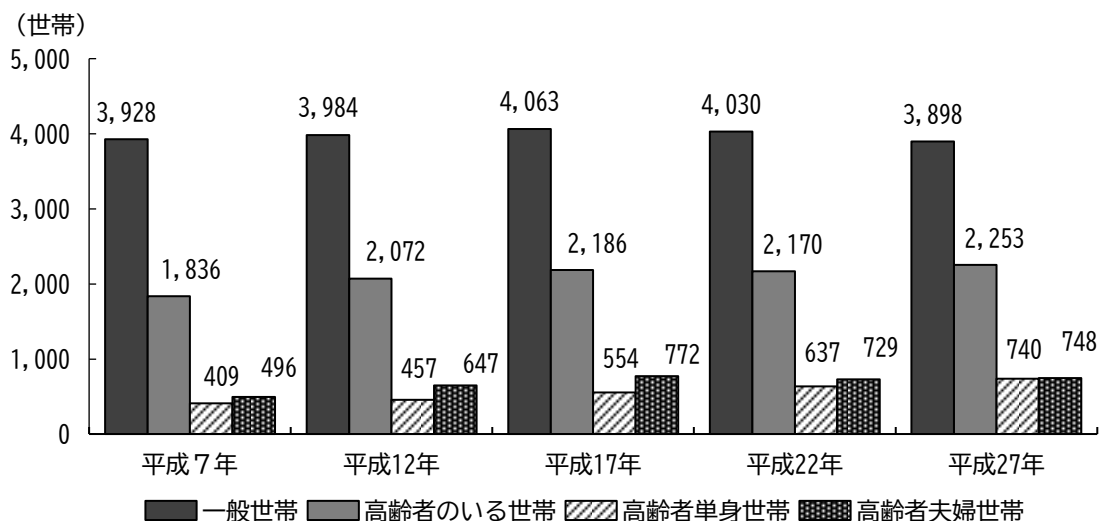
■ 高齢者人口・後期高齢者率の推移



■ 前期高齢者 (65~74歳) ■ 後期高齢者 (75歳以上) ● 後期高齢者率  
 ※推計値には端数を含むため、合計値が各区分の合計と一致しない場合があります。

出典：高原町町民福祉課（各年9月末日現在）

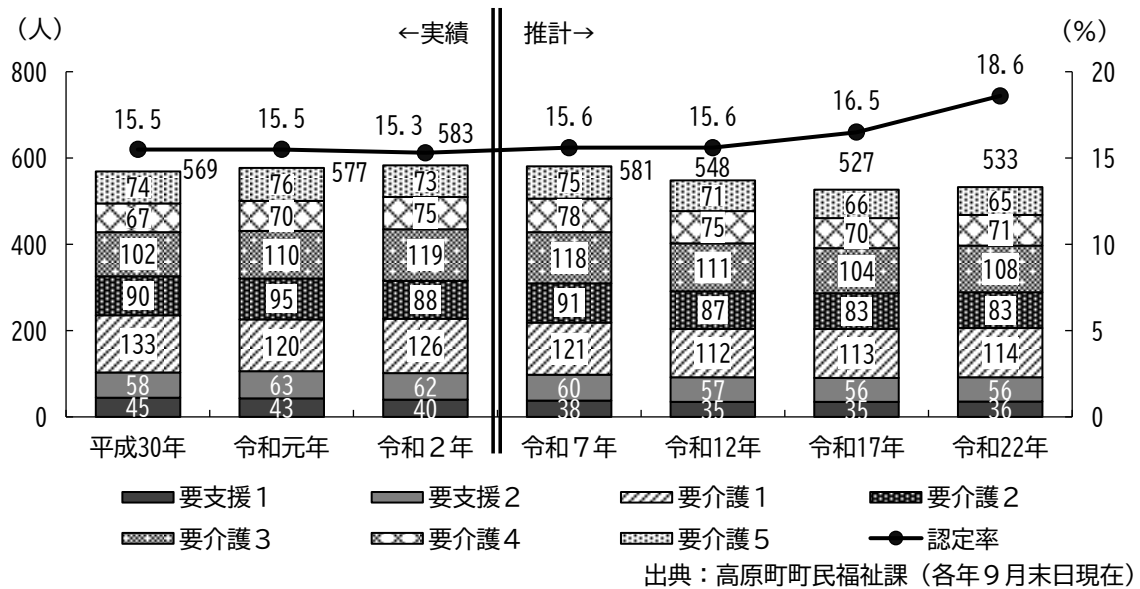
■ 高齢者世帯の推移



出典：国勢調査（総務省統計局）

要介護度別認定者数の推移（第1号被保険者）をみると、令和2年まで認定者数の合計は増加が続いていますが、令和7年以降は、減少傾向になると見込まれます。要介護度別では、平成30年から令和2年まで要介護1が最も多くなっており、令和7年以降はその傾向は続く見込まれます。認定率は横ばいが続いており、その傾向は令和12年まで続くものと見込まれますが、令和17年以降は上昇する見込みとなっています。

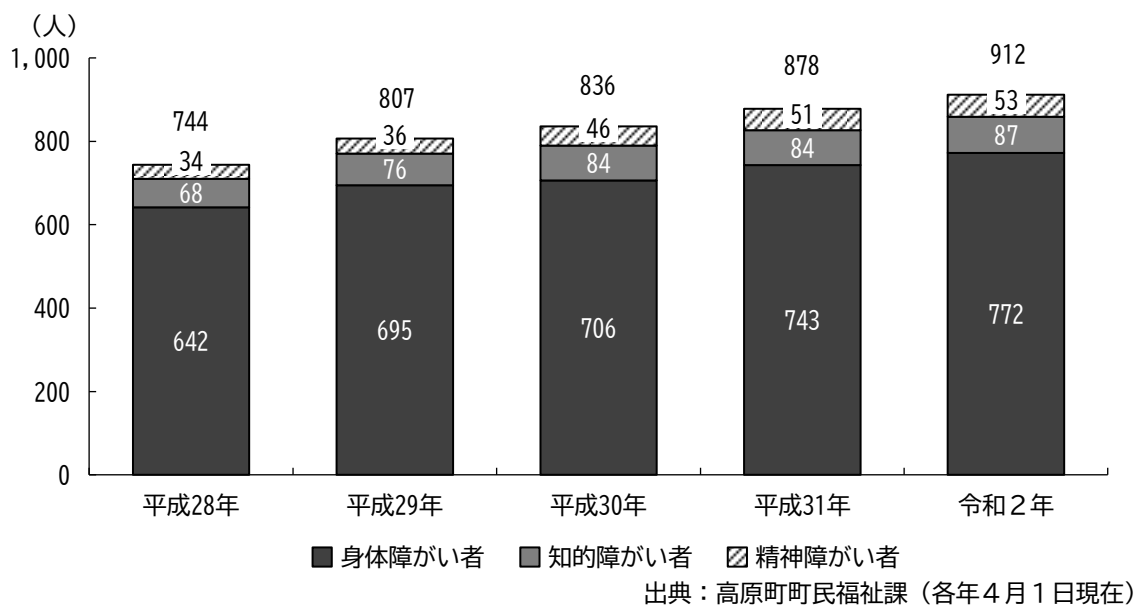
■要介護度別認定者数の推移（第1号被保険者）



#### （4）障がいのある人の状況

障害者手帳所持者数の推移をみると、いずれも増加傾向となっており、手帳所持者の合計は、平成28年の744人から令和2年は912人と、168人増加しています。

■障害者手帳所持者数の推移



身体障害者手帳所持者数の推移を年齢階層別にみると、令和2年は、65歳以上が641人と最も多く、増加が続いています。等級別にみると、令和2年は、重度者（1～2級）は289人、中軽度者（3～6級）は483人となっており、重度、中軽度とも増加が続いています。

■身体障害者手帳所持者数の推移

単位（人）

		平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
計		642	695	706	743	772
年齢階層別	15歳未満	1	2	0	1	1
	15～64歳	132	144	116	122	130
	65歳以上	509	549	590	620	641
等級別	1級	137	153	160	166	175
	2級	102	108	109	112	114
	3級	137	143	145	153	157
	4級	171	189	195	208	221
	5級	48	53	47	48	48
	6級	47	49	50	56	57

出典：高原町町民福祉課（各年4月1日現在）

療育手帳所持者数の推移を年齢階層別にみると、令和2年は、15～64歳が64人と最も多くなっており、増加傾向にあります。等級別にみると、令和2年は、Aが37人と最も多く、次いでB1が36人となっており、いずれの等級も平成28年と比べて令和2年は増加していますが、平成30年以降はほぼ横ばいとなっています。

■療育手帳所持者数の推移

単位（人）

		平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
計		68	76	84	84	87
年齢階層別	15歳未満	5	7	5	5	6
	15～64歳	52	55	62	62	64
	65歳以上	11	14	17	17	17
等級別	A	31	36	35	35	37
	B1	28	30	35	35	36
	B2	9	10	14	14	14

出典：高原町町民福祉課（各年4月1日現在）

精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移を年齢階層別にみると、令和2年は、65歳未満は42人、65歳以上は11人となっています。等級別にみると、令和2年は、2級が32人と最も多く、増加が続いています。また、いずれも平成28年と比べて令和2年は増加していますが、平成31年と比べると横ばいとなっています。

■精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

単位（人）

		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
計		34	36	46	51	53
年齢階層別	65歳未満	30	31	36	40	42
	65歳以上	4	5	10	11	11
等級別	1級	3	3	8	8	8
	2級	20	23	27	31	32
	3級	11	10	11	12	13

出典：高原町町民福祉課（各年4月1日現在）

自立支援医療制度（精神通院）受給者数の推移をみると、平成28年から平成31年にかけて100人を超えていましたが、令和2年は減少し、90人となっています。

■自立支援医療制度（精神通院）受給者数の推移

単位（人）

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
公費負担を受けている通院患者	104	103	110	110	90

出典：高原町町民福祉課（各年3月末日現在）

## 2 アンケート調査結果の概要

---

### (1) 実施概況

---

#### ①調査目的

地域における支え合い、助け合いにより、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みをつくりあげていけるように、町民の地域での生活や地域福祉に関する意識を把握し、本計画の基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。

#### ②調査対象及び調査方法

調査対象	20歳以上の町民
調査方法	郵送調査
調査期間	令和3年2月22日～令和3年3月8日

#### ③配布数及び回収結果

配布数	2,000票
回収数	1,019票
回収率	51.0%

#### ④調査結果のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として、回答者の構成比（百分率%）で表しています。
- 図表中の「n」は当該設問の回答者総数を表しており、百分率%は「n」を100%として算出しています。
- 百分率%は、全て小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、選択肢の割合の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、全ての比率の合計が100%を超えることがあります。

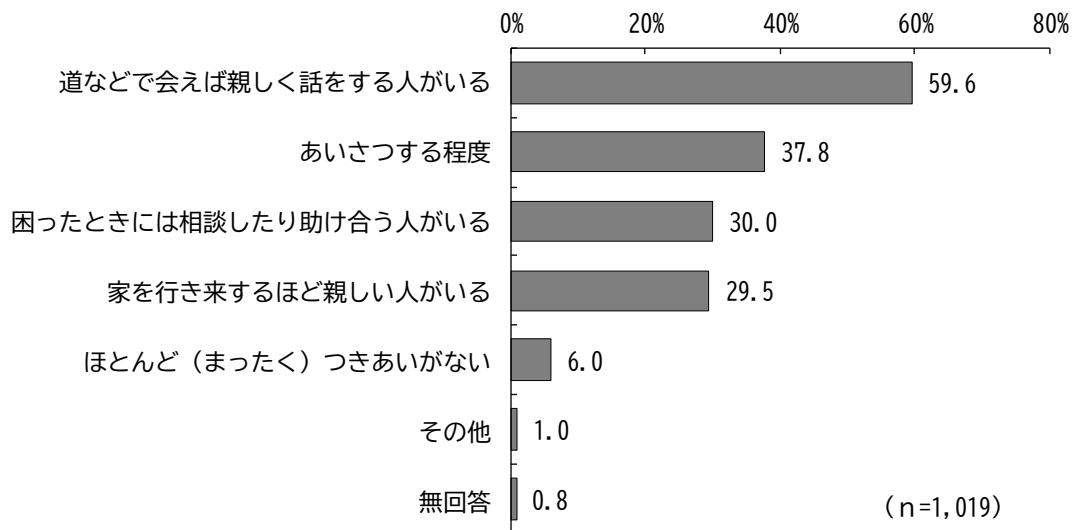


## (2) 結果の概要

### ①近所の人との交流の程度

近所の人との交流の程度についてみると、「道などで会えば親しく話をする人がいる」が59.6%と最も高く、次いで「あいさつする程度」が37.8%、「困ったときには相談したり助け合う人がいる」が30.0%、「家を行き来するほど親しい人がいる」が29.5%、「ほとんど（まったく）つきあいがいい」が6.0%となっています。

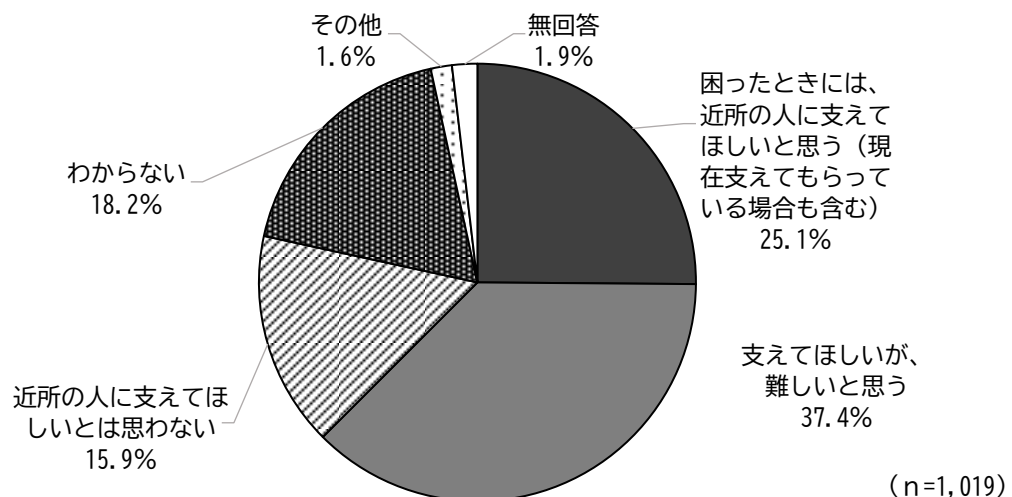
#### ■近所の人との交流の程度【複数回答】



### ②困ったときに近所の人に支えてほしいと思うか

困ったときに近所の人に支えてほしいと思うかについてみると、「支えてほしいが、難しいと思う」が37.4%と最も高く、次いで「困ったときには、近所の人に支えてほしいと思う」が25.1%、「近所の人に支えてほしいとは思わない」が15.9%となっており、「わからない」は18.2%となっています。

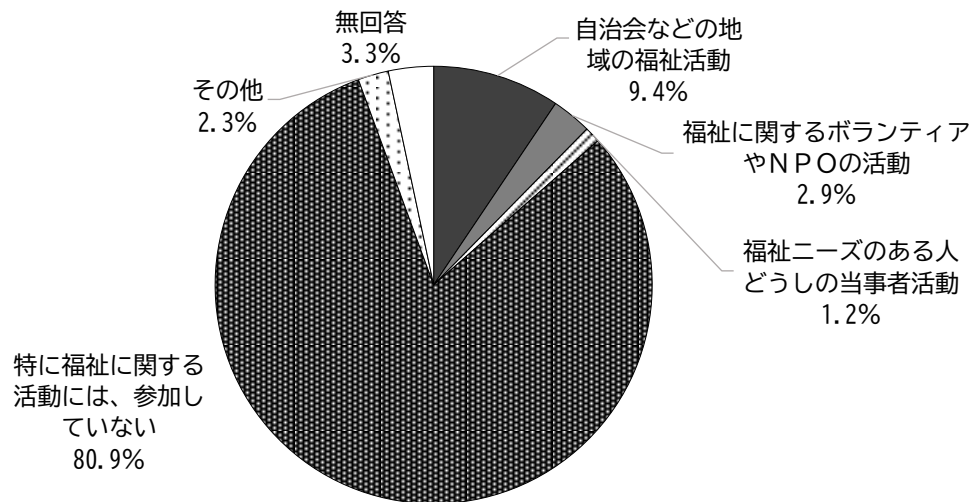
#### ■困ったときに近所の人に支えてほしいと思うか【単数回答】



### ③参加している福祉に関する活動

参加している福祉に関する活動についてみると、「特に福祉に関する活動には、参加していない」が80.9%と最も高く、次いで「自治会などの地域の福祉活動」が9.4%、「福祉に関するボランティアやNPOの活動」が2.9%、「福祉ニーズのある人どうしの当事者活動」が1.2%となっています。

#### ■参加している福祉に関する活動【単数回答】

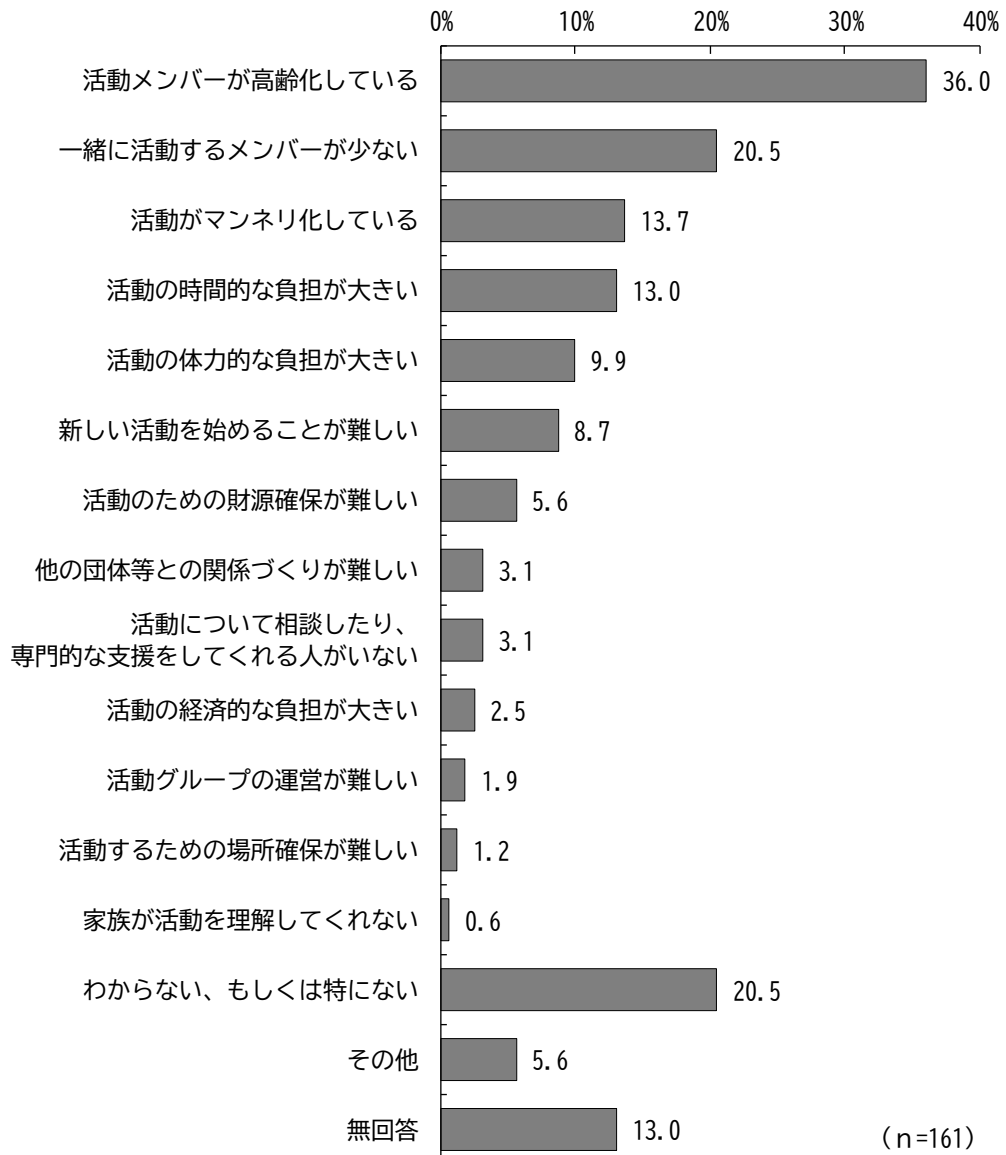


(n=1,019)

#### ④福祉の活動をする上で困っていること

福祉の活動をする上で困っていることについてみると、「活動メンバーが高齢化している」が36.0%と最も高く、次いで「一緒に活動するメンバーが少ない」が20.5%、「活動がマンネリ化している」が13.7%、「活動の時間的な負担が大きい」が13.0%となっています。

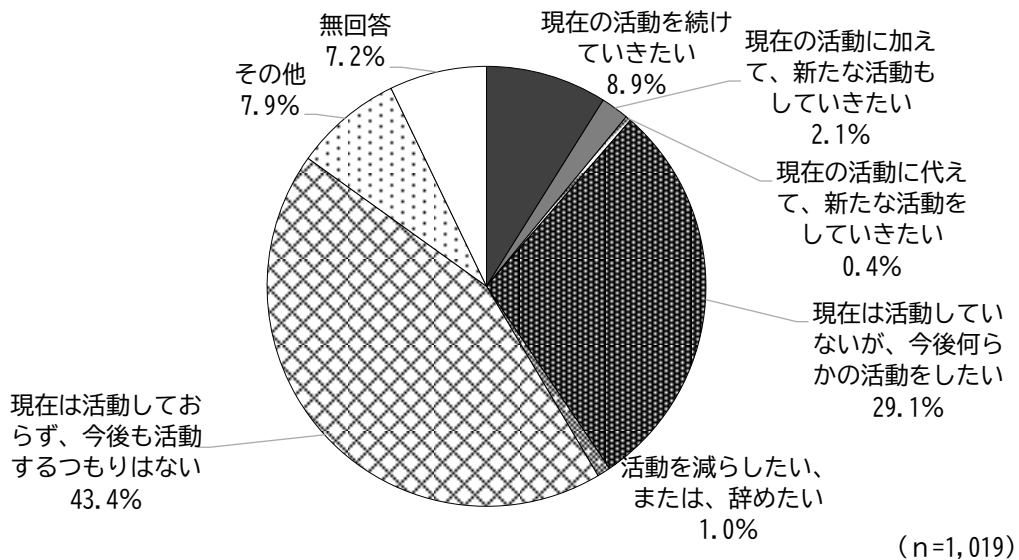
#### ■福祉の活動をする上で困っていること【複数回答】



⑤今後福祉に関する活動をしたい（続けたい）と思うか

今後福祉に関する活動をしたい（続けたい）と思うかについてみると、「現在は活動しておらず、今後も活動するつもりはない」が43.4%と最も高く、次いで「現在は活動していないが、今後何らかの活動をしたい」が29.1%、「現在の活動を続けていきたい」が8.9%となっています。

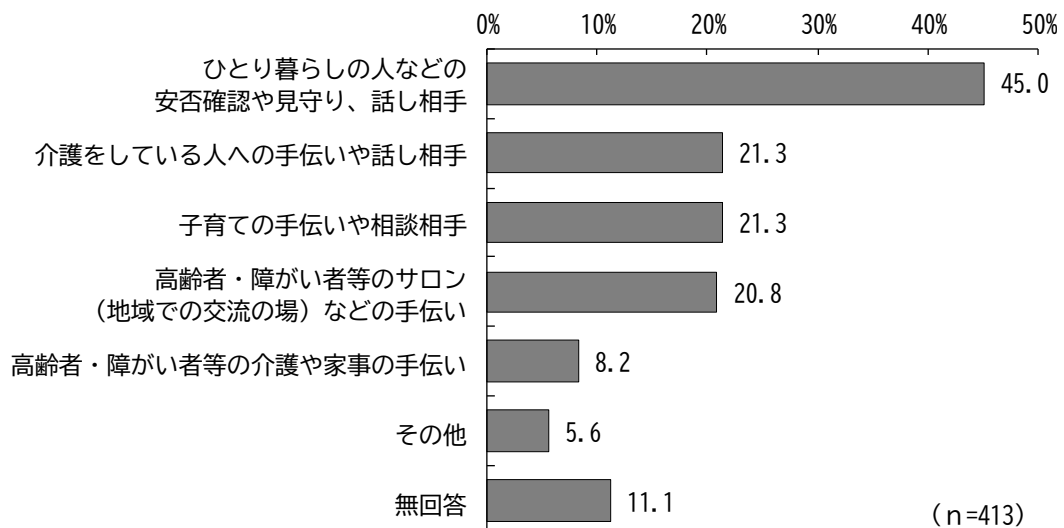
■今後福祉に関する活動をしたい（続けたい）と思うか【単数回答】



⑥今後どのような福祉の活動をしたいと思うか

今後どのような福祉の活動をしたいと思うかについてみると、「ひとり暮らしの人などの安否確認や見守り、話し相手」が45.0%と最も高く、次いで「介護をしている人への手伝いや話し相手」と「子育ての手伝いや相談相手」が同率で21.3%、「高齢者・障がい者等のサロン（地域での交流の場）などの手伝い」が20.8%となっています。

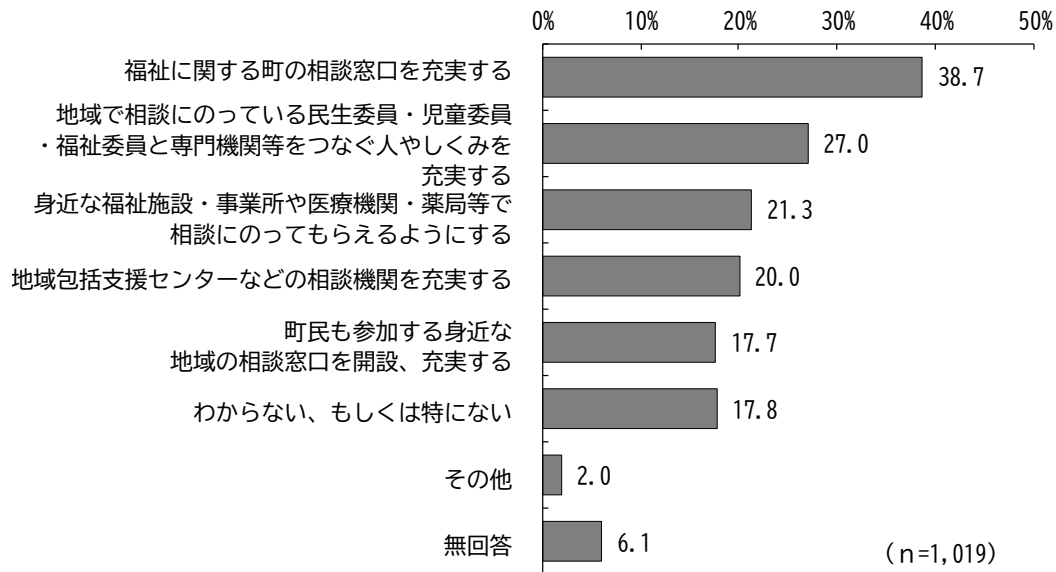
■今後どのような福祉の活動をしたいと思うか【複数回答】



⑦福祉に関して相談しやすくするために必要な取組

福祉に関して相談しやすくするために必要な取組についてみると、「福祉に関する町の相談窓口を充実する」が 38.7%と最も高く、次いで「地域で相談にのっている民生委員・児童委員・福祉委員と専門機関等をつなぐ人やしくみを充実する」が 27.0%、「身近な福祉施設・事業所や医療機関・薬局等で相談にのってもらえるようにする」が 21.3%となっています。

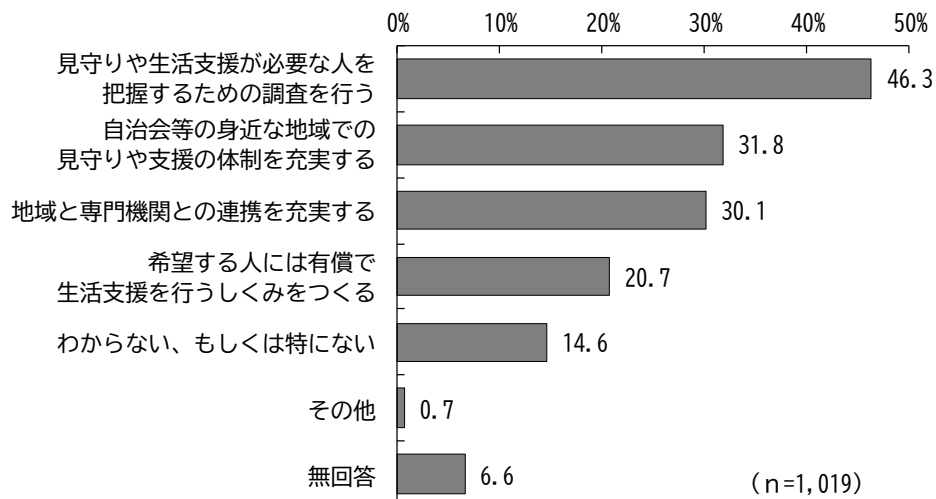
■福祉に関して相談しやすくするために必要な取組【複数回答】



⑧生活支援が必要な人が安心して生活できるようにするために必要な取組

生活支援が必要な人が安心して生活できるようにするために必要な取組についてみると、「見守りや生活支援が必要な人を把握するための調査を行う」が 46.3%と最も高く、次いで「自治会等の身近な地域での見守りや支援の体制を充実する」が 31.8%、「地域と専門機関との連携を充実する」が 30.1%となっています。

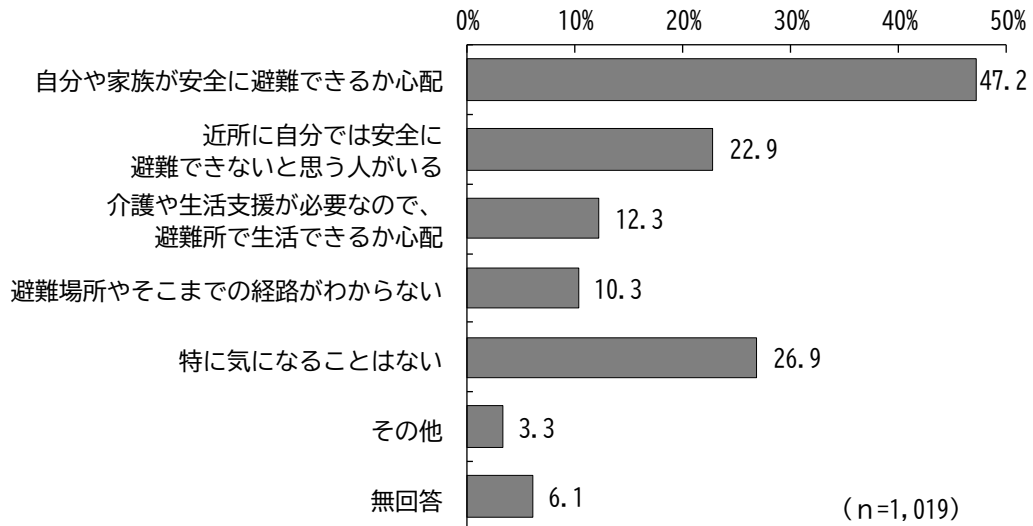
■生活支援が必要な人が安心して生活できるようにするために必要な取組【複数回答】



⑨地震や風水害時に安全に避難できるようにする上で気になること

地震や風水害時に安全に避難できるようにする上で気になることについてみると、「自分や家族が安全に避難できるか心配」が47.2%と最も高く、次いで「近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる」が22.9%となっており、「特に気になることはない」は26.9%となっています。

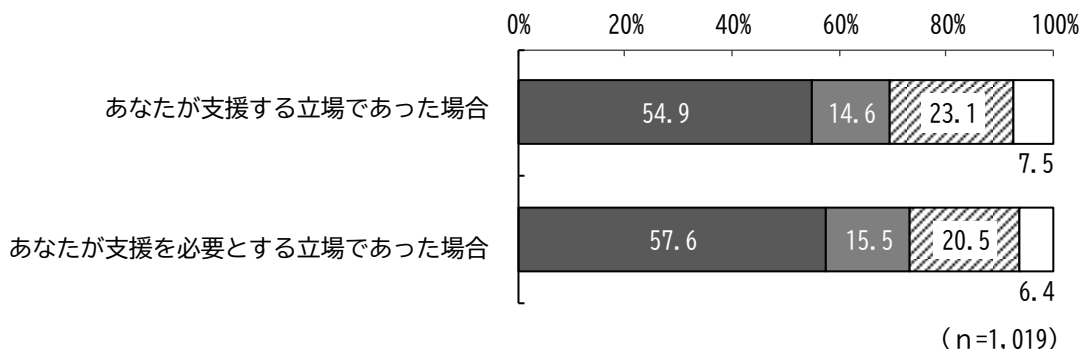
■地震や風水害時に安全に避難できるようにする上で気になること【複数回答】



⑩災害時の安全な避難等のため支援が必要な人の情報を共有すること

災害時の安全な避難等のため支援が必要な人の情報を共有することについてみると、『支援する立場』と『支援を必要とする立場』ともに、「情報が適切に管理され、プライバシーが守られるのならば、個人情報を提供してもよいと思う」が最も高く、それぞれ54.9%、57.6%となっています。

■災害時の安全な避難等のため支援が必要な人の情報を共有すること【単数回答】

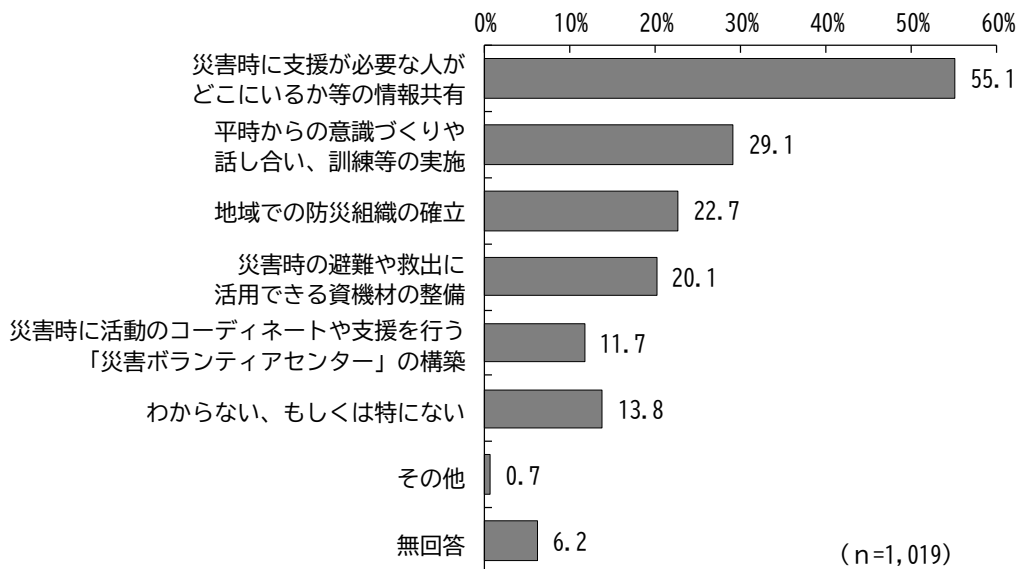


- 情報が適切に管理され、プライバシーが守られるのならば、個人情報を提供してもよいと思う
- どのような場合であっても、個人情報は提供したくないと思う
- ▨ わからない
- 無回答

⑪災害時に地域で支え合う活動のために必要な条件づくり

災害時に地域で支え合う活動のために必要な条件づくりについてみると、「災害時に支援が必要な人がどこにいるか等の情報共有」が55.1%と最も高く、次いで「平時からの意識づくりや話し合い、訓練等の実施」が29.1%、「地域での防災組織の確立」が22.7%となっています。

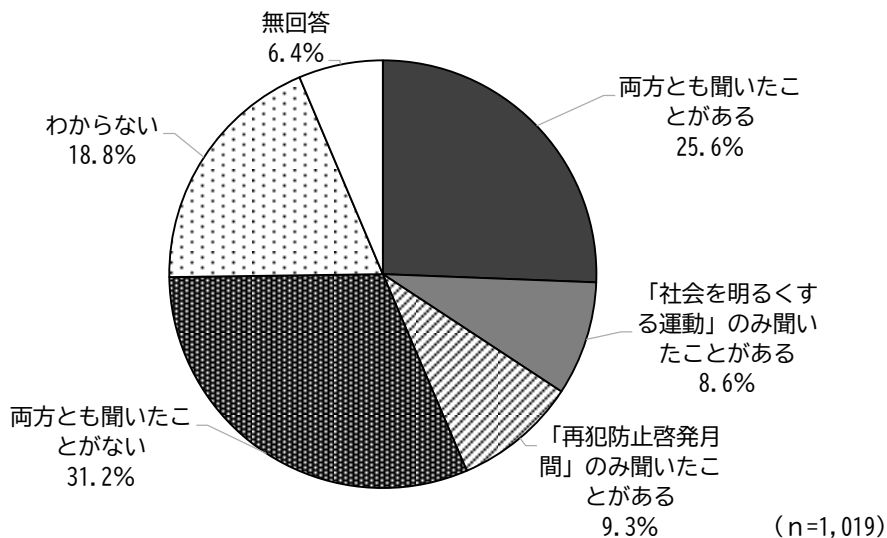
■災害時に地域で支え合う活動のために必要な条件づくり【複数回答】



⑫「社会を明るくする運動\*」及び「再犯防止啓発月間」の認知度

「社会を明るくする運動」及び「再犯防止啓発月間」の認知度についてみると、「両方とも聞いたことがない」が31.2%と最も高く、次いで「両方とも聞いたことがある」が25.6%、「わからない」が18.8%となっています。

■「社会を明るくする運動」及び「再犯防止啓発月間」の認知度【単数回答】



### 3 地区別ヒアリング調査結果の概要

---

#### (1) 実施概況

---

##### ①調査目的

地域の実情や地域福祉を進めるための課題を把握し、本計画を策定するための基礎資料とするため、民生委員・児童委員を対象としてヒアリングシートによる調査を実施しました。

##### ②調査対象及び調査方法

調査対象	民生委員・児童委員 (31名)
調査方法	定例会議により配布・回収
調査期間	令和3年5月13日～令和3年6月10日

#### (2) 結果の概要

---

##### ①地域での支え合いについて (主な意見を抜粋)

- 班に入っていない人とか、移住者など地域と一定の距離を持っていたい人たちとのコミュニケーションが取りにくいと感じる。
- 地域で行っている行事ごとに参加してもらえない。場所選びや環境づくりを考慮しなければと思う。
- 地域で支え合うには、まず区民・地区民の交流が大事で、昔ながらの行事おねっこの復活や、地区運動会、花見など皆が出席できるようになると自然とつながりができて、仲良くなり、支え合いにつながると思う。だが、やはり若い人の協力が必要である。
- 新しく引っ越してきた人で、自治会に入らず、小さい子どももいる人がおり、少し心配である。
- ひとり暮らしの高齢者で、当地域に家族や親族が住んでいない場合など、連絡が取りにくく、どのように対応したらいいかわからない。地域外を含めた連絡体制網を検討してはどうか。
- 地域内での情報交換をスムーズにするため、区長、民生児童委員等の関係者連絡会(網)をつくり、情報共有に努める(長期的な会合実施)。



## ②支援が必要な人への支援について（主な意見を抜粋）

- 支援が必要な人には、元気な高齢者に手伝ってもらいたいと思う。支援できる人と支援を受けたい人とをマッチングさせて（日・曜日・時間など）、それに応じた有償ボランティアとする。
- ひとり親家庭での学童保育の必要性を強く感じており（各学校区）、保育所での学童保育はできないだろうか。保育園児も減少しており、教職退職者なら学習面の補助もできると思う。
- 台風に備えた活動が難しい人々がおり、前日や前々日にお願ひすればサポート（手伝い）してくれる「お助け隊」のような組織があると助かると思う。
- サスケ<sup>※</sup>の周知が不十分で、手続きが面倒、お金がかかると思っている人や、サスケのこと自体を知らない人が多いようである。
- 支援が必要な人ほど、SOSを発信していないように思う。
- 免許を返納した高齢者は、教室や講座への参加を諦めている人がいるようで、家や公民館など、近くまで送迎車（町・ボランティア「お助け隊」など）が来ると助かると思う。

※緊急通報生活サポートシステムの商品名称

## ③安全、安心に住み続けることについて（主な意見を抜粋）

- 災害時の具体的な話し合いができていない。
- 台風や集中豪雨などの緊急事態に備えて、事前の呼びかけなどは行えるが、避難所などへの避難の促進については、ふだんから住民に周知徹底しておくことが大切である。
- ゴミ屋敷状態の家が散見されており、それが何年も続いていて、火災予防及び環境・衛生の面から問題である。
- 高齢により足が弱って集積所まで持っていけないため、ゴミ出しが困難である（他町村では、実費により職員等で処理しているところもある。）。
- 町内放送が雨や風向きによっては全く聞こえず情報が入ってこない。
- 田舎では免許証を返納した場合、生活に必要な交通手段が途絶え、困ってしまう。
- これまでに数回の窃盗事案が、地区内で発生しており、このようなことが再度起きないか大変心配である。

## ④コロナ禍について

- 茶飲み場に参加しているが、開催が減り、高齢者とのふれあいや健康観察の機会が減っている。開催した場合の感染防止対策だけで十分か不安である。
- 近所の人とのコミュニケーションも前よりだいぶ少なくなって訪問もできない状態が続いている。
- マスクを付けての訪問活動では相手の顔の表情などが分からず、理解できない面もあり、心配している。マスクを外して会話ができるよう、現在は感染防止に一生懸命努めていきたいと思っている。
- ワクチン接種について状況が全く分からない。「予約はしたが何の連絡もないがどうなっているのかな」と言う人もいる。1日に何人ぐらい打っている、〇日の予約者はいついつまでに打つ予定であるとか、もう少し細かく状況を発信してもらえるとよいと思う。

## 4 関係団体ヒアリング調査結果の概要

### (1) 実施概況

#### ①調査目的

地域福祉課題や団体の活動内容、町及び高原町社会福祉協議会に対する意見・要望・期待等を把握し、本計画の策定に向けた基礎資料とするため、町内の地域福祉関係団体を対象としてヒアリングシートによる調査を実施しました。

#### ②調査対象及び調査方法

調査対象	町内の地域福祉関係団体
調査方法	メールによる配布・回収（一部、郵送による配布・回収）
調査期間	令和3年6月21日～令和3年7月5日

#### ③配布数及び回収結果

配布数	36票
回収数	22票
回収率	61.1%

#### ④調査結果のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

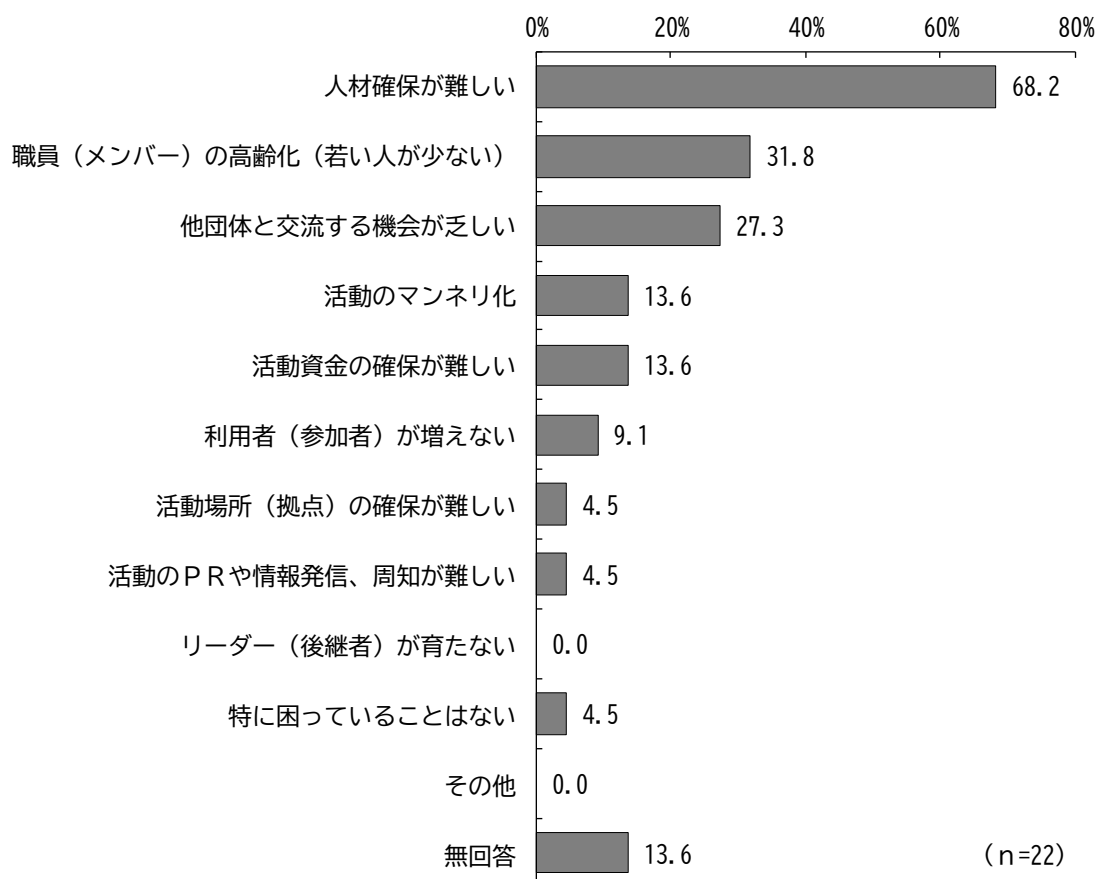
- 「調査結果」の図表は、原則として、回答者の構成比（百分率%）で表しています。
- 図表中の「n」は当該設問の回答者総数を表しており、百分率%は「n」を100%として算出しています。
- 百分率%は、全て小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しているため、選択肢の割合の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、全ての比率の合計が100%を超えることがあります。

## (2) 結果の概要

### ①団体の活動や運営での課題

団体の活動や運営での課題については、「人材確保が難しい」が68.2%（15団体）と最も高く、次いで「職員（メンバー）の高齢化（若い人が少ない）」が31.8%（7団体）、「他団体と交流する機会が乏しい」が27.3%（6団体）となっています。

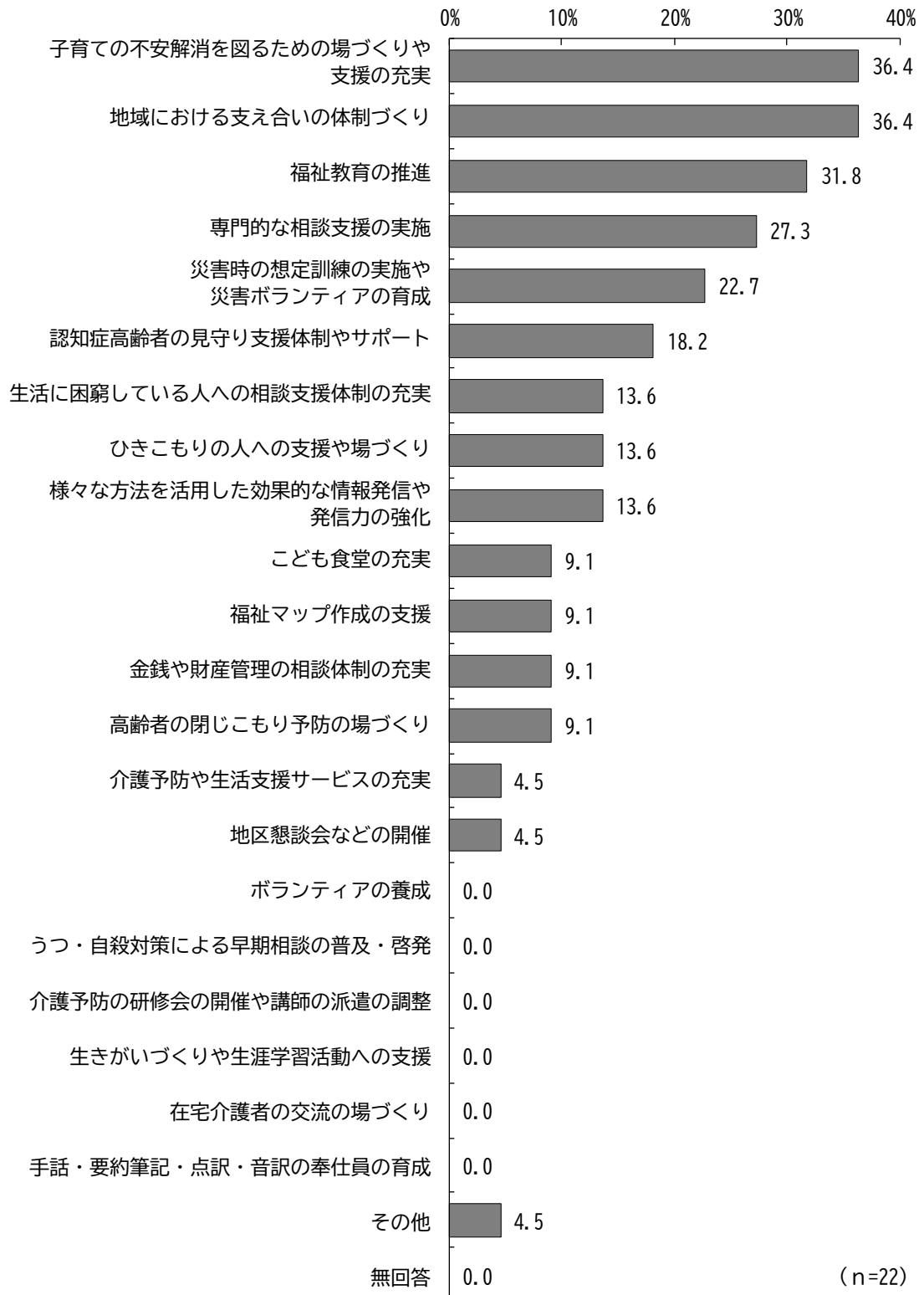
#### ■団体の活動や運営での課題【複数回答】



## ②町や社会福祉協議会に期待すること

町や社会福祉協議会に期待することについては、「子育ての不安解消を図るための場づくりや支援の充実」「地域における支え合いの体制づくり」が同率で36.4%（8団体）と最も高く、次いで「福祉教育の推進」が31.8%（7団体）となっています。

### ■町や社会福祉協議会に期待すること【複数回答】



③地域の中で感じる課題について（主な意見を抜粋）

<子ども・子育て>

- 子どもの遊ぶ場所が少ない
- 地域との交流が少ない
- 地域との連携

<障がい（身体・知的・精神）>

- 障がい者への理解
- 障がい者と地域の交流

<高齢者・介護・認知症>

- 交流の場や機会が必要
- ひとり暮らし世帯の把握
- 高齢者、認知症者の見守り
- 民生委員との連携（情報共有）

<健康・医療>

- 皆が気軽に、楽しく参加できる健康に関するスポーツ等の取組がない
- ヘルスリテラシー\*が低い

<人権・性的マイノリティ\*>

- 認知度、理解度が低い
- 地域性として閉塞的

<住環境>

- ほとんどが高齢者で、亡くなって空き家になっている所が多くあり、荒れたり草山になったりで整備されていない
- 医療機関や商店等が町中心部に限られてきており、特に周辺地域の高齢者には、買物等をするのに不便である

<地域活動・ボランティア活動>

- ボランティア内容の提示
- 若い人たちの地域活動やボランティア参加者が減少している

<道路・公園・公共施設>

- 広原農免道路等にゴミが散乱
- 公園も近くにあるが、子どもたちが喜んで遊べる遊具が少ない

<就労・経済的問題>

- 若年層の就労先の不足
- 就労先の不足により定住できない

<防災・防犯・交通安全>

- 地域一斉防災訓練の少なさ
- 防災、噴火したときの避難の仕方

<ニート・ひきこもり>

- 実態が把握できていないため実態調査が必要
- 情報を得て、訪問しても受け入れてくれない

<福祉に関する情報提供>

- 町内の福祉に関する施設やサービス事業所、活動の内容が分かるものがない
- 高齢者やその家族による福祉情報の入手

<その他>

- 行政区、班へ未加入者の加入促進を図って地域の共助を進める
- （特定教育・保育施設等における）町独自の副食費の補助に対して、県外の人  
が驚いていたので、もっとアピールすることで若い世代が高原町へ住んでくれる  
のではないかと

## 5 高原町の地域福祉を取り巻く課題

---

### (1) 地域で支え合い、暮らし続けられる体制の構築が必要です。

---

アンケート調査結果からは、困ったときに近所の人に支えてほしいと思うかについて、「支えてほしいが、難しいと思う」が最も高く、それに次ぐ「困ったときには、近所の人に支えてほしいと思う」を加えた、近所の人に支えてほしいと思っている人が6割を超えています。一方で、近所の人との交流の程度についてみると、「困ったときには相談したり助け合う人がいる」は3割となっています。

地区別ヒアリング調査結果からは、引っ越してきた人や班に入っていない人とのコミュニケーションがうまく取れていないこと、地域の行事に参加してもらえないことなど、地域のつながりについて困っていることが挙げられています。

関係団体ヒアリング調査結果からは、地域福祉を推進する上で、町や社会福祉協議会に期待する項目について、「地域における支え合いの体制づくり」が3割を超えて最も高くなっています。また、地域の障がい者や支援の必要な高齢者の把握や交流、支援について課題が挙げられています。

このため、地域でお互いに支え合い、助け合いながら、暮らし続けていくことができるように、住民同士のつながりを維持し、強めていく必要があります。そして、そうしたつながりの強化により、住民が主体となって地域で見守る体制を構築し、充実させていくとともに、地域で生活課題を抱える人、世帯を把握し、支援につなげていく必要があります。

### (2) 地域福祉の担い手育成が必要です。

---

アンケート調査結果からは、参加している福祉に関する活動について、特に参加していない人が8割を占めています。また、福祉の活動をする上で困っていることについては、メンバーの高齢化や活動メンバーの減少、活動時間の負担の大きさが問題となっています。一方、今後福祉に関する活動をしたい（続けたい）と思うかについては、「現在は活動していないが、今後何らかの活動をしたい」が3割近くで、今後どのような福祉の活動をしたいと思うかについては、「ひとり暮らしの人などの安否確認や見守り、話し相手」「介護をしている人への手伝いや話し相手」「子育ての手伝いや相談相手」が高くなっています。

地区別ヒアリング調査結果からは、困っていることに対して、元気な高齢者を活用した地域の支え合いや教職を退職した人の学童保育などでの学習補助、若い世代の協力や地域に積極的に関わりを持つ人を増やすことなどの意見が挙げられています。

関係団体ヒアリング調査結果からは、団体の活動や運営にあたって課題となっていることについて、「人材確保が難しい」が7割近くで最も高く、次いで「職員（メンバー）の高齢化（若い人が少ない）」は3割を超えています。

このため、活動に参加しやすくなるよう、活動参加の障壁となる社会環境や職場環境などの改善に向けて普及・啓発活動に取り組み、積極的に参加しやすい環境を整えていくとともに、地域福祉活動の体制を整えていくための支援を進めていく必要があります。

### (3) 災害時に支え合える体制づくりが必要です。

---

アンケート調査結果からは、地震や風水害時に安全に避難できるようにする上で気になることについて、「自分や家族が安全に避難できるか心配」が最も高くなっています。また、災害時に地域で支え合う活動のために必要な条件づくりについては、「災害時に支援が必要な人がどこにいるか等の情報共有」が最も高く、次いで「平時からの意識づくりや話し合い、訓練等の実施」「地域での防災組織の確立」が高くなっています。さらに、災害時の安全な避難等のため支援が必要な人の情報を共有することについては、『支援する立場』と『支援を必要とする立場』ともに、「情報が適切に管理され、プライバシーが守られるのならば、個人情報を提供してもよいと思う」が最も高くなっています。

地区別ヒアリング調査結果からは、困っていることとして、災害時の具体的な話し合いができていないことなどが挙げられ、緊急時の避難が難しい人を状況に応じて支援する体制づくり、緊急時の対応について平時から周知、啓発することなどについての意見が挙げられています。

関係団体ヒアリング調査結果からは、課題として、災害時の避難の仕方、地域一斉防災訓練の少なさが挙げられています。また、地域福祉を推進する上で、町や社会福祉協議会に期待する項目について、「災害時の想定訓練の実施や災害ボランティアの育成」は2割を超えています。

このため、平時から避難場所の周知や災害時の対応についての啓発を行うことで防災意識を高めるとともに、災害発生時に支援を必要とする人を地域で把握・共有し、災害時の迅速な安否確認と円滑な避難が可能となる体制づくりに取り組んでいく必要があります。

### (4) 様々な主体が連携した支援体制の確立が必要です。

---

アンケート調査結果からは、生活支援が必要な人が安心して生活するために必要な取組については、「見守りや生活支援が必要な人を把握するための調査を行う」が最も高く、次いで「自治会等の身近な地域での見守りや支援の体制を充実する」「地域と専門機関との連携を充実する」が高くなっています。

地区別ヒアリング調査結果からは、地域内の情報共有を図るために区長や民生委員等の関係者による連携、ひとり暮らしの高齢者に関しては地域外も含めた連絡体制の構築が必要であるなどの意見が挙げられており、できることとして、状況を把握した上で町や社会福祉協議会につなげることが挙げられています。

関係団体ヒアリング調査結果からは、団体の活動や運営にあたって、課題となっていることについて、「他団体と交流する機会が乏しい」が3割近くなっています。また、子育てや高齢者の分野では、町や関係団体、民生委員等との連携を必要な取組として挙げています。

このため、地域と町や社会福祉協議会、関係団体等が地域の課題や情報を共有するなど、連携を強化し、地域が主体となって地域福祉活動を活発に進められるように支援を行うとともに、必要に応じて、適切なサービスや支援へ円滑につなげる仕組みづくりを進める必要があります。



## 第3章 計画の基本理念と基本目標

### 1 基本理念

人口減少や高齢化が進み、社会環境が変化していくとともに、地域のつながりが弱まるなど、地域社会のあり方が変化しています。そうした中で、支援を必要としている人たちも含めた誰もが住みよい環境づくりが求められています。

そのためには、地域で暮らす全ての人々が安心して、生きがいを持ちながら健康に暮らすことができるまちづくりを目指していくことが必要であり、地域に関わる全ての主体、特に、地域住民が地域の課題解決に向けて積極的に取り組み、お互いに支え合い、助け合うことのできる福祉のまちづくりを推進していく必要があります。

本計画では、「高原町地域福祉計画」の基本理念を引き継ぎ、「一人ひとりが輝き、みんなであわせを分かちあう 福祉のまちづくり」を基本理念として、本町の地域福祉のまちづくりを推進していくこととします。

#### ■基本理念

一人ひとりが輝き、みんなであわせを分かちあう  
福祉のまちづくり

この基本理念のもと、以下のような視点で福祉のまちづくりを進めていきます。

- 一人ひとりが輝きながら、誰もが幸せを感じ、互いに分かちあう福祉のまちづくりを実現するために、長期的な視点に立ち、継続して取り組むこと。
- 地域の課題や生活課題を住民自らが受けとめ、それを乗り越えていくための活動の輪を広げていくこと。

基本理念に込めた、自分たちが住む地域をよりよくしていきたいという思いのもとで、こうした福祉のまちづくりを進め、地域のみんので支え合い、安心して心豊かに暮らせるまちの実現を目指していきます。

## 2 基本目標

---

### (1) 地域で支え合いの体制づくり

---

複雑化・多様化している地域の福祉課題に対応するため、住民自らが地域の福祉課題の解決に取り組み、地域でお互いに支え合えるまちを目指します。

そのために、普段から地域のつながりを強化できるよう取り組み、地域に関わる誰もが主体的に地域活動に参加できる環境を整えていくことで、地域活動の活性化を図り、それにより、地域の支え合う力がより高まっていくよう取り組んでいきます。また、既存施設等も活用して、誰もが気軽に立ち寄ることができる場や、交流を深めることができる場とその機会の充実に努めます。

### (2) 支援を必要とする人への支援の充実と権利擁護

---

住み慣れた地域で個人の権利が保障され、誰もが必要なときに適切な支援を受けられる、安心して生活できるまちを目指します。

そのために、福祉サービスに関する情報提供や相談支援体制の充実、ICTの活用等により、支援を必要とする人が適切に安心して福祉サービスや支援を受けられる体制を整えます。また、生活困窮者など生活課題を複合的に抱えている人にも対応できるよう、福祉以外の様々な分野とも連携した支援体制の構築、充実を図ります。さらに、一人ひとりが福祉に関心を持ち、互いを思いやることのできるよう、人権・福祉に対する意識を醸成していきます。

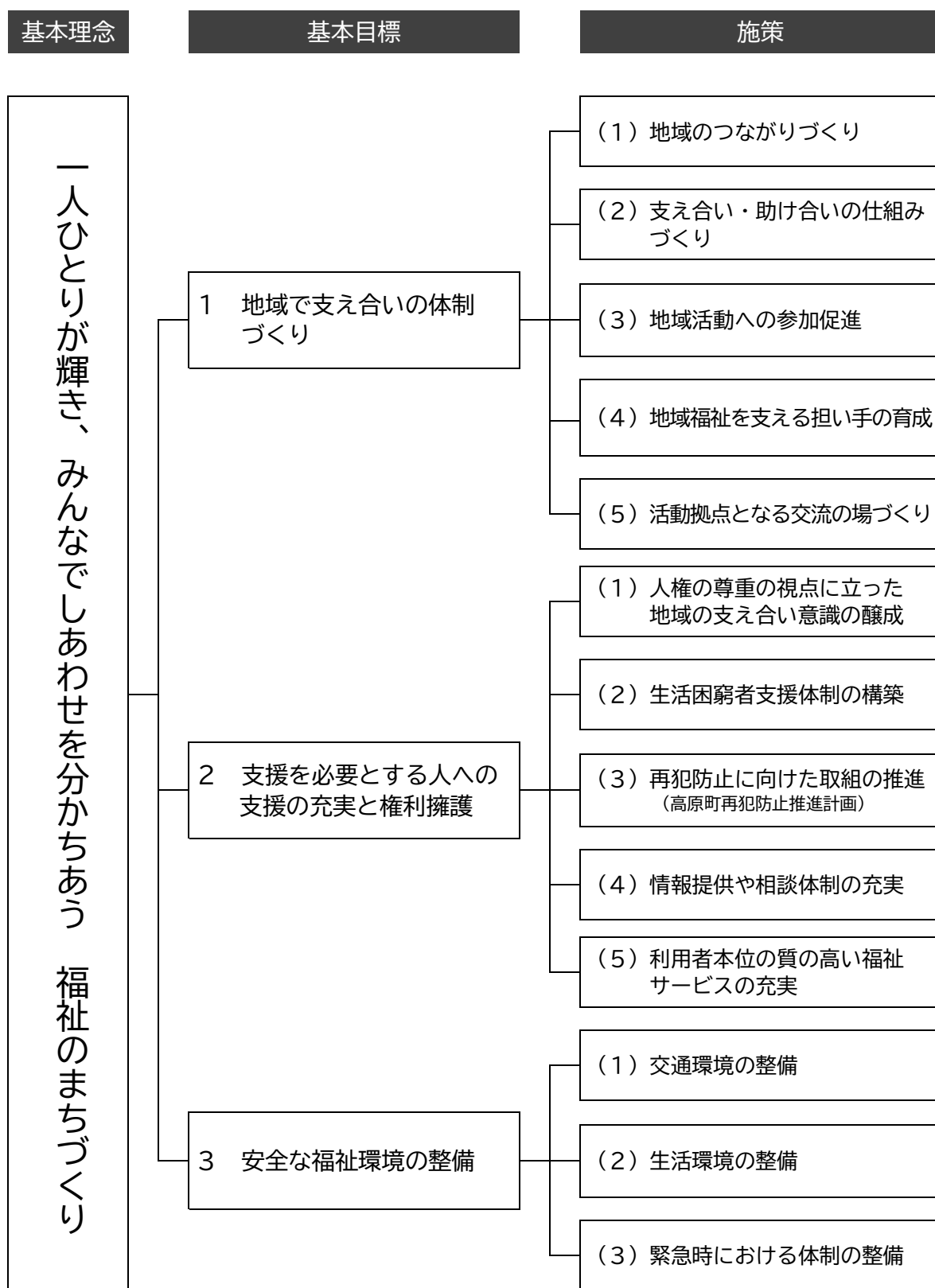
### (3) 安全な福祉環境の整備

---

年齢や障がいの有無などに関係なく、誰もが安心・安全に暮らし続けることのできる福祉環境の整ったまちを目指します。

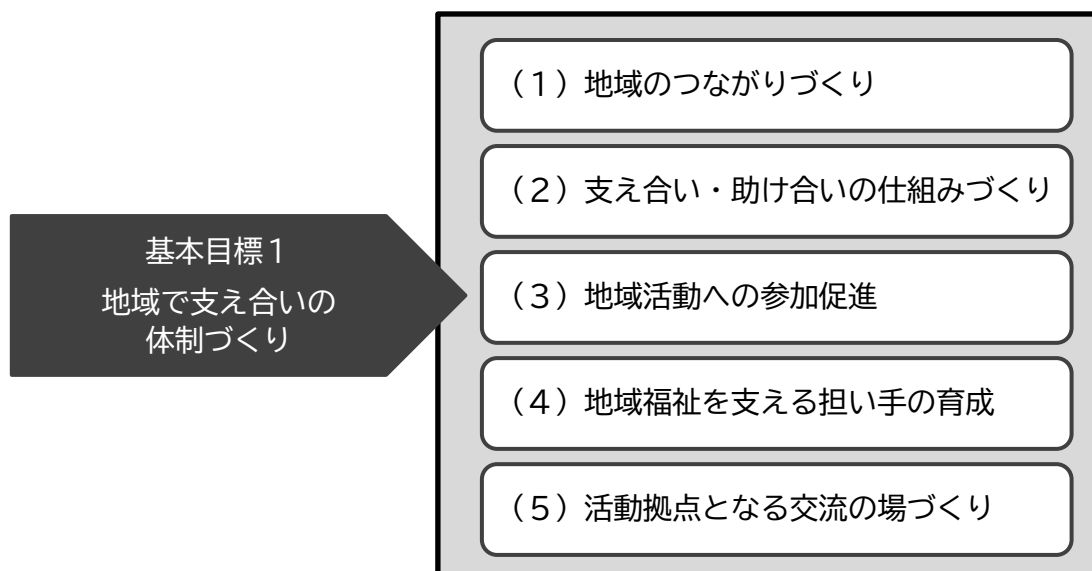
そのために、災害のときだけでなく普段から、一人ひとりが備えられるよう防災意識を高めるとともに、災害時に支援が必要な人の把握と地域での見守りの体制を強化し、災害時の不安の解消を図ります。また、バリアフリー\*やユニバーサルデザイン\*の考え方に基づくまちづくりや安全・快適な交通環境・道路環境の整備、地域の防犯体制の充実に努めます。

### 3 施策の体系



## 第4章 施策の展開

### 基本目標1 地域で支え合いの体制づくり



#### (1) 地域のつながりづくり

##### 【現状と課題】

子育て家庭やひとり暮らしの高齢者等が孤立してしまわないよう、声かけや見守り活動等を通じて、支え合いのある地域づくりに努める必要があります。

アンケート調査結果において、近所の人との交流の程度をみると、「ほとんど（まったく）つきあいが無い」と回答した人が一定程度います。また、地区別ヒアリング調査結果においては、班に加入していない人や新しく引っ越してきた人との接し方に困っていたり、ひとり暮らしの高齢者への連絡が困難なことがあったりするなどの現状がみられます。さらに、関係団体ヒアリング調査結果をみると、地域の中で感じる課題として、子ども・子育てについては地域との交流の少なさが指摘され、高齢者・介護・認知症についてはひとり暮らし世帯の把握や高齢者・認知症者の見守りを課題としている意見がみられます。

地域のつながりづくりの推進にあたっては、日頃からの声かけや見守りをはじめ、各種サロンやサークル活動、行事等の充実を図ることで住民同士の交流を促進し、人と人とのつながりのあるあたたかい地域社会の実現に向けて取り組んでいく必要があります。

##### 【取組の方針】

- ・声かけやあいさつを積極的に行い、地域のつながりを強化します。
- ・地域住民や団体等が行う地域活動により支え合う地域社会を目指します。

### 【行政の取組】

主な取組	内容
声かけ（あいさつ）運動の推進	地域において世代を超えたつながりを強化するため、身近なところからのあいさつや声かけに努め、近所付き合いを大切にし、思いやりや支え合いの気持ちを育むまちづくりを進めます。
見守り活動の推進	子どもを犯罪や交通事故などから守るため、子どもの登下校時に見守り活動を行うとともに、ひとり暮らし高齢者や障がいのある人がいる世帯などへの見守り活動などを推進します。
“茶飲み場”等のサロン活動や傾聴ボランティア活動の推進	社会福祉協議会と連携して、地域の“茶飲み場”等のサロン事業や、傾聴ボランティア事業を実施し、地域で支え合う地域づくりを推進します。
地域の資源を生かした活動の推進	高齢者の生きがいづくりや障がいのある人の自立支援に向けて、生活支援ニーズを把握し、地域資源とのマッチング等により様々な地域の資源を活用した活動や体験を通じた交流を進めるとともに、支え手の確保に努めます。

### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
見守りネットワーク活動の実施	要援護世帯を地域ぐるみで見守っていくために、関係機関や地域住民と連携してニーズの把握を行うとともに、活動を行うボランティアを発掘し、定期的訪問活動等を行います。
緊急連絡カードの作成・配布	要援護世帯に対して、福祉関係機関や医療機関等を記入した緊急連絡カードを定期的に配布することで、普段の見守りや緊急時対応の推進を図ります。
愛の連絡員活動の実施	ひとり暮らし高齢者を対象に連絡員が安否確認や話し相手になることで、孤独感や不安感の軽減を図ります。
“茶飲み場”等のサロン活動や子育てサークルなどでの交流の実施	地域の“茶飲み場”等のサロンの実施や、地域での住民参加、子育てサークルなどとの連携により、交流の促進や活動の充実を図ります。また、傾聴ボランティアの派遣により高齢者の孤立防止を図るとともに、ボランティアの生きがいづくりにもつなげていきます。
社会資源情報の提供	地域の社会福祉資源についての情報提供を行い、さらには、ボランティアグループの行うサービスを紹介し、総合的なサービスの提供に努めます。

### 【地域住民の取組】

- 日頃から、隣近所だけでなく、地域でのあいさつや声かけに努めましょう。
- 自治会に加入し、見守り活動や地域行事に積極的に参加しましょう。

## (2) 支え合い・助け合いの仕組みづくり

### 【現状と課題】

核家族世帯や、単身又は夫婦のみの高齢者世帯の増加など、社会状況の変化に伴い、地域における人間関係の希薄化が進む一方で、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、身近な地域で支え合い、助け合える仕組みを構築し、協力しながら生活上の多様な課題を解決していくことが求められます。

アンケート調査結果をみると、半数以上の人々が「近所の人に支えてほしい」と感じており、福祉活動については4割の人が「活動をしたい（続けたい）」と回答しています。関係団体ヒアリング調査結果をみると、町や社会福祉協議会に期待することとして、「地域における支え合いの体制づくり」と回答している団体が多いことが分かります。

地域における支え合い・助け合いの推進にあたっては、多様化してきている福祉課題や生活課題に対応できるよう、住民福祉活動を推進するとともに、生活支援コーディネーター\*による支援の充実に努める必要があります。また、自治区（行政区・班）を最小単位とした「身近」で「小規模」だからこそできるきめ細かな支援体制づくりを進めるとともに、「広域的」かつ「大規模」な課題にも対応できるよう、関係機関等との連携体制をより一層強化していくことも重要といえます。

### 【取組の方針】

- ・地域住民が主体的に地域活動に参加する環境づくりを進め、一人ひとりの力を生かして、地域で支え合える仕組みをつくることを目指します。
- ・行政や社会福祉協議会、関係団体、事業者等が連携しながら、地域で見守る活動を支援します。

### 【行政の取組】

主な取組	内容
住民福祉活動の推進	年齢や障がいの有無などにかかわらず、全ての個人の人権が尊重され、身近な地域で安心して生活できるよう、幅広い分野で住民福祉活動を推進します。
地域ネットワークの充実	社会福祉協議会を中心に、地域住民や自治区、民生委員・児童委員、ボランティア団体などからなる地域ネットワークの充実を図ります。また、集会場や公共施設などを活用し、地域の団体・組織、NPOなどの交流の促進や防災訓練等の実施により、情報共有を図るなど、地域に住む災害時要援護者*の把握をはじめ、災害時における地域の支え合い活動の充実を図れるよう、地域ネットワークの強化に努めます。
生活支援コーディネーターの導入	社会福祉協議会と連携して、生活支援コーディネーター事業を実施し、地域のニーズと地域資源のマッチング等を行う仕組みを構築します。

### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
生活支援コーディネーター活動の実施	多様な生活支援ニーズに対応した多様なサービスを地域で整備していくために、生活支援コーディネーターによる地域のニーズと地域資源のマッチング等を行い、日常生活支援体制の充実・強化を図るとともに、高齢者の社会参加の推進を一体的に進めます。
福祉関係団体との連携並びに支援体制の強化	障がい者等の当事者団体や高原町老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会等との連携を強化し、協働による事業の推進や、必要に応じて財源の支援を行います。
情報共有システムの実施	関係機関が有する情報の共有により、総合的で効果的な支援活動を展開します。

### 【地域住民の取組】

- 隣近所や地域の中に困っている人や見守りが必要な人はいないか、日頃から気にするように心がけましょう。
- 日頃から地域活動に積極的に関心を持ち、自分にできることはないか、地域で解決できることはないか考えてみましょう。
- 悩んでいる人がいたら声かけを行い、相談にのりましょう。

### (3) 地域活動への参加促進

#### 【現状と課題】

地域福祉を進める主役は住民であり、複雑化・多様化してきているニーズへの対応や地域課題の解決において、住民参画の必要性は更に増大しています。

アンケート調査結果をみると、福祉に関する活動については8割の人が「参加していない」と回答しています。地区別ヒアリング調査結果においては、地域での支え合いには若い人の協力が必要であるといった意見がみられます。関係団体ヒアリング調査結果では、地域の中で感じる課題として、地域活動やボランティアについて、若い世代の参加が減少しているとの声があり、福祉に関する情報提供については活動内容が分かるものがないという指摘がみられます。

地域活動の推進にあたっては、若い世代も含めた幅広い年齢層の住民の参加が必要であることから、各年代の人が抱くそれぞれの関心や地域に対する問題意識から実際に活動の参加へとつなげるために、情報提供やボランティア体験の推進等のきっかけづくりに取り組む必要があります。さらに、地域活動への参加を促進するためには、各活動が充実したものとなるよう、支援体制を強化することも重要です。

#### 【取組の方針】

- ・住民が中心となって、地域の生活課題を把握し、改善していけるように、地域活動への支援を行います。
- ・より多くの住民がボランティア活動に参加できる環境づくりを進めます。
- ・身体障がい者などが商工業や農業の担い手として活躍できる場や雇用の創出を進めます。

#### 【行政の取組】

主な取組	内容
地域に関する情報提供の充実	地域が今どのような状況に置かれ、どういった課題を抱えているのかなど、広報紙やパンフレットなどを活用した情報提供を行い、自治会組織に対して各地域の現状などの周知を図ります。
地域活動の情報提供の充実	各自治会が共通で取り扱うことのできる情報提供の仕組みを確立し、広報紙やホームページなどを活用して、地域活動に関する情報提供を積極的に行い、住民参画のきっかけづくりとなるよう、各活動団体の活動状況や取組内容の周知を図ります。
ボランティア活動支援体制の強化	住民がボランティア活動を継続的に進められるよう、活動参加の促進や支援体制の強化を図ります。また、関係団体などと協議し、ボランティア活動が活発になるように各種団体に関する情報提供を行います。
地域について話す機会の充実	自分たちが住む地域や地域福祉について話し合う場づくりに努めます。



主な取組	内容
産業・福祉連携による雇用創出	町内の事業者や農業者と連携し、身体障がい者などを町内産業の貴重な担い手としての育成を図るとともに、何かを作り出す喜び、頼りにされる喜びなど、町内事業者との交流を通じ、やりがい・生きがいの創出を図ります。

#### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
ボランティア参加の推進	広報活動を中心とした住民のボランティア活動参加のきっかけづくりを推進します。
ボランティア連絡協議会や各ボランティアグループの支援	高原町ボランティア連絡協議会をはじめとする各ボランティアグループの運営と活動の活性化を図るため、研修会等を実施し、活動の支援に努めます。
コーディネーター機能の充実	ボランティア活動を希望する人の登録を行い、ニーズを把握してその対応を図るとともに、活動メニューの開発・充実を図ります。
ボランティアセンターの整備・充実	ボランティア活動の拠点として、恒常的に活動できる場所を提供していくとともに、行政やボランティアの推進機関と連絡会を開催するなどの連携を強化し、ボランティアセンター事業の円滑な運営を図ります。
人材の育成	ボランティアセンター事業の拡充に伴い、ボランティアコーディネーター*やボランティアアドバイザー*の確保、育成を進めるとともに、事業ボランティアの導入を図ります。

#### 【地域住民の取組】

- 地域で積極的にあいさつや声かけを行い、顔の見える関係づくりに努めましょう。
- 身近なボランティア活動、地域活動に興味を持ち、参加してみましよう。
- 地域のイベントや活動に積極的に参加し、地域での支え合い・助け合いについて考えましよう。
- 雇用の場などでの障がいへの理解を深め、身体障がい者などの社会的自立の支援に努めましよう。

#### (4) 地域福祉を支える担い手の育成

##### 【現状と課題】

地方分権化により、住民参画のまちづくりが進んでいます。地域福祉を支える担い手は福祉のまちづくりの根幹であるため、その人材の確保・育成を行うことは重要な取組といえます。

アンケート調査結果をみると、現在福祉に関する活動を行っている人は少ないものの、活動をしたい（続けたい）人は4割おり、今後の活動についてはひとり暮らしの人等の安否確認や見守り、介護や子育て等の手伝いを希望する人もいました。一方、関係団体ヒアリング調査結果をみると、団体の活動や運営について「人材確保が難しい」「職員（メンバー）の高齢化（若い人が少ない）」と回答した団体が多く、課題となっています。

今後、超高齢社会の到来に伴い、人材の高齢化はますます進むものと予測されますが、地域での活動の場をつくることは高齢者の生きがいにもつながることから、年齢にかかわらず、個人の経験を生かして活動に参加してもらえるような環境づくりが必要です。そのためには、関係機関等と連携しながら人材の育成及び資質の向上に努める必要があります。

##### 【取組の方針】

- ・地域福祉を推進するため、地域リーダーの育成やコーディネーターの育成に取り組めます。
- ・住民が日常の中で支え合いやボランティア活動を行えるように、各種講座の運営やサポートなどの支援を行っていきます。

##### 【行政の取組】

主な取組	内容
地域福祉推進リーダーの育成	地域福祉に関する講座などを通じて、障がいや児童福祉の分野も含めた地域福祉を推進するためのリーダーの育成に努めます。
経験を生かした活動の促進	団塊の世代や高齢者が知識や経験を生かし、生きがいづくりや社会参加につなげられるような場づくりを行い、地域活動への参加を促進することに努めます。
NPO・ボランティアの育成と支援	各種講座を開催し、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉などに関わるNPO・ボランティアを育成・支援します。また、ファミリー・サポート・センター事業については、関係機関とも連携しながら、体制の充実を図ります。
身近な地域活動を通じた人材の育成	日頃からの自主防災組織や声かけ運動などの身近な地域活動を通じて、地域住民の活動へのきっかけづくりを行います。

主な取組	内容
活動実践者の育成	社会福祉協議会などの関係機関・団体と連携し、ボランティア講座や認知症サポーター*養成講座をはじめとした各種講座や研修会などを開催しボランティア実践者や地域活動実践者の育成を進めるとともに、地域包括支援センター*等の周知の強化を図ります。
福祉専門職の育成	社会福祉協議会や県などと連携し、保健師や社会福祉士、介護福祉士などの福祉関係職の資質向上を目指した研修会などに参加しやすい環境づくりを行うとともに、積極的な参加を促し、専門職の育成を図ります。

#### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
リーダーの育成	ボランティア活動の核となる新しいリーダーの発掘・育成を図るとともに、リーダーを対象とした研修を行い資質の向上を図ります。
青少年ボランティアの育成	小中学生の福祉の心の醸成を図るため、ボランティアスクール等のボランティア講座を開催するとともに、青少年のボランティア活動に結びつく実践活動を実施します。
青壮年期ボランティアの育成	青壮年を中心とした災害時ボランティア受入れ訓練等を、町内の福祉施設や経済団体と協同して実施し、災害時連絡体制の構築を図るなど、災害時対応に取り組みます。
シルバーボランティアの育成	高齢者の生きがいづくりや相互扶助の一環として、シルバーボランティア研修会を実施し、社会福祉やボランティアについて学び、さらに、地区ボランティアグループの結成につなげ、組織化を図ります。
ボランティア入門講座の実施	幅広い分野でのボランティア活動を進めるために、専門機関と連携してボランティア入門講座を実施します。
地域ボランティアの育成	地域ボランティア育成講座を開催し、地域ボランティアを養成し組織化を図ります。
障がい者ボランティア活動の促進	障がい者も積極的にボランティア活動に参加できるようなメニューづくりを行って、障がい者向けのボランティア講習会を実施し、ボランティア活動につなげていくことで社会参加を促進します。
福祉関係者研修の実施	福祉施設職員や福祉関係職員の研修を行い、地域の福祉課題の解決に向けて、専門的な知識の習得により資質の向上を図り、福祉人材の育成を行います。

#### 【地域住民の取組】

- 地域の状況や地域活動等に関心や興味を持ち、積極的に参加してみましょう。
- 地域活動に関する講座などに参加したり、講師として参加してみたりしましょう。
- 地域での行事や活動に参加しやすくなるよう工夫をしましょう。

## (5) 活動拠点となる交流の場づくり

### 【現状と課題】

地域の福祉活動を継続的に発展していくためには、住民や地域の団体などが気軽に集まり、情報交換などができる活動の拠点の確保が必要です。

本町には地域交流の場として“茶飲み場”がありますが、新型コロナウイルスの影響により開催が減っています。地区別ヒアリング調査結果をみると、“茶飲み場”の開催が減ったことで高齢者とのふれあいや健康観察の機会も少なくなり、開催した場合においても感染防止対策に不安があるという意見がみられます。

関係団体ヒアリング調査結果をみると、町や社会福祉協議会に期待することとして「子育ての不安解消を図るための場づくりや支援の充実」と回答している団体が多く、さらに、子どもの遊ぶ場所の少なさや、高齢者等との交流の場と機会の充実を課題としている意見がみられます。

活動拠点となる交流の場づくりについては、地域の支え合い・助け合い活動の活発化にもつながることから、今後も社会状況や地域の実情など現状に合わせた形で支援していく必要があります。また、高齢者のみならず、子どもとその親など誰もが気軽に集える交流の場や機会が求められていることから、地域の様々な資源を活用した地域の交流・活動拠点づくりを進めることが大切です。

### 【取組の方針】

- ・住民が気軽に地域活動やボランティア活動に参加できるよう、身近な活動の場づくりやその充実を支援します。
- ・身近なところで隣近所の人たちが集まることのできる場や、同じ悩みを持った人々が悩みを共有できる場を充実させます。

### 【行政の取組】

主な取組	内容
社会資源の活用による地域の拠点づくり	公民館などの地域住民に身近な施設をはじめ、地域の様々な資源を活用して地域の活動拠点づくりを進め、サロン活動やサークルなどの地域の交流や住民が集える場としての活用に努めます。また、“茶飲み場”については、誰もが集える交流の場となるよう開催や整備等の支援を推進します。

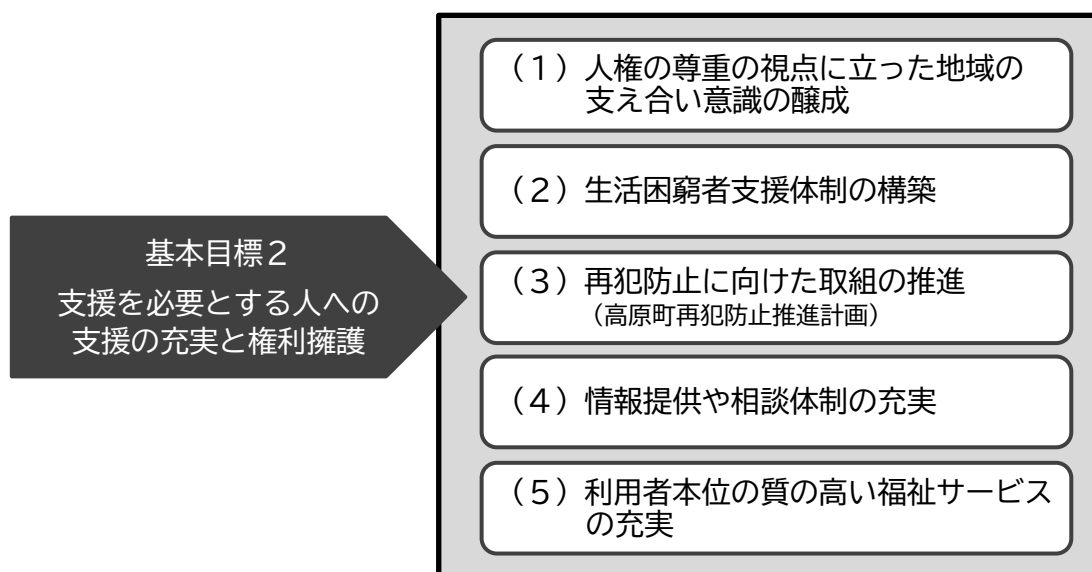
### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
“茶飲み場”等のサロン活動や子育てサークルなどでの交流の実施【再掲】	地域の“茶飲み場”等のサロンの実施や、地域での住民参加、子育てサークルなどとの連携により、交流の促進や活動の充実を図ります。また、傾聴ボランティアの派遣により高齢者の孤立防止を図るとともに、ボランティアの生きがいづくりにもつなげていきます。

### 【地域住民の取組】

- 地域のイベントや交流の場などに、近隣の人を誘って参加しましょう。
- 地域の施設等を地域活動のために積極的に活用しましょう。

## 基本目標 2 支援を必要とする人への支援の充実と権利擁護



### (1) 人権の尊重の視点に立った地域の支え合い意識の醸成

#### 【現状と課題】

私たちの住む地域には、子どもから高齢者までの幅広い年代の人が暮らしており、その中には障がいのある人や、働きながらの子育てや家族の介護に悩んでいる人、外国人など、様々な人がいます。こうした地域で誰もが安心・安全な生活を送るためには、お互いの人権や権利、価値観を認め合い、相手を尊重し、思いやる心を持つことが大切です。そして、全ての人に対等な構成員として参画できる地域づくりが求められています。

一方、子どもや障がいのある人、高齢者への虐待や女性に対する問題、インターネットを悪用した人権侵害、感染症や難病などに対する偏見など、生活していく中での様々な課題もあります。関係団体ヒアリング調査結果をみると、地域の中で感じる課題として障がい者や人権・性的マイノリティに対する理解度の低さを挙げている意見がみられます。

こうした課題を解決するためには、家庭、学校、職場、地域などの様々な機会を通じた啓発や教育などを進めることで、人権や福祉への理解を深めるとともに、お互いが尊重し合い、支え合える関係を築くことが必要です。

#### 【取組の方針】

- ・人権に関する普及・啓発等を通して、全ての人の人権が尊重され、お互いを思いやることのできる社会づくりを推進します。
- ・住民一人ひとりが地域福祉の担い手であり、お互いに支え合える意識を共有できるよう、広報・啓発活動を進めます。

### 【行政の取組】

主な取組	内容
人権の尊重と福祉意識の醸成	人権尊重の視点は全ての活動において欠くことのできないものであり、相手を思いやり、お互いを大切にすることを意識や心を育み、地域住民一人ひとりの尊厳やプライバシーが保たれるように、住民を対象とした人権についての講座や職員向けの研修会を開催するほか、広報紙やパンフレットなども活用して啓発を推進します。
地域福祉に対する町民意識の向上	地域や福祉関係者と連携し、障がいのある人や高齢者、乳幼児との交流や福祉体験などを通じて、福祉の心を育てる取組に努めます。
障がいのある人への理解促進	各種障がい者団体やボランティア団体、サービス提供事業者などと連携して、障がいのある人に対する住民の理解の促進を図ります。また、発達障がいなど、住民の理解が難しいとされる障がいについて、症例や支援方法などの啓発を行います。

### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
児童・生徒に対する福祉教育の推進	学校やボランティアセンターと連携して、児童・生徒に対する福祉教育を推進し、ボランティア活動の活性化を図ります。
自治公民館活動への協力・支援	自治公民館活動の中に福祉講座を位置づけるとともに、地域における福祉に関する講座等の開催を支援します。
イベントの実施	住民が気軽に参加し、福祉に関心が持てるように、福祉大会や高齢者福祉・スポーツ大会などの福祉に関するイベントを企画・実施します。
世代間交流の実施	子どもと高齢者や障がい者等の交流を図ることで、相互理解を深め福祉の心を醸成します。
障がい者地域生活支援事業	障がい者（児）が住み慣れた地域で生活するために相談支援事業所の機能の充実を図り、障がい者福祉に関するコーディネートを行います。また、介護教室等を実施し、福祉機器の効果的な活用方法を助言することで、自立した生活を支援します。

### 【地域住民の取組】

- 地域福祉について関心を持ちましょう。
- 人権について学び、権利擁護意識の高揚を図りましょう。
- 地域での支え合い、助け合いについて考えましょう。

## (2) 生活困窮者支援体制の構築

### 【現状と課題】

国では、生活困窮者や生活保護受給者の増大を受けて、生活保護に至る前段階における自立支援策の強化を図るため、平成27年4月から生活困窮者自立支援制度を開始しました。制度では、自立支援に向けた相談、住居の確保支援、就労支援、生活支援、学習支援など、多様な支援が実施されています。

福祉事務所を設置しない本町では、県が実施主体となります。そのため、町は「生活に困っている人」を早期に把握し、支援機関へつなぐことが求められますが、支援が必要であるにもかかわらず我慢してしまっている人や、SOSを発信できないでいる人がいることも考えられることから、そうした人・家庭の早期発見・対応が課題といえます。

アンケート調査結果をみると、生活支援が必要な人が安心して生活するために必要な取組については「見守りや生活支援が必要な人を把握するための調査を行う」の割合が最も高く、次いで「自治会等の身近な地域での見守りや支援の体制を充実する」「地域と専門機関との連携を充実する」が続いています。

また、失業者、多重債務者、ニート、ひきこもりなど、「制度のはざま」に置かれ、地域で孤立している人についても、調査等により実態を把握した上で、県や社会福祉協議会との連携のもと、適切な支援へとつなぐ必要があります。

### 【取組の方針】

- ・制度のはざまに置かれた住民も漏らさず支援し、課題解消に向かえるよう、関係機関等との連携による、情報共有、支援体制の充実を図ります。
- ・生活困窮者を早期に発見し、個別の状況に応じた支援を推進していきます。

### 【行政の取組】

主な取組	内容
関係機関と連携した生活困窮者の把握	各種相談事業等を通して、生活困窮状態にある住民の早期把握・発見に努めます。また、生活困窮状態にある住民に対し、県、町及び社会福祉協議会が連携して、自立に向けた相談支援や、公的支援制度の適切な利用に向けて支援します。そのため、福祉サービス事業所をはじめとした全ての事業所は、生活困窮状態にあると思われる利用者を把握・発見した場合、町や社会福祉協議会などの窓口と情報共有等の連携を図ります。



主な取組	内容
生活困窮者の早期発見・把握	経済的支援を必要とする住民から相談がある場合、一次窓口として相談支援を行い、福祉だけでなく、健康や教育など多様な分野が連携し、既存の各種相談事業や訪問事業などを通して、生活困窮状態にある住民の早期把握・発見に努めます。また、生活困窮状態にある人から相談があった場合、各種福祉サービスや成年後見制度*などの公的支援制度の適切な利用につなぎ、町で活用可能なサービスがない場合は県と連携して必要な支援へつなげます。必要な場合は、就労相談員やハローワーク、シルバー人材センター*などへ情報提供を行い、生活困窮状態にある住民の就労支援を推進します。

#### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
ひとり親世帯への援助活動	行政と連携して、支援を要するひとり親世帯の実情の把握に努めるとともに、支援・制度の情報を提供し、精神的・身体的負担の軽減を図ります。

#### 【地域住民の取組】

- 地域に関心を持ち、近所にどのような人が暮らしているか把握しましょう。
- 支援が必要な人に気付いたら、関係機関への相談を勧めるとともに、町の相談窓口や地域の民生委員・児童委員に相談しましょう。
- 自立した生活が難しくなったときには、相談窓口等に早めに相談しましょう。

### (3) 再犯防止に向けた取組の推進（高原町再犯防止推進計画）

#### 【現状と課題】

全国の刑法犯の認知件数は減少傾向となっておりますが、検挙人員に占める再犯者の割合（再犯者率）は上昇傾向となっております。再犯の要因としては、貧困や疾病などの厳しい生活環境により生きづらさを抱え、立ち直りに多くの困難を抱えていることも少なくありません。

国も、安全で安心して暮らせる社会を構築する上で、犯罪や非行の繰り返しを防ぐ再犯防止の取組を進め、罪を犯した人の円滑な社会復帰の促進に向けて、平成 28 年 12 月に再犯の防止等の推進に関する法律を施行しています。この法律において、国及び地方公共団体は再犯防止施策を進める責務があり、国の再犯防止推進計画を勘案して地方再犯防止推進計画を定める努力義務があることが明記されました。

一方で、アンケート調査結果をみると、再犯防止に関する広報・啓発活動の取組について、「社会を明るくする運動」及び「再犯防止啓発月間」のどちらも聞いたことがない人が約 3 割となっており、「両方とも聞いたことがある」を上回っているなど、こうした取組の認知度が十分ではないことがうかがえます。

そのため、本町では、本項目を再犯の防止等の推進に関する法律第 8 条第 1 項に基づく「地方再犯防止推進計画」として位置づけ、誰もが安全で安心して暮らせる社会を実現するため、再犯防止施策の推進に取り組めます。

#### 【取組の方針】

- ・再犯の防止に向けて、社会復帰をするための支援と社会が受け入れる環境づくりを進めます。
- ・様々な関係機関・団体等と連携を図り、再犯防止に向けた取組を進めます。

#### 【行政の取組】

主な取組	内容
国や県、関係機関・団体等との連携強化	犯罪をした人等の社会復帰に資する取組等については、国はもとより、県・市町村・関係団体等において、様々な形で実施されています。しかし、本町は、刑事司法機関との接点が少なく、再犯防止に関する事業等に十分に取り組めていません。このため、今後は国や県、関係団体等との連携強化に努め、地域の実情に応じたきめ細やかな再犯防止に取り組んでいきます。
就労や住居の確保等に関する支援	出所者等が安定した生活を営むためには、就労先の確保が必要であり、そのためには犯罪前歴者等を雇用し、更生を支える協力雇用主の存在が不可欠です。このため、本町では、協力雇用主制度について町内事業者等へ周知を図るとともに、公共事業における入札参加資格審査等の優遇措置の検討を行います。また、住宅に困窮する低所得者等については、町営住宅の提供を検討するなど支援に努めていきます。

主な取組	内容
保健医療・福祉サービスの利用促進	犯罪をした人のうち、医療や福祉の支援を必要としている高齢者や障がいのある人等が、支援が十分に行き届かず再犯につながったケースがあると考えられます。このため、保護観察所や保護司と連携して、支援が必要な対象者の生活課題を共有し、保健・医療・福祉サービスの情報提供や相談支援を行い、サービスの利用促進を図ります。
非行の防止等	非行の背景には、規範意識の低下、人間関係の希薄化、家庭環境の変化、貧困や格差の問題等、青少年を取り巻く様々な問題が絡み合っていると考えられます。その解決のため、関係機関・団体とのより一層の連携強化を図りながら、地域社会全体で青少年を健全に育成していくという町民意識の高揚に努めていきます。また、学校においてはスクールサポーター制度の利用、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置により、学校や家庭、地域と連携を図りながら、非行の防止、いじめや不登校の対応等、相談支援体制の充実を図ります。
民間協力者の活動の促進、広報・啓発活動の推進	再犯防止の取組は、更生保護行政を担う国と、住民に身近な県・市町村、保護司や更生保護女性会などの民間協力者が相互に連携して進めていくことが重要と考えます。しかし、近年、保護司をはじめとする民間ボランティアが減少傾向にあることが課題となってきました。このため、本町では、保護司会や更生保護女性会等の活動を支援していくとともに、保護観察所が実施する保護司候補者検討協議会の開催を検討するなど保護司適任者の確保に努めていきます。また、再犯防止の取組に対する理解を深め、関心を持ってもらうため、「社会を明るくする運動」の取組や「再犯防止月間」（7月）の期間を中心とした広報・啓発運動の強化を図っていきます。

#### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
犯罪や非行を防止するまちづくりへの支援	町や関係機関と連携し、「社会を明るくする運動」などに取り組むことで、犯罪や非行を防止し、立ち直りを目指す人を支援できる地域づくりに協力します。

#### 【地域住民の取組】

- 一人ひとりが犯罪や非行の防止と立ち直りを支える意識を持ち、地域全体に広がるよう取り組みましょう。
- 「社会を明るくする運動」への理解を深め、積極的に参加しましょう。
- 更生保護活動に関心を持ち、理解を深めましょう。

#### (4) 情報提供や相談体制の充実

##### 【現状と課題】

住民が抱く不安や悩みなどを把握し、深刻な事態になる前に適切に対応するために、相談機能が果たす役割は非常に大きいといえます。そのため、相談窓口や支援・制度に関する周知・案内も同じく重要となります。

アンケート調査結果をみると、福祉に関して相談しやすくするために必要な取組については「福祉に関する町の相談窓口を充実する」の割合が最も高く、次いで「地域で相談にのっている民生委員・児童委員・福祉委員と専門機関等をつなぐ人やしくみを充実する」「身近な福祉施設・事業所や医療機関・薬局等で相談にのってもらえるようにする」が続いています。

相談窓口の充実を図ることはもとより、気軽に相談できる仕組みづくりが求められています。また、様々な相談内容に適切に対応できるよう、各種相談窓口の連携や、専門性の向上が必要です。

関係団体ヒアリング調査結果をみると、「町内の福祉に関する施設やサービス事業所、活動の内容が分かるものがない」といった意見があり、さらに、高齢者やその家族に向けた情報提供が課題として挙げられています。

必要な情報が必要としている人に行き届くよう、様々な機会をとらえて情報を提供するとともに、広報紙だけでなくインターネット等の媒体を活用した情報の発信に努める必要があります。

##### 【取組の方針】

- ・ 分かりやすい情報発信や伝達手段を充実させ、必要な人に必要な情報が届く、きめ細やかな情報提供体制を確立していきます。
- ・ 複雑化・多様化する相談内容に対応できるよう、相談体制の充実を図るとともに、関係機関との連携や協力体制の強化を図っていきます。

##### 【行政の取組】

主な取組	内容
人権相談と権利の擁護	住民一人ひとりの人権が尊重されるとともに、権利擁護を必要とする人も権利が尊重され、その人らしく生きることができるよう、人権擁護委員による人権相談の実施や西諸地域（二市一町）における権利擁護団体との連携により、きめ細かな支援を行います。
相談支援の充実	役場の窓口をはじめ、子育て世代包括支援センター*や地域包括支援センター、社会福祉協議会などの相談支援の充実を図るため、職員の資質の向上を図ります。また、開設した基幹相談支援センター*をはじめとした各相談機関の連携や専門職の配置などにより、身近な相談から専門的な相談へとつなげられるよう体制の充実を図ります。

主な取組	内容
相談窓口の周知	関係機関と連携して各相談窓口の一覧などを広報紙やホームページなどに掲載し、周知を図ります。
身近な相談体制の充実	地域の身近な相談相手となる民生委員・児童委員の活動を強化するため、研修や情報提供などの充実を図ります。
多様な相談への対応	いじめや不登校などの問題をはじめ、女性に対する暴力などの人権侵害、外国人の生活上での悩みや困りごと、感染症や難病などの病気を抱えている人やその家族の悩みなど、人権に配慮しながら、関係機関と連携して多様な相談への対応を図ります。
虐待に関する相談の充実	子育て支援センターや地域包括支援センターをはじめとする関係機関・団体と連携し、児童や高齢者、障がいのある人に対する虐待に関する相談対応の充実を図るとともに、一時避難場所等の確保を行います。
様々な媒体を活用した情報の提供	福祉サービスや福祉施設を住民に周知するため、パンフレットやインターネットなどの様々な媒体を活用して情報を提供します。

#### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
相談事業の実施	相談員の研修を行い、関係機関との連携を強化することで、どのような相談にも応じられる体制をつくり、適切に対応できるようにします。
介護者支援活動の推進	地域包括支援センターと連携し関係機関との調整を図り、在宅で介護している人の相談を受け付けます。
各種相談事業の充実	弁護士などの専門家の連携を強化し、相談体制の充実を図ります。
各種広報紙等の発行	区長会を通じた広報紙の配布、チラシ・パンフレットの作成により、地域住民への社協活動のPRや福祉・ボランティアの情報の提供を効果的に行います。
マスコミとの連携	町ボランティアセンターと協働し、マスコミ（町広報担当者含む）との連携を深め、定期的な情報提供を行い、住民への広範囲な情報提供を行います。

#### 【地域住民の取組】

- 町や社会福祉協議会等が発信する情報に関心を持ち、積極的な情報の収集に努め、把握した情報などを必要とする人たちに伝えるなどの手助けをしましょう。
- 民生委員・児童委員や社会福祉協議会などの身近な相談窓口を確認しておきましょう。
- 悩んでいる人や困っている人がいたら相談にのり、必要に応じて専門機関や行政等につなげましょう。

## (5) 利用者本位の質の高い福祉サービスの充実

### 【現状と課題】

住み慣れた地域で、個人の尊厳が保持されながら安心して暮らし続けるためには、公的なサービスだけでなく、日常生活上での様々な困りごとに対する福祉サービスの充実も必要となります。

本町では、今後も高齢化や人口減少が進むことが予測されているため、ひとり暮らしの高齢者や、高齢者夫婦世帯など、増加する高齢者からの多様なニーズに対応できるような支援体制づくりが必要となっています。また、障がいのある人や子育て中の保護者等が孤立してしまわないよう、見守り活動や相談支援等を通じ、必要に応じて適切に対応していくことが必要となっています。

日常生活を送る上で何かしらの支援を必要とする人が今後も住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、住民参加型によるきめ細かな福祉サービス提供体制の整備・構築を進めるとともに、ニーズ調査を実施し、利用者本位のサービス提供に向けたニーズの把握に努める必要があります。さらに、権利擁護や個人情報の保護、虐待の防止など、個人の人権に配慮した取組も必要です。

### 【取組の方針】

- ・必要とされる福祉サービスを確保するとともに、質の向上を図り、利用者に沿った適切な福祉サービスの提供に努めます。
- ・地域で安心して暮らせるよう、地域や関係機関・団体との連携を強化し、地域で支え合い、助け合える支援体制の構築、充実を図ります。

### 【行政の取組】

主な取組	内容
福祉サービスの充実	「高原町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」「高原町障がい福祉計画・高原町障がい児福祉計画」「高原町子ども・子育てプラン」等に基づき、サービスの必要な人に対して、適切にサービスを提供できるよう、利用者等へのサービスの情報提供や、支援体制の整備を図ります。また、ICTの活用等を進め、業務の効率化による福祉サービスの現場の負担軽減を図り、福祉人材の確保と福祉サービスの充実を図ります。
福祉専門職の資質の向上	適切なサービス提供や相談対応を行うことができるよう、研修や講習会への積極的な参加を促進し、福祉専門職の資質の向上を図ります。
第三者評価制度の活用	第三者評価事業の活用をサービス提供事業者に働きかけるとともに、サービス提供事業者への情報提供ルートを設定し、サービス全体の質を向上させ、利用者本位の福祉サービス提供体制の実現を図ります。

主な取組	内容
権利擁護の推進	広報紙やホームページ、パンフレットなどを活用し、成年後見制度や日常生活自立支援事業*などを周知し、利用者の権利を保障する事業の推進を図るとともに、西諸地域（二市一町）において権利擁護団体との連携を図ります。
個人情報保護への取組	福祉サービス利用者などに関する個人情報の取扱い、人権やプライバシーに十分注意を図りながら、サービスの提供や相談事業を実施します。
虐待防止の推進	乳幼児や児童をはじめ、高齢者、障がいのある人の虐待防止に向けて、子育て支援センターや地域包括支援センター、警察などの関係機関をはじめ、保健師等の専門職などと連携を深め、即座に対応できる体制を整えます。
住民参加型のサービス提供	高齢者や障がいのある人、子育て中の保護者や子ども等、誰もが気軽に集える“茶飲み場”などのサロン活動をはじめ、子どもの一時預かりなど、住民参加型による柔軟なサービス提供について検討するとともに、立ち上げや運営に対する情報提供などの支援に努めます。
軽度生活支援サービスの推進	社会福祉協議会と連携して、介護保険制度の対象外のサービスの実施を支援します。

#### 【社会福祉協議会の取組】

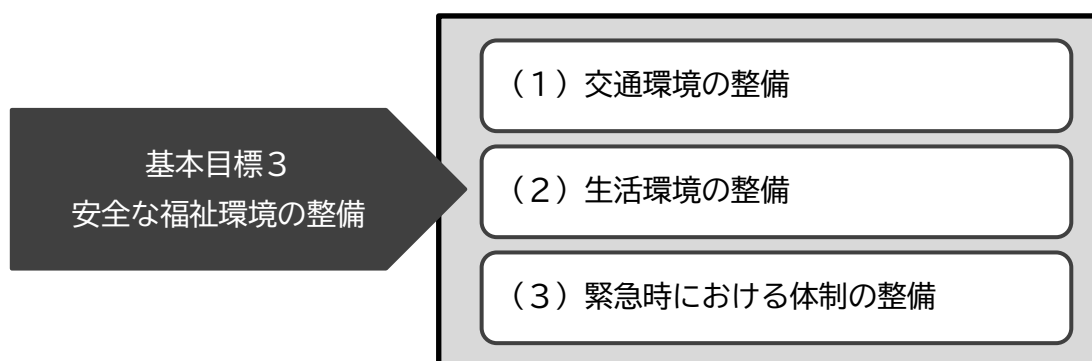
主な取組	内容
ニーズ調査の実施	定期的に住民の福祉に対するニーズ調査を実施し、分析を行い、住民主体のサービスの提供に努めます。
個人情報保護への取組	福祉サービス利用者などに関する個人情報の取扱い、人権やプライバシーに十分注意を図りながら、サービスの提供や相談事業を実施します。
生活福祉資金貸付事業等の実施	援護を必要とする世帯の経済的自立や社会参加の促進を図るため、生活福祉資金の活用を図るほか、各種制度等を活用した経済的支援を行います。
居宅介護支援サービスの実施	地域の高齢者が要介護状態になった場合でも、可能な限り住み慣れた地域で自立した生活が過ごせるよう、要介護者の心身の状況や置かれている環境に応じた居宅サービス計画の作成、関係機関との連絡調整等を行います。
軽度生活支援サービスの実施	介護保険制度の対象外のサービスとして、家事援助や軽介助サービスを提供するとともに、利用者のニーズに合わせてサービスを実施します。
訪問介護サービスの実施	介護保険制度の対象となる利用契約者に対し、ケアプランに基づいて、居宅を訪問し、介護や生活支援などのサービスの提供を行います。
福祉機器の貸出し	車イス等の福祉機器を住民や学校などのほか、必要な人への貸出しを行います。

#### 【地域住民の取組】

- 利用できる福祉サービスについて内容を正しく理解し、適切に活用しましょう。
- 地域で支援が必要な人を把握し、地域や近隣で気軽に手助けをすることができるように取り組みましょう。
- 必要に応じて専門機関や行政などの様々な制度や支援につなげるようにしましょう。



## 基本目標3 安全な福祉環境の整備



### (1) 交通環境の整備

#### 【現状と課題】

高齢者や障がいのある人、子どもや子育て中の保護者等が安心して外出したり、社会参加したりできるように、幅の広い歩道の整備や公共施設の段差の解消など、人にやさしいまちづくりの推進が求められています。

本町では、高齢者や障がいのある人の移動手段や交通手段の確保が大きな課題となっています。関係団体ヒアリング調査結果をみると、地域の中で感じる課題として、買物等が不便な地域があるという意見がみられます。

このような外出や交通手段に関する課題については、地域住民と関係団体等が協働で取り組む必要があります。また、事業者等との連携のもと、生活道路や交通安全施設の計画的な整備を進めるとともに、誰もが自由に社会参加できるよう、利用しやすい移動手段の充実や、移動支援を必要としている人のニーズの把握に努めることが大切です。

#### 【取組の方針】

- ・ 公共施設や歩道等のバリアフリー化を推進します。
- ・ 自分の力で移動することが困難な人のために、公共交通の利便性の向上に取り組みます。

#### 【行政の取組】

主な取組	内容
生活道路の整備	本町の買物の場や公共施設周辺など、住民の利用の多い道路や生活道路については、歩行者の安全性を確保する観点から、緊急性・経済性などを考慮しつつ、整備中の路線は早期完成を図るとともに、計画的な整備を進めます。

主な取組	内容
事業者等との連携による福祉のまちづくりの推進	「高原町地域公共交通網形成計画」に基づいて、近隣市町を含めた住民や事業者、関係機関等と連携し、低床バスやノンステップバスの導入促進、さらには公共交通機関のバリアフリー化を含めた公共機関・施設等のバリアフリー化を事業者などに働きかけます。
多様で高機能な交通手段の確保	高齢者をはじめとする住民の移動手段の確保に向けて、町内の主要施設や病院などを巡回する乗合タクシーの充実を図るとともに、デマンド式*の乗合タクシーの路線拡大等についても検討し、本町の实情にあった公共交通網を構築します。

#### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
福祉のまちづくりの推進	地域住民や関係団体等と地域福祉活動に関する情報交換をする場を設け、地域における福祉ニーズを把握し、地域で解決できる仕組みづくりに取り組みます。

#### 【地域住民の取組】

- 地域の交通環境や公共施設などの危険な箇所について把握し、町への情報提供や地域で可能な改善策に取り組みましょう。
- 地域にどのような移動支援が必要か話し合いましょう。
- お互いに思いやり、困っている人がいたら手助けをしましょう。

## (2) 生活環境の整備

### 【現状と課題】

生活環境における利便性の向上のため、公共施設や交通機関のほか、多くの人が利用する民間の施設についてもユニバーサルデザインの推進が必要です。

また、障がいや加齢による身体などの機能低下があっても、個人の意見や尊厳に配慮し、安心かつ快適な生活を送れるよう、公営住宅の計画的な整備を行うとともに、住宅の改修など、個々の住宅への支援も重要となっています。

さらに、高齢者や障がいのある人、外国人などが生活する上で不自由することなく、様々な情報が得られるよう、文章表記や色使いを工夫した分かりやすい紙面づくりのほか、ホームページ等への音声ガイド機能の追加、点訳図書の作成など、情報のバリアフリーを進めていく必要があります。

今後は、公共施設等のユニバーサルデザイン化や住宅環境の整備・改善に加え、情報のバリアフリー化も併せて進めることにより、誰もが住みやすい地域をつくっていくことが大切です。

### 【取組の方針】

- ・公共施設等のユニバーサルデザイン化や住宅環境の改善を進め、誰にとっても安全・安心なまちづくりを進めます。
- ・障がいなどにより情報の入手に障壁ができないよう、誰もが必要な情報を入手することができるような情報提供体制の確立に努めます。

### 【行政の取組】

主な取組	内容
ユニバーサルデザインに基づく、公共施設などの改善	住民や企業などに対して、ユニバーサルデザインについての啓発を推進し、町の公共施設だけでなく、民間の施設などに関しても、事業主の理解と協力を得ながら、ユニバーサルデザインに基づいた改善を進めるように努めます。
住宅環境の整備	ひとり暮らし高齢者や障がいのある人などが安心して生活できるよう、計画的な公営住宅の整備に努めるとともに、住宅改修についての情報提供や相談などによる支援に努めます。
情報バリアフリーの推進	誰もがスムーズに情報を受け取れるよう情報のバリアフリー化（分かりやすい文章表記、色使いやホームページなどへの音声ガイド機能の追加など）の推進に努めます。また、手話教室を実施するなど、手話のできる人材の育成に努めます。

### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
情報バリアフリーの推進	ボランティアと協働し、広報紙の録音テープの作成などをはじめ、障がいのある人の情報バリアフリー化を図ります。
情報発信方法の工夫	伝わりやすく、興味を持ってもらえるよう、広報紙やチラシの内容や表現方法を工夫します。

### 【地域住民の取組】

- ユニバーサルデザインや情報バリアフリー等への理解を深めましょう。
- 高齢者や障がいのある人などが、普段の生活でどのような場合に不便を感じるか考えてみましょう。
- 地域で誰もが安心して暮らせるよう、住宅改修の必要がないか検討、相談してみましょう。

### (3) 緊急時における体制の整備

#### 【現状と課題】

行政と住民が協力して防災にあたることのできるような体制づくりが必要です。

アンケート調査結果をみると、地震や風水害時に安全に避難できるようにする上で気になることについては、「自分や家族が安全に避難できるか心配」に次いで「近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる」が高い割合を示しています。災害時に地域で支え合う活動のために必要な条件づくりについては、「災害時に支援が必要な人がどこにいるか等の情報共有」と回答した人が5割以上います。今後、災害時要援護者を把握し、いざというときにその人たちに対応していくための仕組みづくりが必要となっています。

また、災害時に地域で支え合う活動のために必要な条件づくりとして「平時からの意識づくりや話し合い、訓練等の実施」も比較的高い割合を示しており、地区別ヒアリング調査結果においては、避難の仕方について普段から住民に周知徹底しておくことが大切であるという意見がみられます。さらに、関係団体ヒアリング調査結果をみると、防災訓練の少なさに対する指摘と、避難の仕方を課題としている意見がみられます。

不測の事態に備えるためには、防災訓練の実施のほか、平常時から災害発生時の避難の仕方について確認する必要があります。

防犯については、近年、子どもや高齢者が犯罪に巻き込まれるケースが増えてきていることから、本町においても引き続き、地域防犯体制の充実や、防犯に関する情報の提供に努める必要があります。

地域のつながりが希薄化している中、防災や防犯などを切り口として、地域のつながりを強め、住民の参画を促し、行政との協働による取組を進めることが大切です。

#### 【取組の方針】

- ・ 防災や防犯に関する意識を高め、町と地域や関係機関・団体等との協働により防災・防犯体制を充実させます。
- ・ 日頃から見守り活動を行うことで、災害時や緊急時における要支援者を把握し、支援体制の強化を図ります。

#### 【行政の取組】

主な取組	内容
災害弱者の把握	民生委員・児童委員や地域の団体などと連携しながら、いわゆる災害弱者の情報収集及び関係者間での情報共有体制を整備するとともに、個別避難計画の策定を進めます。
自主防災組織の立ち上げ等支援	自治区ごとの自主防災組織の立ち上げを支援するとともに、防災資機材の整備や防災訓練等の支援により組織の強化を図ります。

主な取組	内容
地域防犯体制の充実	関係機関・団体、地域との連携を強化しながら、子どもの登下校時の声かけや見守り活動をはじめとした防犯活動を行うとともに、防犯体制の充実を図ります。
地域における防災意識の向上	講習会などの開催や、普段からの防災に関する情報提供により、災害時の行動規範の徹底や防災意識の向上を図ります。
地域防災計画*を通じた防災体制の構築	防災（減災）への取組を総合的に推進するため、「地域防災計画」のもと、地域や関係機関と連携し、防災体制を構築します。
防災・防犯に関する情報提供	災害や地域での犯罪に関する緊急情報を、迅速に地域や関係機関に提供できる体制の充実に努め、避難場所などに関する情報は、様々な手段により提供します。
防犯対策の充実	高齢者などに対する悪質商法や子どもを巻き込む事件などを防止するため、防犯に関する啓発や情報提供を積極的に行います。
交通安全対策の充実	警察や学校などの関係機関・団体と連携し、交通安全についての啓発活動に努め、町民意識の向上に努めます。

#### 【社会福祉協議会の取組】

主な取組	内容
見守り活動の促進	地域で見守り活動を行うことの重要性を啓発し、体制の構築、充実のための支援を行います。
防災・防犯意識の向上	行政や関係機関より提供された情報をもとに、地域住民等の防災・防犯意識の向上に努めます。
災害ボランティアセンターの設置・運営	災害時には円滑にボランティアの受入れができるよう、災害ボランティアセンターの設置や運営に関する体制づくりに取り組みます。
災害ボランティアセンターの普及啓発	災害ボランティアセンターの仕組みや役割について住民の理解が深まるよう、情報提供や研修会の実施などの普及啓発を進めます。

#### 【地域住民の取組】

- 日頃から防災、防犯に対する意識を深め、地域の防災・防犯活動に参加しましょう。
- 地域の防災訓練に参加しましょう。
- 地域で見守るべき人や緊急時の支援が必要な人を把握し、地域での見守り・助け合いの体制を整えましょう。

# 第5章 計画の推進に向けて

## 1 地域住民を中心とした協働による計画の推進

地域には多様な福祉ニーズが潜在しており、それらのニーズに対応していくためには、地域住民が中心となって、地域の中で活動する自治会、民生委員・児童委員、ボランティア団体、関係機関・団体、福祉サービス事業者などとも連携しながら、ニーズに対応できるよう取り組んでいく必要があります。また、取組を進めていく上で生じる様々な課題や問題に対して、社会福祉協議会や行政が支援するという基本的な仕組みを構築することが必要です。住み慣れた地域で支え合うことのできる地域社会を実現するために、本計画のもと、地域住民が中心となり、『地域福祉』を担う主体が互いに連携をとり、協働してそれぞれの役割を果たしながら推進していきます。

### (1) 住民の役割

住民一人ひとりが地域福祉の推進役としての意識や認識を高め、地域社会を構成している一員であることの自覚を持つことが大切です。そして、自ら住んでいる地域を知り、地域の生活課題を把握するとともに、社会福祉協議会や行政などと連携し、その解決を図るよう努めます。

### (2) 地域で活動する組織や団体などの役割

地域で活動する組織や団体などは、社会福祉の担い手として、地域における福祉活動に関心を持つとともに、地域の生活課題を発見・共有し、その解決に向けて取り組むことが大切です。そのため、自らの特性を生かして自主的・主体的に取り組むだけでなく、地域で活動する他の組織や団体などとも連携して、地域福祉の問題や課題の解決に努めます。

### (3) 福祉のサービス事業者の役割

サービスの提供者や協力者として、利用者の自立支援、サービスの質の確保、利用者保護、情報提供及び周知や他のサービスとの連携に取り組むことが大切です。そして、今後、ますます多様化する福祉ニーズに対応するために、サービス事業の充実や新たなサービスの創出に努めるとともに、住民が地域福祉に取り組むための支援や福祉のまちづくりに参画するよう努めます。

#### (4) 社会福祉協議会の役割

---

社会福祉協議会は、社会福祉法において地域福祉の推進を図る中核として位置づけられており、地域福祉を推進していくことを使命とし、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進することを目的とした組織です。そのため、行政と連携しながら本計画の推進役を担うとともに、住民が主体となって地域福祉活動を進めていくことができるよう、支援を行っていきます。

#### (5) 行政の役割

---

行政は、住民福祉の向上を目指して総合的に福祉施策を展開する責務があります。そのために、関係機関や団体などと連携や協力を図るとともに、住民のニーズの把握と地域の特性に配慮した福祉施策の推進に努めます。また、地域福祉の推進にあたっては、行政内の各課などが緊密に連携し、全庁が一体となって施策の推進を図ります。

## 2 計画の普及・啓発

---

本計画を推進していく上では、計画の目指す地域福祉の方向性や取組について、住民をはじめとする計画に関わる全ての人々が共通認識を持つことができるよう、広報紙やホームページなどを活用して広く周知し、本計画や「地域福祉」についての普及・啓発を行います。

## 3 県及び近隣の市町との連携

---

本町における地域福祉を効率的・効果的に推進するため、宮崎県及び近隣の市町と連携し、情報交換などを広域的な観点で行いながら計画の推進を図ります。



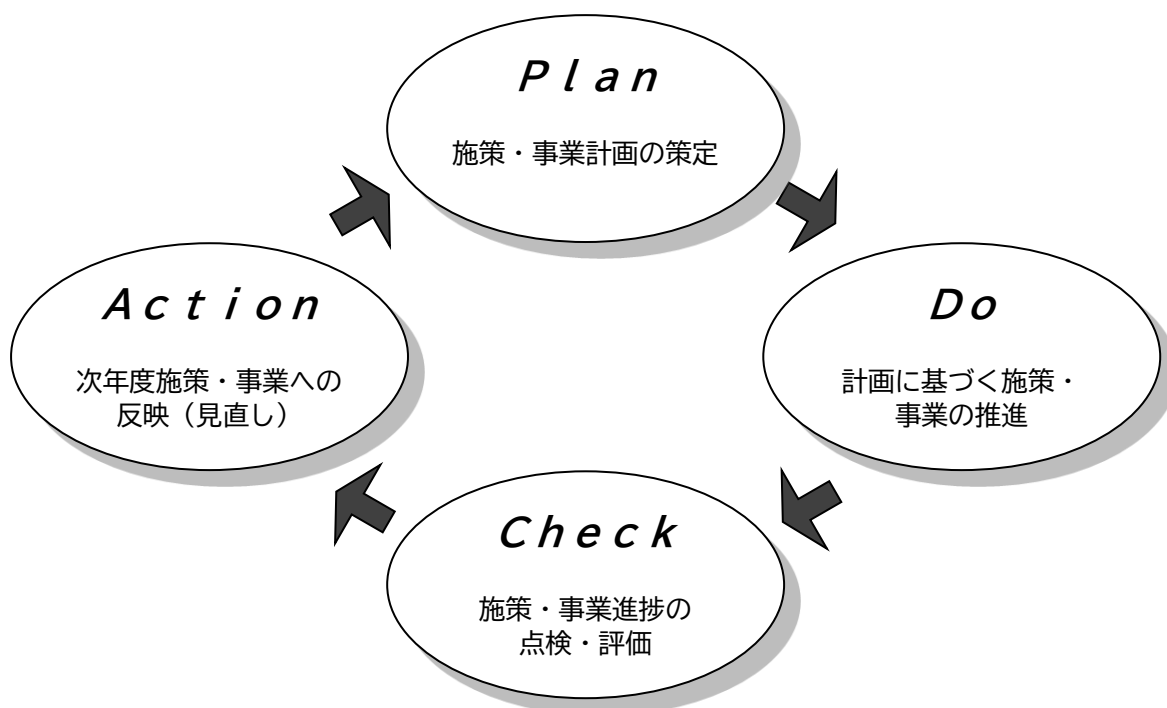
## 4 計画の推進及び評価・進行管理

本計画に基づく施策を推進するにあたっては、行政及び社会福祉協議会内の関係各課の相互の連携・調整を図り、一体となって、計画の進捗状況の把握・点検、進行管理及び評価に努めます。

また、本計画の推進にあたっては、情報の共有、行政や社会福祉協議会との協働した取組など、住民参加の機会の拡充に努めます。

なお、計画の着実な推進のためには、これらの管理・評価を一連のつながりの中で実施することが重要です。そのため、計画を立案し（Plan）、実践する（Do）ことはもちろん、目標設定や計画策定後も適切に評価（Check）、改善（Action）が行えるよう、循環型のマネジメントサイクル（PDCAサイクル）の構築を図り、必要に応じて計画の進行管理や見直しを行います。

### ■PDCAサイクルのイメージ



# 資料編

## 1 高原町地域福祉計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 地域福祉の総合的推進を図る高原町地域福祉計画の策定を円滑に進めるため、高原町地域福祉計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の事項を協議する。

- (1) 地域福祉計画（地域福祉活動計画を含み、以下「計画」という。）の評価、策定に関すること
- (2) その他前号に関連する事項

(組織)

第3条 委員会は、20人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 住民組織の代表者
- (3) 社会福祉施設の代表者
- (4) 社会福祉団体関係者
- (5) その他町長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から計画が策定されるまでとする。ただし、欠員が生じた場合の補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を1人置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、または委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて委員長が招集し、その議長となる。ただし、最初に開かれる会議は、町長が招集する。

2 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員会において、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴き、または説明若しくは資料の提出を求めることができる。

(作業部会)

第7条 委員会に、具体的な実務の検討を行うため、作業部会を置くことができる。

2 作業部会に、部会長を置き、町民福祉課長をもって充てる。

3 作業部会の会議は、部会長が招集し、その議長となる。

4 部会長は、作業部会で検討を行った事項について、委員会に報告しなければならない。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、町民福祉課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和3年7月1日から施行する。

## 2 高原町地域福祉計画策定委員会委員名簿

(五十音順)

No.	所属	氏名
1	高原町老人クラブ連合会	朝比奈 紀行
2	石井十次の会	石原 潤二郎
3	高原町民生委員・児童委員協議会	大迫 典子
4	高原町社会福祉協議会	北迫 泉
5	高原町養護老人ホーム峰寿園	久保田 光信
6	小林地区保護司会 高原支部	坂口 俊夫
7	高原町身体障害者福祉協会	中嶋 一郎
8	高原町消防団	中嶋 利彦
9	高原町PTA連絡協議会	永野 正志朗
10	高原町ボランティア連絡協議会	二宮 豊
11	高原町保育会	林 由美子
12	高原町商工会	原田 武寛
13	高原町区長会	松石 忠
14	障害者支援施設あさひの里	松元 和由紀
15	特別養護老人ホームミューズの虹高原	三原 晶子
16	高原町地域婦人連絡協議会	吉留 千穂子
17	児童養護施設 石井記念神武の家	吉原 智美

※各機関の代表又は各機関の推薦を受けた者をもって構成

### 3 高原町地域福祉計画作業部会委員名簿

---

No.	氏名	所属・役職
1	原田 朋子	総合政策課 主査
2	江南 智玄	総務課 主任主事
3	大丸 晋平	産業創生課 主査
4	中別府 和也	教育総務課 課長補佐兼係長
5	金丸 隆	建設水道課 係長
6	中村 みどり	ほほえみ館 係長
7	留山 裕伍	国民健康保険高原病院 主任主事
8	外村 英樹	高原町社会福祉協議会 事務局長
9	水町 洋明	町民福祉課 課長
10	外村 美保子	町民福祉課 福祉係長
11	古川 一将	町民福祉課 福祉係 主任主事

## 4 策定の経緯

年月日	会議名・主な内容等
令和3年 2月22日～3月8日	アンケート調査の実施
令和3年 5月13日～6月10日	地区別ヒアリング調査の実施
令和3年 6月21日～7月5日	関係団体ヒアリング調査の実施
令和3年 9月24日	第1回高原町地域福祉計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域福祉計画と地域福祉活動計画について</li> <li>● 各種事前調査の報告について</li> <li>● 計画骨子案について</li> <li>● 今後のスケジュールについて</li> </ul>
令和3年 10月13日	高原町地域福祉計画策定に係る第1回作業部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 概要説明</li> <li>● 第1回策定委員会の報告</li> <li>● 今後の作業内容説明、スケジュール確認</li> </ul>
令和3年 11月26日	高原町地域福祉計画策定に係る第2回作業部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画骨子案（後半）について</li> <li>● 各項目における確認事項について</li> <li>● 今後のスケジュール確認</li> </ul>
令和3年 12月24日	第2回高原町地域福祉計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画素案（後半）について</li> <li>● パブリックコメントの実施について</li> </ul>
令和4年 1月11日～2月10日	パブリックコメントの実施
令和4年 3月2日～3月8日	第3回高原町地域福祉計画策定委員会（書面開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第2期高原町地域福祉計画（最終案）の策定について</li> </ul>

## 5 用語解説

---

### か行

#### 基幹相談支援センター

地域における相談支援の拠点として、総合的な相談業務（身体障がい・知的障がい・精神障がい）及び成年後見制度利用支援事業を行う機関のことです。

#### 合計特殊出生率

15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性とその年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの子どもの数に相当します。

#### 子育て世代包括支援センター

妊娠、出産から子育て期の悩み・不安をワンストップで相談・解決できるよう、保健師等が、様々な相談に対し、医療・保健・福祉などの幅広いサービスを一体的に提供するための調整を行う機関のことです。

### さ行

#### 災害時要援護者

高齢者や障がい者、乳幼児など、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなどの際に支援を要する人のことです。

#### 社会を明るくする運動

全ての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動のことです。

#### 重層的支援体制整備事業

従来分野別の支援体制では対応が難しい複雑化・複合化した課題に対応するため、市町村において「包括的相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援に一体的に取り組むことで包括的な支援体制の構築を図る、社会福祉法に基づいて創設された事業のことです。

## シルバー人材センター

高齢者等の雇用の安定等に関する法律の指定を受け、60歳以上の健康で就業意欲のある会員に対して、地域の日常生活に密着した臨時的かつ短期的な仕事を提供することで、会員の生きがいの充実や生活の安定、地域社会の発展や現役世代の下支え等を推進する組織のことです。

## 生活支援コーディネーター

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくために、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能（主に資源開発やネットワーク構築の機能）を果たす人のことです。

## 性的マイノリティ

生物学的な性と性の自己意識が一致しない人、性的指向が同性や両性に向いている人など、社会的には少数派となる人たちのことです。

## 成年後見制度

認知症や知的障がいなどで判断能力が十分でない人が、財産管理や日常生活での契約などを行うときに、不利益を被ることがないように、法的に保護し、支援する制度のことです。

## た行

### ダブルケア

育児と同時期に親や親族の介護などの複数のケアを担う状態のことです。

### 地域包括ケアシステム

高齢者等が住み慣れた地域で可能な限り生活できるように、地域の実情に沿って「住まい」「医療」「介護」「生活支援」「介護予防」等を包括的に提供するための体制のことです。

### 地域包括支援センター

地域の高齢者の心身の健康保持や生活の安定のために必要な援助を行うことを目的として設けられた施設のことです。市町村及び老人介護支援センターの設置者、一部事務組合、医療法人、社会福祉法人等のうち包括的支援事業の委託を受けたものが設置することができます。主な業務は、①包括的支援事業（介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）、②指定介護予防支援、③要介護状態等になるおそれのある高齢者の把握等で、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の専門職が配置されています。



## 地域防災計画

住民の生命や財産等を災害から守るため、災害対策基本法に基づいて、都道府県や市町村に作成が義務づけられた防災計画のことです。災害発生時の応急対策や復旧など、災害に係わる事務・業務に関して総合的に定めた計画で、国の防災基本計画に基づいて、それぞれの地域の実情に即して作成します。

## デマンド式

事前予約に応じて、運行ダイヤや発着地を柔軟に変化させる運行形態のことです。

## な行

### 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な人が地域で安心して自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行う事業のことです。

### 認知症サポーター

都道府県等が実施主体となる「認知症サポーター養成講座」の受講者で、友人や家族への認知症に関する正しい知識の伝達や、認知症になった人の手助け等を本人の可能な範囲で行うボランティアのことです。受講者には認知症を支援する目印としてオレンジリングが授与されます。

## は行

### 8050問題

80代の親が50代の子どもの生活を支えるという問題のことで、家族や本人の病気、親の介護、離職（リストラ）、経済的困窮、人間関係の孤立など、複合的課題を抱え、地域社会とのつながりが絶たれた社会的孤立が背景にあるとされています。

### バリアフリー

高齢者・障がい者等が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去（フリー）することで、物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報面での障壁など全ての障壁を除去するという考え方のことです。

### ヘルスリテラシー

健康に関する情報を入手し、理解して活用する能力のことです。

### **ボランティアアドバイザー**

誰でも気楽にボランティア活動に参加できるように、自らもボランティア活動しながら、これからボランティア活動してみたいという人や現在ボランティア活動をしている人などに対して、自らの経験を生かして、相談や助言を行う人のことです。

### **ボランティアコーディネーター**

ボランティア活動を行う際の心構えや注意点などの啓発、各機関やボランティアの調整などを行い、ボランティア活動をしたい人とボランティアを求めている人を結びつける役割を担う人のことです。

## **や行**

### **ユニバーサルデザイン**

障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方のことです。

## 6 アンケート調査

### (1) 調査票

### 高原町地域福祉に関するアンケート

～地域福祉に関するアンケートご協力をお願い～

町民の皆さまには、日頃から町政に関してご理解とご協力をいただき、心から深く感謝申し上げます。

今、高原町では「第2期高原町地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

この計画は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みを、地域における支え合い、助け合いによりつくりあげていこうとする計画です。

この調査は、地域福祉計画・地域福祉活動計画に向けた取り組みの一つとして実施するもので、アンケートを通じて「地域福祉」に関する皆さまのお考えやご意見をお寄せいただき、「地域福祉計画」策定にあたっての貴重な資料とさせていただきます。

調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、統計的に処理し、個人の名前を出したり、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

大変お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

令和3年2月  
高原町

#### ご記入、ご返送のお願い

- ◆ ご回答は、あて名のご本人が記入してください。なお、ご本人が回答する事が難しい場合は、ご家族の方が代わりに記入してください。
- ◆ ご回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合には、( ) 内に具体的な内容をご記入ください。
- ◆ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

3月8日(月曜日)までにご返送ください。

- ◆ この調査についてのお問い合わせは、下記のところまでお願いします。

高原町役場 町民福祉課 福祉係

電話 0984-42-1067

**あなたとあなたのご家族についておたずねします。**

問1 あなたの年代をおしえてください。(〇は1つ)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上

問2 あなたの性別をおしえてください。(〇は1つ)

① 男性	② 女性
------	------

問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(〇は1つ)

①	②	③	④
大字 広原	大字 西麓	大字 後川内	大字 蒲牟田

問4 同居されているご家族の構成をおしえてください。(〇は1つ)

① ひとり暮らし	② 夫婦のみ	③ 親と子ども (二世世代世帯)
④ 親と子どもと孫 (三世世代世帯)	⑤ その他 ( )	

問5 あなたのお仕事をおしえてください。(〇は1つ)

① 会社員・公務員	② 自営業	③ 農業
④ 自由業	⑤ 学生	⑥ 専業主婦・主夫
⑦ 無職	⑧ その他 ( )	

問6 あなたの就労形態をおしえてください。(〇は1つ)

- |             |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| ① 正社員       | ② 事業経営者   | ③ 契約・派遣社員 |
| ④ パート・アルバイト | ⑤ その他 ( ) |           |

問7 あなたの世帯の現在の暮らし向き(経済的な状況)をおしえてください。(〇は1つ)

- |               |              |         |
|---------------|--------------|---------|
| ① 豊か          | ② どちらかといえば豊か | ③ ふつう   |
| ④ どちらかといえば苦しい | ⑤ かなり苦しい     | ⑥ わからない |
| ⑦ その他 ( )     |              |         |

問8 あなたの現在の健康状態をおしえてください。(〇は1つ)

- |                         |             |                      |
|-------------------------|-------------|----------------------|
| ① 健康                    | ② 体が弱く、病気がち | ③ 寝たきり<br>(ほとんど寝たきり) |
| ④ 持病や障がいがあるが、日常生活に問題はない |             |                      |
| ⑤ その他 ( )               |             |                      |

問9 あなたご自身を含め、ご家族のなかに介護が必要な人はいますか。(あてはまるものすべてに〇)

- |            |                |                    |
|------------|----------------|--------------------|
| ① 必要な人はいない | ② 介護が必要な高齢者がいる | ③ 介護が必要な障がい者(児)がいる |
| ④ その他 ( )  |                |                    |

問 10 現在、あなたの地域での暮らしに関する次のことについて、どのように感じていますか。(①～⑯のそれぞれについて1～5の中から1つに○)

	そう思う	そう思う どころかといえ ば	どちらかといえ ば そうは思わ ない	そうは思わ ない	わからない
① 高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる	1	2	3	4	5
② 障がい者が社会に参加し、安心して暮らせる	1	2	3	4	5
③ ゆとりをもって安心して子育てができる	1	2	3	4	5
④ 子どもが健やかに育つ環境がある	1	2	3	4	5
⑤ だれもが生涯学習や好きな活動ができる	1	2	3	4	5
⑥ 住民どうしのあたたかいふれあいがある	1	2	3	4	5
⑦ 世代が違う人どうしの交流がある	1	2	3	4	5
⑧ 困ったときもすぐに相談できる	1	2	3	4	5
⑨ 困ったことがあっても誰かが支えてくれる	1	2	3	4	5
⑩ 住まいや地域の生活環境がよい	1	2	3	4	5
⑪ 道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい	1	2	3	4	5
⑫ いろいろな活動ができる場が身近にある	1	2	3	4	5
⑬ 生活のいろいろな面で便利である	1	2	3	4	5
⑭ すべての人の人権が守られている	1	2	3	4	5
⑮ 災害などの面で安全である	1	2	3	4	5
⑯ 防災などに対して安心感がある	1	2	3	4	5

問 11 あなたやご家族は、近所の人とどの程度の交流がありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- ① 困ったときには相談したり助け合う人がある
- ② 家を行き来するほど親しい人がいる
- ③ 道などで会えば親しく話をする人がいる
- ④ あいさつする程度
- ⑤ ほとんど(まったく)つきあいがいい
- ⑥ その他( )

問 12 生活全般を通じて、あなたはお住まいの地域で、現在の暮らしに満足していますか。(○は1つ)

- ① 満足している
- ② どちらかといえば、満足している
- ③ どちらかといえば、満足していない
- ④ 満足していない

問 13 あなたは生活のなかで困ったとき、近所の人に支えてほしいと思いますか。(○は1つ)

- ① 困ったときには、近所の人に支えてほしいと思う  
(現在支えてもらっている場合も含む)
- ② 支えてほしいが、難しいと思う
- ③ 近所の人に支えてほしいとは思わない
- ④ わからない
- ⑤ その他( )

問 14 あなたは日常生活で、近所の人に助けてほしいと思うことがありますか。  
(○は1つ)

- ① 自分や家族の話し相手や相談相手 ② 安否確認や見守りをしてほしい  
になってほしい
- ③ 用事するときなど一時的に子どもを ④ 家事や買い物などを手伝ってほし  
預かってほしい
- ⑤ 出かける時の付き添いや送迎をし ⑥ 介護を手伝ってほしい  
てほしい
- ⑦ その他 ( )
- ⑧ 特に助けてほしいと思うことはない

**福祉に関する活動への状況についておたずねします。**

問 15 あなたは、福祉に関するつぎのような活動に参加していますか。  
(○は1つ)

- ① 自治会などの地域の福祉活動
- ② 福祉に関するボランティアや NPO の活動
- ③ 福祉ニーズのある人どうしの当事者活動
- ④ その他 ( )
- ⑤ 特に福祉に関する活動には、参加していない

問 15-1 <問 15 で①～④を選択された方におたずねします。>  
現在、福祉の活動をされている頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

- ① ほぼ毎日                      ② 週に1～数回                      ③ 月に1～数回
- ④ 年に1～数回                      ⑤ ほとんどしていない



問 15-2 <問 15 で①～④を選択された方におたずねします。>  
福祉の活動をするうえで、困っていることがありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| ① 活動の時間的な負担が大きい                 | ② 活動の体力的な負担が大きい    |
| ③ 活動の経済的な負担が大きい                 | ④ 家族が活動を理解してくれない   |
| ⑤ 一緒に活動するメンバーが少ない               | ⑥ 活動メンバーが高齢化している   |
| ⑦ 活動グループの運営が難しい                 | ⑧ 他の団体等との関係づくりが難しい |
| ⑨ 活動するための場所確保が難しい               | ⑩ 活動のための財源確保が難しい   |
| ⑪ 活動がマンネリ化している                  | ⑫ 新しい活動を始めることが難しい  |
| ⑬ 活動について相談したり、専門的な支援をしてくれる人がいない |                    |
| ⑭ その他 ( )                       |                    |
| ⑮ わからない、もしくは特にない                |                    |

※すべての方におたずねします。

問 16 あなたは今後、福祉に関する活動をしたい(または続けたい)と思えますか。(○は1つ)

- |                            |
|----------------------------|
| ① 現在の活動を続けていきたい            |
| ② 現在の活動に加えて、新たな活動もしていきたい   |
| ③ 現在の活動に代えて、新たな活動をしていきたい   |
| ④ 現在は活動していないが、今後何らかの活動をしたい |
| ⑤ 活動を減らしたい、または、辞めたい        |
| ⑥ 現在は活動しておらず、今後も活動するつもりはない |
| ⑦ その他 ( )                  |



問 18 お住まいの地域の福祉に関する環境について、次のことをおおむね5年前とくらべ、どのように変わったと思いますか。  
 (在住5年未満の方は、現在の印象でお答えください)  
 (①～⑯のそれぞれについて1～5の中から1つに○)

	かなりよくなった	多少はよくなった	あまり変わらない	悪くなった	わからない
① 高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる	1	2	3	4	5
② 障がい者が社会に参加し、安心して暮らせる	1	2	3	4	5
③ ゆとりをもって安心して子育てができる	1	2	3	4	5
④ 子どもが健やかに育つ環境がある	1	2	3	4	5
⑤ だれもが生涯学習や好きな活動ができる	1	2	3	4	5
⑥ 住民どうしのあたたかいふれあいがある	1	2	3	4	5
⑦ 世代が違う人どうしの交流がある	1	2	3	4	5
⑧ 困ったときもすぐに相談できる	1	2	3	4	5
⑨ 困ったことがあっても誰かが支えてくれる	1	2	3	4	5
⑩ 住まいや地域の生活環境がよい	1	2	3	4	5
⑪ 道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい	1	2	3	4	5
⑫ いろいろな活動ができる場が身近にある	1	2	3	4	5
⑬ 生活のいろいろな面で便利である	1	2	3	4	5
⑭ すべての人の人権が守られている	1	2	3	4	5
⑮ 災害などの面で安全である	1	2	3	4	5
⑯ 防災などに対して安心感がある	1	2	3	4	5

問 19 高原町において、今後おおむね 5 年間で、特に力を入れて取り組んでいく必要があることは何ですか。(〇は5つまで)

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| ① 寝たきりや認知症などの高齢者への介護     | ② 高齢者の生きがいづくり           |
| ③ 障がい者(児)の介護や支援          | ④ 介護している家族等への支援(ケアラー支援) |
| ⑤ 子育てへの支援                | ⑥ 子どもの健全育成や虐待問題への対応     |
| ⑦ 低所得などで生活に困っている人への支援    | ⑧ 外国籍住民への支援             |
| ⑨ 地域の生活環境を良くするための取り組み    | ⑩ ボランティアなどの地域での活動の推進    |
| ⑪ 地域の人のつながりづくりや交流の場づくり   | ⑫ 日常のちょっとした支援を行う活動      |
| ⑬ 災害時の高齢者・障がい者等への支援体制づくり | ⑭ 福祉の支援が必要な人などの権利擁護     |
| ⑮ 福祉の相談が気軽にできるしくみづくり     |                         |
| ⑯ その他 ( )                |                         |
| ⑰ わからない、もしくは特にない         |                         |

問 20 今後、特にどのような人に、福祉の活動に参加してほしいと思いますか。(〇は2つまで)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| ① 小学生・中学生などの子どもたち   | ② 高齢者                 |
| ③ 若い世代の人            | ④ 定年退職者や子育ての手が離れた世代の人 |
| ⑤ PTA や自治会などの活動の経験者 | ⑥ 地域にある企業の従業員など       |
| ⑦ その他 ( )           | ⑧ わからない、もしくは特にない      |

**問 21 町民が福祉に関していっそう相談しやすくするために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は2つまで)**

- ① 福祉に関する町の相談窓口を充実する
- ② 地域包括支援センターなどの相談機関を充実する
- ③ 身近な福祉施設・事業所や医療機関・薬局等で相談にのってもらえるようにする
- ④ 町民も参加する身近な地域の相談窓口を開設、充実する
- ⑤ 地域で相談にのっている民生委員・児童委員・福祉委員と専門機関等をつなぐ人やしくみを充実する
- ⑥ その他 ( )
- ⑦ わからない、もしくは特にない

**問 22 日常的に見守りや生活支援が必要な人が安心して生活できるようにしていくために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇は2つまで)**

- ① 見守りや生活支援が必要な人を把握するための調査を行う
- ② 自治会等の身近な地域での見守りや支援の体制を充実する
- ③ 希望する人には有償で生活支援を行うしくみをつくる
- ④ 地域と専門機関との連携を充実する
- ⑤ その他 ( )
- ⑥ わからない、もしくは特にない

問 23 地震や風水害等時に、誰もが安全に避難等できるようにしていくうえであなたが気になることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- ① 自分や家族が安全に避難できるか心配
- ② 近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる
- ③ 避難場所やそこまでの経路がわからない
- ④ 介護や生活支援が必要なので、避難所で生活できるか心配
- ⑤ その他 ( )
- ⑥ 特に気になることはない

問 24 災害時に誰もが安全に避難などができるよう地域で支え合うために、支援が必要な人の情報を地域で共有することについて、どのように思いますか。(①、②のそれぞれについて 1~3 の中から 1 つに○)

	情報管理が適切に管理され、プライバシーが守られるの てなれば、個人情報提供し てもらいたいと思う	個人情報は提供したく ないと思う	わからない
① あなたが支援する立場であった場合	1	2	3
② あなたが支援を必要とする立場であった場合	1	2	3

問 25 あなたは災害時に地域で支え合う活動をするために、特にどのような条件づくりが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- ① 災害時に支援が必要な人がどこにいるか等の情報共有
- ② 地域での防災組織の確立
- ③ 災害時に活動のコーディネートや支援を行う「災害ボランティアセンター」の構築
- ④ 災害時の避難や救出に活用できる資機材の整備
- ⑤ 平時からの意識づくりや話し合い、訓練等の実施
- ⑥ その他 ( )
- ⑦ わからない、もしくは特にない

### 成年後見制度についておたずねします。

問 26 「成年後見制度※」をご存知ですか。(〇は1つ)

- ① よく知っている
- ② 少し知っている
- ③ よく知らないが聞いた事がある
- ④ 全く聞いた事がない

問 27 あなた自身が認知症などで判断ができなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- ① はい
- ② いいえ
- ③ わからない

※成年後見制度とは

認知症、知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない方について、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、本人を法的に支援する制度のことです。





問 28-1 <問 28 で①～③を選択された方におたずねします。>  
どのようにして知りましたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |  |
|-------------------|--|
| ① パンフレットやポスターで知った | ② イベントやシンポジウムに参加して知った                            |
| ③ テレビや新聞で知った      | ④ ホームページや Twitter や LINE といった SNS などのインターネットで知った |
| ⑤ 知人から聞いて知った      | ⑥ その他 ( )  |
| ⑦ わからない           |  |

問 28-2 あなたは、再犯防止に関して、広く国民の理解や関心を深めるためには、国は何をするべきだと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| ① 芸能人やキャラクターが出演するイベントを充実する          |
| ② 誰もが参加できる講習会などのシンポジウムを充実する         |
| ③ テレビや新聞などでの広報を充実する                 |
| ④ ホームページや SNS などのインターネットでの情報発信を充実する |
| ⑤ パンフレットやポスターを増やす                   |
| ⑥ 再犯防止に協力する民間協力者に対する表彰の機会を増やす       |
| ⑦ 学校の授業で取り上げるよう働きかける                |
| ⑧ 地域や社会教育の場で話し合う機会をもつよう働きかける        |
| ⑨ 職場の研修などで取り上げるよう働きかける              |
| ⑩ その他 ( )                           |
| ⑪ わからない                             |



## (2) 集計結果

問1 あなたの年代をおしえてください。(○は1つ)

単位：%

		合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
全体		n=1,019	4.6	6.8	10.3	13.5	28.1	24.2	11.0	1.5
性別	男性	n=383	3.1	4.4	10.2	17.0	29.0	25.3	11.0	0.0
	女性	n=621	5.6	8.4	10.6	11.6	28.2	23.8	11.3	0.5
地区	大字広原	n=315	5.4	7.0	10.8	14.3	27.0	25.4	9.8	0.3
	大字西麓	n=290	4.1	8.3	10.0	13.1	29.0	24.5	10.3	0.7
	大字後川内	n=117	6.0	6.0	10.3	12.8	29.9	24.8	10.3	0.0
	大字蒲牟田	n=282	3.9	5.7	10.3	14.2	28.7	23.4	13.8	0.0

問2 あなたの性別をおしえてください。(○は1つ)

単位：%

		合計	男性	女性	無回答
全体		n=1,019	37.6	60.9	1.5
年代	20代	n=47	25.5	74.5	0.0
	30代	n=69	24.6	75.4	0.0
	40代	n=105	37.1	62.9	0.0
	50代	n=138	47.1	52.2	0.7
	60代	n=286	38.8	61.2	0.0
	70代	n=247	39.3	59.9	0.8
	80代以上	n=112	37.5	62.5	0.0
地区	大字広原	n=315	39.7	60.0	0.3
	大字西麓	n=290	38.6	61.0	0.3
	大字後川内	n=117	40.2	59.8	0.0
	大字蒲牟田	n=282	35.1	64.5	0.4

問3 あなたのお住まいの地区はどちらですか。(○は1つ)

単位：%

		合計	大字広原	大字西麓	大字後川内	大字蒲牟田	無回答
全体		n=1,019	30.9	28.5	11.5	27.7	1.5
年代	20代	n=47	36.2	25.5	14.9	23.4	0.0
	30代	n=69	31.9	34.8	10.1	23.2	0.0
	40代	n=105	32.4	27.6	11.4	27.6	1.0
	50代	n=138	32.6	27.5	10.9	29.0	0.0
	60代	n=286	29.7	29.4	12.2	28.3	0.3
	70代	n=247	32.4	28.7	11.7	26.7	0.4
	80代以上	n=112	27.7	26.8	10.7	34.8	0.0
性別	男性	n=383	32.6	29.2	12.3	25.8	0.0
	女性	n=621	30.4	28.5	11.3	29.3	0.5

問4 同居されているご家族の構成をおしえてください。(○は1つ)

単位：%

		合計	ひとり暮らし	夫婦のみ	親と子ども(二世 代世帯)	親と子どもと孫 (三世 代世帯)	その他	無回答
全体		n=1,019	17.5	36.7	32.8	4.0	6.1	2.9
年代	20代	n=47	6.4	4.3	66.0	10.6	12.8	0.0
	30代	n=69	0.0	8.7	87.0	1.4	1.4	1.4
	40代	n=105	7.6	17.1	59.0	6.7	6.7	2.9
	50代	n=138	12.3	29.0	42.8	5.8	9.4	0.7
	60代	n=286	18.5	51.4	18.5	3.8	6.3	1.4
	70代	n=247	25.1	46.2	19.8	2.8	4.0	2.0
	80代以上	n=112	31.3	42.0	17.0	1.8	4.5	3.6
性別	男性	n=383	14.6	41.3	33.4	3.7	6.0	1.0
	女性	n=621	19.5	34.5	33.2	4.3	6.3	2.3
地区	大字広原	n=315	17.1	32.7	34.3	4.4	8.6	2.9
	大字西麓	n=290	21.0	36.6	31.7	4.8	5.2	0.7
	大字後川内	n=117	11.1	42.7	36.8	2.6	5.1	1.7
	大字蒲牟田	n=282	17.4	40.4	32.3	3.5	5.0	1.4

問5 あなたのお仕事をおしえてください。(○は1つ)

単位：%

		合計	会社員・ 公務員	自営業	農業	自由業	学生	専業主 婦・主夫	無職	その他	無回答
全体		n=1,019	29.4	7.9	12.5	1.1	0.5	8.4	27.9	9.3	3.0
年代	20代	n=47	66.0	2.1	0.0	0.0	10.6	4.3	4.3	10.6	2.1
	30代	n=69	65.2	8.7	4.3	1.4	0.0	1.4	4.3	14.5	0.0
	40代	n=105	65.7	8.6	1.9	0.0	0.0	2.9	5.7	13.3	1.9
	50代	n=138	60.9	8.0	5.1	1.4	0.0	6.5	5.8	10.9	1.4
	60代	n=286	22.0	9.4	16.4	1.4	0.0	12.9	22.7	11.9	3.1
	70代	n=247	3.2	9.3	20.2	1.2	0.0	9.7	48.6	5.3	2.4
	80代以上	n=112	0.0	2.7	16.1	0.9	0.0	8.0	69.6	2.7	0.0
性別	男性	n=383	35.2	10.4	18.8	1.3	0.3	0.3	26.9	6.0	0.8
	女性	n=621	26.4	6.4	8.7	1.0	0.6	13.7	28.8	11.6	2.7
地区	大字広原	n=315	27.9	7.6	13.3	0.6	0.6	6.7	26.3	14.6	2.2
	大字西麓	n=290	35.2	8.6	5.9	1.4	0.3	9.7	31.0	6.2	1.7
	大字後川内	n=117	27.4	7.7	27.4	0.9	0.9	5.1	23.9	6.8	0.0
	大字蒲牟田	n=282	27.3	7.8	12.4	1.4	0.4	11.0	29.1	8.2	2.5

問6 あなた就労形態をおしえてください。(○は1つ)

単位：%

		合計	正社員	事業経営 者	契約・派 遣社員	パート・ アルバイト	その他	無回答
全体		n=1,019	24.2	10.8	4.8	13.3	14.9	31.9
年代	20代	n=47	61.7	2.1	8.5	12.8	6.4	8.5
	30代	n=69	55.1	8.7	4.3	21.7	4.3	5.8
	40代	n=105	57.1	5.7	4.8	17.1	10.5	4.8
	50代	n=138	52.9	11.6	8.7	11.6	7.2	8.0
	60代	n=286	12.6	13.6	7.7	19.2	12.6	34.3
	70代	n=247	4.5	13.8	1.2	8.9	24.3	47.4
	80代以上	n=112	0.0	7.1	0.0	2.7	25.0	65.2
性別	男性	n=383	32.4	20.4	5.0	7.6	14.6	20.1
	女性	n=621	19.8	5.2	4.8	17.2	15.5	37.5
地区	大字広原	n=315	24.4	11.1	4.1	15.9	14.6	29.8
	大字西麓	n=290	28.3	10.0	5.2	11.4	16.2	29.0
	大字後川内	n=117	24.8	14.5	6.8	8.5	14.5	30.8
	大字蒲牟田	n=282	20.6	9.9	4.6	15.2	14.9	34.8

問7 あなたの世帯の現在の暮らし向き（経済的な状況）をおしえてください。（○は1つ）

単位：%

		合計	豊か	どちらか といえば 豊か	ふつう	どちらか といえば 苦しい	かなり苦 しい	わからな い	その他	無回答
全体		n=1,019	1.6	4.1	65.3	18.9	4.7	2.7	0.4	2.3
年代	20代	n=47	8.5	2.1	66.0	12.8	6.4	4.3	0.0	0.0
	30代	n=69	4.3	7.2	59.4	20.3	4.3	4.3	0.0	0.0
	40代	n=105	1.0	10.5	54.3	24.8	6.7	1.9	0.0	1.0
	50代	n=138	2.2	1.4	72.5	15.2	4.3	3.6	0.0	0.7
	60代	n=286	0.3	2.4	69.6	19.2	4.2	2.1	0.3	1.7
	70代	n=247	0.4	4.9	65.2	19.8	5.3	3.2	0.0	1.2
	80代以上	n=112	2.7	3.6	66.1	17.9	3.6	1.8	2.7	1.8
性別	男性	n=383	1.3	4.2	71.3	17.5	3.9	1.3	0.3	0.3
	女性	n=621	1.8	4.2	62.6	20.1	5.3	3.7	0.5	1.8
地区	大字広原	n=315	0.6	3.8	66.0	19.7	4.1	3.2	0.6	1.9
	大字西麓	n=290	1.0	3.8	66.9	19.0	5.5	2.4	0.0	1.4
	大字後川内	n=117	2.6	3.4	65.8	17.9	6.0	4.3	0.0	0.0
	大字蒲牟田	n=282	2.8	5.3	65.2	18.8	4.3	2.1	0.7	0.7

問8 あなたの現在の健康状態をおしえてください。（○は1つ）

単位：%

		合計	健康	体が弱 く、病気 がち	寝たきり (ほとん ど寝たき り)	持病や障 がいがあ るが、日 常生活に 問題はな い	その他	無回答
全体		n=1,019	55.3	5.0	0.3	33.7	4.0	1.7
年代	20代	n=47	85.1	0.0	0.0	12.8	2.1	0.0
	30代	n=69	82.6	7.2	0.0	10.1	0.0	0.0
	40代	n=105	81.9	2.9	0.0	14.3	1.0	0.0
	50代	n=138	65.2	1.4	0.0	26.8	5.1	1.4
	60代	n=286	54.9	5.6	0.0	33.9	4.9	0.7
	70代	n=247	40.5	5.7	0.4	49.8	3.6	0.0
	80代以上	n=112	28.6	9.8	1.8	50.0	8.0	1.8
性別	男性	n=383	57.4	4.4	0.5	35.2	2.1	0.3
	女性	n=621	55.1	5.5	0.2	33.2	5.3	0.8
地区	大字広原	n=315	59.4	4.8	0.6	31.4	3.5	0.3
	大字西麓	n=290	53.1	3.1	0.3	39.0	3.1	1.4
	大字後川内	n=117	54.7	6.8	0.0	33.3	4.3	0.9
	大字蒲牟田	n=282	56.0	6.4	0.0	31.9	5.7	0.0

問9 あなたご自身を含め、ご家族のなかに介護が必要な人はいますか。  
(あてはまるものすべてに○)

単位：％

		合計	必要な人は いない	介護が必要 な高齢者 がいる	介護が必要 な障がい者 (児)が いる	その他	無回答
全体		n=1,019	80.7	11.2	2.9	3.3	2.8
年代	20代	n=47	89.4	8.5	2.1	0.0	0.0
	30代	n=69	89.9	2.9	2.9	1.4	2.9
	40代	n=105	89.5	5.7	2.9	1.9	0.0
	50代	n=138	79.7	12.3	4.3	5.8	0.0
	60代	n=286	78.7	15.7	2.1	3.1	1.0
	70代	n=247	83.8	10.5	1.6	3.2	2.4
	80代以上	n=112	71.4	12.5	7.1	4.5	5.4
性別	男性	n=383	82.5	12.3	3.1	2.1	0.3
	女性	n=621	80.8	10.8	2.9	4.2	2.7
地区	大字広原	n=315	81.3	11.4	2.9	3.2	2.2
	大字西麓	n=290	84.5	9.3	2.8	2.8	1.7
	大字後川内	n=117	81.2	10.3	1.7	7.7	0.9
	大字蒲牟田	n=282	79.1	13.5	3.9	2.5	1.8

問10 現在、あなたの地域での暮らしに関する次のことについて、どのように感じていますか。(①～⑬のそれぞれについて1～5の中から1つに○)

①高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わから ない	無回答
全体		n=1,019	11.7	30.4	19.3	15.5	20.7	2.4
年代	20代	n=47	10.6	40.4	8.5	8.5	31.9	0.0
	30代	n=69	10.1	30.4	17.4	18.8	23.2	0.0
	40代	n=105	9.5	32.4	15.2	22.9	20.0	0.0
	50代	n=138	9.4	35.5	22.5	11.6	20.3	0.7
	60代	n=286	11.2	28.0	24.8	15.0	18.9	2.1
	70代	n=247	13.4	28.3	18.6	16.2	19.8	3.6
	80代以上	n=112	16.1	32.1	13.4	14.3	18.8	5.4
性別	男性	n=383	11.7	31.6	20.9	18.0	16.2	1.6
	女性	n=621	11.8	29.8	18.7	14.0	23.2	2.6
地区	大字広原	n=315	13.3	33.7	14.6	15.9	21.0	1.6
	大字西麓	n=290	11.7	29.3	21.7	13.4	20.7	3.1
	大字後川内	n=117	9.4	29.9	23.1	13.7	22.2	1.7
	大字蒲牟田	n=282	10.6	29.1	21.3	17.7	19.1	2.1

## ②障がい者が社会に参加し、安心して暮らせる

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	7.5	18.7	21.9	19.4	28.5	4.0
年代	20代	n=47	10.6	21.3	14.9	6.4	46.8	0.0
	30代	n=69	8.7	23.2	21.7	20.3	26.1	0.0
	40代	n=105	7.6	21.0	21.9	24.8	24.8	0.0
	50代	n=138	5.8	21.7	27.5	19.6	23.9	1.4
	60代	n=286	7.7	16.8	25.9	20.6	26.6	2.4
	70代	n=247	7.3	18.2	18.6	17.8	31.6	6.5
	80代以上	n=112	8.0	17.9	14.3	19.6	28.6	11.6
性別	男性	n=383	8.1	20.4	22.7	22.2	24.3	2.3
	女性	n=621	7.2	18.0	21.3	17.7	31.1	4.7
地区	大字広原	n=315	7.3	22.2	20.0	17.5	31.4	1.6
	大字西麓	n=290	6.2	19.7	23.8	15.9	29.0	5.5
	大字後川内	n=117	8.5	15.4	23.1	18.8	29.9	4.3
	大字蒲牟田	n=282	8.5	16.3	21.6	25.2	24.5	3.9

## ③ゆとりをもって安心して子育てができる

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	11.3	25.2	20.0	13.6	23.3	6.6
年代	20代	n=47	14.9	29.8	19.1	10.6	25.5	0.0
	30代	n=69	15.9	29.0	20.3	21.7	10.1	2.9
	40代	n=105	9.5	34.3	28.6	13.3	14.3	0.0
	50代	n=138	9.4	35.5	21.7	12.3	20.3	0.7
	60代	n=286	12.6	25.9	21.3	15.4	21.3	3.5
	70代	n=247	9.3	19.8	17.4	12.1	31.6	9.7
	80代以上	n=112	13.4	13.4	12.5	9.8	28.6	22.3
性別	男性	n=383	11.2	26.4	20.9	16.7	21.4	3.4
	女性	n=621	11.6	25.0	19.5	11.6	24.5	7.9
地区	大字広原	n=315	13.0	26.7	15.2	15.6	24.8	4.8
	大字西麓	n=290	8.6	28.6	21.7	10.7	23.1	7.2
	大字後川内	n=117	11.1	25.6	17.9	16.2	22.2	6.8
	大字蒲牟田	n=282	12.8	20.9	24.8	12.8	22.3	6.4

## ④子どもが健やかに育つ環境がある

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	14.7	38.9	14.1	8.5	17.2	6.6
年代	20代	n=47	25.5	46.8	6.4	10.6	10.6	0.0
	30代	n=69	17.4	49.3	14.5	11.6	7.2	0.0
	40代	n=105	13.3	50.5	18.1	8.6	9.5	0.0
	50代	n=138	13.8	55.1	15.9	3.6	10.9	0.7
	60代	n=286	16.8	37.4	17.1	8.0	16.8	3.8
	70代	n=247	11.3	32.0	11.7	10.5	25.1	9.3
	80代以上	n=112	15.2	21.4	8.9	7.1	23.2	24.1
性別	男性	n=383	13.1	41.3	14.1	10.7	16.4	4.4
	女性	n=621	15.9	38.0	14.3	6.9	17.6	7.2
地区	大字広原	n=315	15.2	39.4	12.4	10.2	16.8	6.0
	大字西麓	n=290	12.8	37.6	15.9	7.6	20.3	5.9
	大字後川内	n=117	15.4	41.0	15.4	5.1	17.1	6.0
	大字蒲牟田	n=282	16.7	40.1	13.8	8.5	14.2	6.7

⑤だれもが生涯学習や好きな活動ができる

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	8.3	25.6	23.3	17.5	19.8	5.5
年代	20代	n=47	10.6	42.6	12.8	12.8	21.3	0.0
	30代	n=69	2.9	31.9	27.5	18.8	18.8	0.0
	40代	n=105	5.7	24.8	28.6	21.0	20.0	0.0
	50代	n=138	6.5	21.0	33.3	18.1	18.8	2.2
	60代	n=286	9.8	25.5	24.5	17.5	19.2	3.5
	70代	n=247	9.3	27.1	17.4	18.2	21.1	6.9
	80代以上	n=112	10.7	20.5	18.8	13.4	17.0	19.6
性別	男性	n=383	8.4	27.4	26.4	17.5	17.2	3.1
	女性	n=621	8.5	24.8	21.4	17.6	21.3	6.4
地区	大字広原	n=315	9.8	27.0	21.9	16.8	19.0	5.4
	大字西麓	n=290	7.9	26.6	25.5	14.1	20.7	5.2
	大字後川内	n=117	3.4	25.6	26.5	22.2	17.1	5.1
	大字蒲牟田	n=282	9.6	23.8	22.0	19.9	19.9	5.0

⑥住民どうしのあたたかいふれあいがある

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	12.5	39.6	21.1	13.5	9.7	3.5
年代	20代	n=47	12.8	44.7	19.1	17.0	6.4	0.0
	30代	n=69	8.7	39.1	17.4	24.6	10.1	0.0
	40代	n=105	9.5	44.8	19.0	15.2	10.5	1.0
	50代	n=138	6.5	43.5	23.9	13.8	11.6	0.7
	60代	n=286	12.6	38.1	23.8	14.7	8.4	2.4
	70代	n=247	13.0	40.1	22.3	10.5	9.3	4.9
	80代以上	n=112	23.2	33.9	13.4	7.1	11.6	10.7
性別	男性	n=383	11.2	43.3	24.3	12.0	7.8	1.3
	女性	n=621	13.2	37.8	19.0	14.5	11.0	4.5
地区	大字広原	n=315	14.6	37.1	20.0	14.9	11.1	2.2
	大字西麓	n=290	9.0	36.2	24.5	15.9	10.0	4.5
	大字後川内	n=117	14.5	51.3	16.2	7.7	6.0	4.3
	大字蒲牟田	n=282	12.4	42.2	21.3	12.1	9.2	2.8

⑦世代が違う人どうしの交流がある

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	8.6	23.8	26.8	24.1	12.5	4.1
年代	20代	n=47	6.4	23.4	12.8	44.7	12.8	0.0
	30代	n=69	8.7	15.9	30.4	29.0	15.9	0.0
	40代	n=105	5.7	27.6	35.2	20.0	11.4	0.0
	50代	n=138	3.6	26.1	31.2	22.5	15.9	0.7
	60代	n=286	7.0	25.2	30.1	24.8	10.8	2.1
	70代	n=247	10.9	24.3	24.3	21.9	12.1	6.5
	80代以上	n=112	17.0	20.5	17.0	18.8	12.5	14.3
性別	男性	n=383	8.6	25.8	31.6	20.9	11.2	1.8
	女性	n=621	8.4	23.0	24.2	25.8	13.5	5.2
地区	大字広原	n=315	10.5	25.4	23.5	24.1	13.7	2.9
	大字西麓	n=290	5.9	20.0	30.7	26.9	12.1	4.5
	大字後川内	n=117	7.7	30.8	31.6	16.2	8.5	5.1
	大字蒲牟田	n=282	9.6	23.4	25.5	23.8	13.8	3.9



⑧困ったときもすぐに相談できる

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	10.2	26.0	25.3	20.4	14.3	3.7
年代	20代	n=47	8.5	21.3	19.1	31.9	19.1	0.0
	30代	n=69	4.3	31.9	30.4	24.6	8.7	0.0
	40代	n=105	9.5	18.1	32.4	24.8	15.2	0.0
	50代	n=138	5.1	30.4	23.2	20.3	20.3	0.7
	60代	n=286	8.7	24.1	31.5	20.3	12.9	2.4
	70代	n=247	12.1	30.8	18.6	17.8	15.0	5.7
	80代以上	n=112	20.5	23.2	21.4	14.3	8.9	11.6
性別	男性	n=383	8.9	30.8	26.4	20.9	11.2	1.8
	女性	n=621	11.0	23.3	24.8	20.0	16.4	4.5
地区	大字広原	n=315	12.4	28.3	22.2	21.3	13.0	2.9
	大字西麓	n=290	7.2	25.5	26.9	21.7	15.2	3.4
	大字後川内	n=117	11.1	26.5	28.2	17.9	12.0	4.3
	大字蒲牟田	n=282	10.3	25.2	26.2	18.4	16.0	3.9

⑨困ったことがあっても誰かが支えてくれる

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	11.9	31.0	20.5	16.8	15.5	4.3
年代	20代	n=47	14.9	29.8	21.3	19.1	14.9	0.0
	30代	n=69	13.0	37.7	23.2	15.9	10.1	0.0
	40代	n=105	13.3	26.7	25.7	16.2	18.1	0.0
	50代	n=138	4.3	38.4	23.9	13.0	18.8	1.4
	60代	n=286	11.5	29.0	22.7	19.2	13.6	3.8
	70代	n=247	13.8	30.0	18.2	15.4	17.4	5.3
	80代以上	n=112	15.2	32.1	9.8	17.9	11.6	13.4
性別	男性	n=383	11.0	30.8	23.2	19.6	13.6	1.8
	女性	n=621	12.6	31.4	19.0	15.0	16.6	5.5
地区	大字広原	n=315	13.7	33.3	17.8	17.5	14.6	3.2
	大字西麓	n=290	10.3	30.7	22.4	18.3	14.1	4.1
	大字後川内	n=117	10.3	33.3	25.6	12.8	12.8	5.1
	大字蒲牟田	n=282	11.7	28.7	20.2	16.0	18.8	4.6

⑩住まいや地域の生活環境がよい

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	15.1	43.1	17.8	11.0	8.6	4.4
年代	20代	n=47	12.8	51.1	14.9	17.0	4.3	0.0
	30代	n=69	15.9	47.8	15.9	14.5	5.8	0.0
	40代	n=105	11.4	46.7	17.1	19.0	5.7	0.0
	50代	n=138	11.6	42.8	23.9	9.4	11.6	0.7
	60代	n=286	12.2	46.5	17.5	11.9	8.7	3.1
	70代	n=247	19.0	42.1	16.2	6.5	9.3	6.9
	80代以上	n=112	23.2	29.5	19.6	6.3	8.9	12.5
性別	男性	n=383	15.1	47.3	18.0	11.5	6.8	1.3
	女性	n=621	15.3	41.1	17.7	10.3	9.8	5.8
地区	大字広原	n=315	16.5	44.4	16.2	9.8	10.2	2.9
	大字西麓	n=290	15.5	43.1	18.3	9.0	9.3	4.8
	大字後川内	n=117	10.3	40.2	19.7	12.8	10.3	6.8
	大字蒲牟田	n=282	15.2	44.0	19.1	12.4	5.7	3.5

①道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	8.8	20.7	22.0	39.2	6.0	3.3
年代	20代	n=47	4.3	19.1	25.5	48.9	2.1	0.0
	30代	n=69	5.8	21.7	21.7	43.5	7.2	0.0
	40代	n=105	5.7	15.2	23.8	50.5	4.8	0.0
	50代	n=138	5.8	20.3	24.6	40.6	8.0	0.7
	60代	n=286	6.3	18.5	28.0	37.1	8.4	1.7
	70代	n=247	14.2	27.9	16.2	33.6	3.2	4.9
	80代以上	n=112	13.4	16.1	14.3	39.3	5.4	11.6
性別	男性	n=383	11.5	24.0	22.7	36.3	4.2	1.3
	女性	n=621	7.1	18.5	21.7	41.2	7.2	4.2
地区	大字広原	n=315	9.2	26.0	21.3	34.3	6.7	2.5
	大字西麓	n=290	10.0	24.8	21.4	33.4	7.2	3.1
	大字後川内	n=117	2.6	12.0	24.8	49.6	6.8	4.3
	大字蒲牟田	n=282	9.6	13.8	23.0	46.5	3.9	3.2

②いろいろな活動ができる場が身近にある

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	5.2	15.7	28.3	31.6	15.3	3.9
年代	20代	n=47	6.4	21.3	25.5	36.2	10.6	0.0
	30代	n=69	1.4	10.1	30.4	42.0	15.9	0.0
	40代	n=105	3.8	10.5	27.6	41.0	17.1	0.0
	50代	n=138	1.4	14.5	36.2	31.2	15.2	1.4
	60代	n=286	3.5	16.8	31.5	31.8	13.3	3.1
	70代	n=247	6.9	19.4	24.3	28.7	15.4	5.3
	80代以上	n=112	13.4	14.3	19.6	23.2	17.9	11.6
性別	男性	n=383	6.0	19.1	32.4	31.1	10.2	1.3
	女性	n=621	4.7	13.8	25.6	32.4	18.4	5.2
地区	大字広原	n=315	5.7	14.9	29.8	31.1	16.5	1.9
	大字西麓	n=290	3.8	19.7	25.9	29.7	16.6	4.5
	大字後川内	n=117	2.6	13.7	29.9	34.2	15.4	4.3
	大字蒲牟田	n=282	7.1	13.5	28.7	34.0	12.1	4.6

③生活のいろいろな面で便利である

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	7.0	19.0	24.2	39.3	7.2	3.3
年代	20代	n=47	8.5	21.3	19.1	42.6	8.5	0.0
	30代	n=69	1.4	13.0	24.6	53.6	7.2	0.0
	40代	n=105	3.8	11.4	25.7	55.2	3.8	0.0
	50代	n=138	3.6	20.3	30.4	37.7	6.5	1.4
	60代	n=286	4.5	15.7	27.6	40.9	8.4	2.8
	70代	n=247	11.3	25.9	21.5	30.4	6.9	4.0
	80代以上	n=112	13.4	20.5	15.2	33.9	7.1	9.8
性別	男性	n=383	8.6	19.8	27.9	36.3	5.5	1.8
	女性	n=621	6.0	18.5	21.9	41.5	8.2	3.9
地区	大字広原	n=315	9.2	23.8	24.4	32.4	8.3	1.9
	大字西麓	n=290	6.6	23.1	23.4	33.8	9.0	4.1
	大字後川内	n=117	1.7	7.7	29.1	47.9	10.3	3.4
	大字蒲牟田	n=282	7.1	14.2	23.4	49.3	2.8	3.2

⑭すべての人の人権が守られている

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	7.9	31.2	18.5	14.0	24.9	3.4
年代	20代	n=47	12.8	34.0	12.8	8.5	31.9	0.0
	30代	n=69	5.8	34.8	18.8	20.3	18.8	1.4
	40代	n=105	7.6	32.4	17.1	17.1	25.7	0.0
	50代	n=138	1.4	38.4	20.3	13.8	24.6	1.4
	60代	n=286	6.6	32.2	22.4	14.0	22.0	2.8
	70代	n=247	8.5	28.3	16.6	13.4	29.1	4.0
	80代以上	n=112	15.2	25.0	16.1	8.9	25.0	9.8
性別	男性	n=383	8.9	34.2	22.7	14.4	18.5	1.3
	女性	n=621	6.9	29.6	16.1	13.5	29.5	4.3
地区	大字広原	n=315	7.9	34.9	15.6	14.9	25.1	1.6
	大字西麓	n=290	6.2	34.1	18.6	13.1	23.4	4.5
	大字後川内	n=117	8.5	29.1	19.7	11.1	27.4	4.3
	大字蒲牟田	n=282	8.5	25.9	22.0	14.5	25.9	3.2

⑮災害などの面で安全である

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	14.4	35.6	17.7	15.9	13.8	2.6
年代	20代	n=47	10.6	34.0	19.1	17.0	19.1	0.0
	30代	n=69	5.8	29.0	24.6	23.2	17.4	0.0
	40代	n=105	11.4	37.1	17.1	19.0	15.2	0.0
	50代	n=138	8.0	39.1	20.3	15.9	15.9	0.7
	60代	n=286	12.9	38.1	19.6	14.3	13.6	1.4
	70代	n=247	21.5	35.6	13.4	13.8	12.1	3.6
	80代以上	n=112	21.4	27.7	14.3	17.9	10.7	8.0
性別	男性	n=383	16.4	37.1	18.5	16.2	10.7	1.0
	女性	n=621	13.4	34.5	17.1	15.9	16.1	3.1
地区	大字広原	n=315	16.2	36.5	16.8	14.0	14.9	1.6
	大字西麓	n=290	14.8	41.7	16.2	12.4	12.1	2.8
	大字後川内	n=117	12.0	28.2	15.4	22.2	18.8	3.4
	大字蒲牟田	n=282	13.1	31.6	21.3	19.1	12.8	2.1

⑯防災などに対して安心感がある

単位：％

		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そうは思 わない	そうは思 わない	わからな い	無回答
全体		n=1,019	11.3	34.4	21.4	15.8	14.2	2.8
年代	20代	n=47	8.5	29.8	17.0	17.0	27.7	0.0
	30代	n=69	5.8	26.1	30.4	20.3	17.4	0.0
	40代	n=105	9.5	33.3	29.5	16.2	11.4	0.0
	50代	n=138	5.8	44.2	19.6	16.7	13.0	0.7
	60代	n=286	8.7	38.5	21.3	14.7	14.7	2.1
	70代	n=247	16.6	33.6	18.2	14.6	13.4	3.6
	80代以上	n=112	18.8	23.2	19.6	17.9	11.6	8.9
性別	男性	n=383	12.0	35.8	24.0	16.2	11.0	1.0
	女性	n=621	10.8	33.5	19.6	15.9	16.6	3.5
地区	大字広原	n=315	15.2	31.1	21.3	17.1	14.0	1.3
	大字西麓	n=290	11.0	37.2	20.0	13.8	14.8	3.1
	大字後川内	n=117	6.0	30.8	25.6	16.2	17.1	4.3
	大字蒲牟田	n=282	9.2	36.9	21.3	16.7	13.1	2.8

問 11 あなたやご家族は、近所の人とどの程度の交流がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

単位：%

		合計	困ったときには相談したり助け合う人がいる	家を行き来するほど親しい人がいる	道などで会えば親しく話をする人がいる	あいさつする程度	ほとんど(まったく)つきあいが無い	その他	無回答
全体		n=1,019	30.0	29.5	59.6	37.8	6.0	1.0	0.8
年代	20代	n=47	14.9	19.1	44.7	53.2	14.9	0.0	0.0
	30代	n=69	15.9	10.1	40.6	47.8	8.7	2.9	1.4
	40代	n=105	16.2	11.4	38.1	55.2	13.3	1.0	0.0
	50代	n=138	20.3	18.1	57.2	44.2	7.2	0.0	0.7
	60代	n=286	31.8	31.8	64.3	35.0	4.5	0.7	1.4
	70代	n=247	40.1	43.3	68.8	27.5	3.2	0.4	0.0
	80代以上	n=112	43.8	42.0	68.8	31.3	1.8	2.7	0.9
性別	男性	n=383	28.5	26.9	56.7	37.9	6.0	1.0	0.8
	女性	n=621	31.2	31.4	61.5	38.0	6.0	1.0	0.6
地区	大字広原	n=315	27.6	28.6	55.2	39.7	5.4	1.6	1.0
	大字西麓	n=290	29.0	23.8	56.6	41.4	9.0	0.7	0.7
	大字後川内	n=117	31.6	30.8	70.9	30.8	5.1	0.9	0.9
	大字蒲牟田	n=282	33.3	36.5	63.1	35.5	3.9	0.7	0.4

問 12 生活全般を通じて、あなたはお住まいの地域で、現在の暮らしに満足していますか。

(○は1つ)

単位：%

		合計	満足している	どちらかといえば、満足している	どちらかといえば、満足していない	満足していない	無回答
全体		n=1,019	17.2	59.7	16.2	5.4	1.6
年代	20代	n=47	10.6	51.1	25.5	12.8	0.0
	30代	n=69	15.9	50.7	23.2	8.7	1.4
	40代	n=105	10.5	61.0	19.0	9.5	0.0
	50代	n=138	11.6	63.8	20.3	3.6	0.7
	60代	n=286	14.0	64.3	15.7	3.8	2.1
	70代	n=247	19.8	64.0	10.9	4.0	1.2
	80代以上	n=112	36.6	44.6	11.6	4.5	2.7
性別	男性	n=383	15.7	61.4	17.2	5.0	0.8
	女性	n=621	18.0	59.1	15.5	5.5	1.9
地区	大字広原	n=315	18.7	60.6	11.7	6.7	2.2
	大字西麓	n=290	15.2	61.4	18.3	3.8	1.4
	大字後川内	n=117	12.0	57.3	23.9	6.8	0.0
	大字蒲牟田	n=282	19.5	59.2	15.2	4.6	1.4

問 13 あなたは生活のなかで困ったとき、近所の人に支えてほしいと思いますか。

(○は1つ)

単位：%

		合計	困ったときには、近所の人に支えてほしいと思う(現在支えてもらっている場合も含む)	支えてほしいが、難しいと思う	近所の人に支えてほしいとは思わない	わからない	その他	無回答
全体		n=1,019	25.1	37.4	15.9	18.2	1.6	1.9
年代	20代	n=47	14.9	31.9	25.5	27.7	0.0	0.0
	30代	n=69	17.4	17.4	34.8	29.0	1.4	0.0
	40代	n=105	18.1	41.9	18.1	21.9	0.0	0.0
	50代	n=138	19.6	42.8	16.7	16.7	2.9	1.4
	60代	n=286	24.1	40.2	13.6	18.5	1.7	1.7
	70代	n=247	27.9	39.7	13.4	15.8	1.2	2.0
	80代以上	n=112	45.5	30.4	7.1	9.8	1.8	5.4
性別	男性	n=383	24.0	38.1	17.8	16.7	1.6	1.8
	女性	n=621	26.1	37.0	14.5	19.2	1.4	1.8
地区	大字広原	n=315	24.8	38.1	15.9	18.7	1.6	1.0
	大字西麓	n=290	22.4	35.2	20.0	17.9	1.4	3.1
	大字後川内	n=117	28.2	41.0	12.0	16.2	1.7	0.9
	大字蒲牟田	n=282	27.7	37.2	13.1	18.8	1.4	1.8

問 14 あなたは日常生活で、近所の人に助けてほしいと思うことがありますか。

(○は1つ)

単位：%

		合計	自分や家族の話し相手や相談相手になってほしい	安否確認や見守りをしてほしい	用事などのときなど一時的に子どもを預かってほしい	家事や買い物などを手伝ってほしい	出かける時の付き添いや送迎をしてほしい	介護を手伝ってほしい	その他	特に助けてほしいと思うことは無い	無回答
全体		n=1,019	11.6	10.1	1.1	0.9	0.8	0.4	3.2	67.1	4.8
年代	20代	n=47	4.3	8.5	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	85.1	0.0
	30代	n=69	1.4	15.9	2.9	1.4	0.0	1.4	4.3	71.0	1.4
	40代	n=105	7.6	7.6	5.7	0.0	1.0	1.0	2.9	69.5	4.8
	50代	n=138	15.9	11.6	0.7	0.0	0.7	0.0	1.4	68.1	1.4
	60代	n=286	8.7	7.0	0.0	0.3	0.3	0.3	2.8	76.2	4.2
	70代	n=247	12.6	12.1	0.4	0.4	1.2	0.0	4.9	62.8	5.7
	80代以上	n=112	25.9	11.6	0.0	5.4	1.8	0.9	3.6	41.1	9.8
性別	男性	n=383	11.5	7.6	1.0	0.5	1.0	0.3	1.8	73.6	2.6
	女性	n=621	11.9	11.6	1.1	1.1	0.6	0.5	4.2	63.3	5.6
地区	大字広原	n=315	13.7	9.5	1.3	0.0	0.6	0.3	4.4	67.0	3.2
	大字西麓	n=290	9.3	6.6	2.1	1.7	0.7	0.7	2.1	71.0	5.9
	大字後川内	n=117	12.8	8.5	0.0	0.9	0.9	0.0	1.7	70.1	5.1
	大字蒲牟田	n=282	11.7	15.2	0.4	1.1	1.1	0.4	3.9	62.1	4.3

問 15 あなたは、福祉に関するつぎのような活動に参加していますか。(○は1つ)

単位：%

		合計	自治会などの地域の福祉活動	福祉に関するボランティアやNPOの活動	福祉二重のある人どうしの当事者活動	その他	特に福祉に関する活動には、参加していない	無回答
全体		n=1,019	9.4	2.9	1.2	2.3	80.9	3.3
年代	20代	n=47	0.0	2.1	2.1	0.0	95.7	0.0
	30代	n=69	4.3	1.4	1.4	1.4	89.9	1.4
	40代	n=105	11.4	1.9	1.0	0.0	84.8	1.0
	50代	n=138	8.0	3.6	0.7	2.2	85.5	0.0
	60代	n=286	8.0	2.4	1.4	2.1	83.6	2.4
	70代	n=247	12.1	5.7	1.2	2.4	72.1	6.5
	80代以上	n=112	15.2	0.0	0.9	4.5	74.1	5.4
性別	男性	n=383	11.2	2.3	1.3	1.3	82.5	1.3
	女性	n=621	8.4	3.4	1.1	2.7	80.2	4.2
地区	大字広原	n=315	7.3	3.2	1.6	2.2	82.9	2.9
	大字西麓	n=290	9.7	3.4	1.0	1.7	81.4	2.8
	大字後川内	n=117	13.7	0.9	0.0	1.7	79.5	4.3
	大字蒲牟田	n=282	10.3	2.8	1.4	2.5	79.8	3.2

問 15-1 <問 15 で①～④を選択された方におたずねします。>

現在、福祉の活動をされている頻度はどのくらいですか。(○は1つ)

単位：%

		合計	ほぼ毎日	週に1～数回	月に1～数回	年に1～数回	ほとんどしていない	無回答
全体		n=161	7.5	14.3	24.8	38.5	9.9	5.0
年代	20代	n=2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	30代	n=6	33.3	16.7	0.0	50.0	0.0	0.0
	40代	n=15	6.7	6.7	20.0	60.0	6.7	0.0
	50代	n=20	15.0	5.0	10.0	50.0	15.0	5.0
	60代	n=40	2.5	10.0	25.0	47.5	12.5	2.5
	70代	n=53	5.7	24.5	32.1	26.4	3.8	7.5
	80代以上	n=23	0.0	13.0	30.4	30.4	21.7	4.3
性別	男性	n=62	4.8	9.7	24.2	43.5	14.5	3.2
	女性	n=97	8.2	17.5	24.7	36.1	7.2	6.2
地区	大字広原	n=45	11.1	11.1	24.4	33.3	6.7	13.3
	大字西麓	n=46	4.3	10.9	30.4	43.5	8.7	2.2
	大字後川内	n=19	0.0	10.5	15.8	57.9	10.5	5.3
	大字蒲牟田	n=48	8.3	20.8	25.0	31.3	14.6	0.0

問 15-2 <問 15 で①～④を選択された方におたずねします。>

福祉の活動をするうえで、困っていることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

単位：%

		合計	活動の時間的な負担が大きい	活動の体力的な負担が大きい	活動の経済的な負担が大きい	家族が活動を理解してくれない	一緒に活動するメンバーが少ない	活動メンバーが高齢化している	活動グループの運営が難しい	他の団体等との関係づくりが難しい
全体		n=161	13.0	9.9	2.5	0.6	20.5	36.0	1.9	3.1
年代	20代	n=2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	30代	n=6	33.3	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7
	40代	n=15	20.0	0.0	0.0	0.0	13.3	26.7	0.0	0.0
	50代	n=20	5.0	5.0	0.0	5.0	20.0	45.0	0.0	10.0
	60代	n=40	22.5	7.5	2.5	0.0	12.5	22.5	2.5	5.0
	70代	n=53	7.5	17.0	0.0	0.0	28.3	45.3	3.8	0.0
	80代以上	n=23	8.7	8.7	4.3	0.0	26.1	39.1	0.0	0.0
性別	男性	n=62	14.5	16.1	3.2	1.6	24.2	41.9	4.8	4.8
	女性	n=97	12.4	5.2	2.1	0.0	18.6	30.9	0.0	2.1
地区	大字広原	n=45	13.3	4.4	0.0	2.2	24.4	40.0	2.2	2.2
	大字西麓	n=46	10.9	21.7	2.2	0.0	19.6	37.0	2.2	4.3
	大字後川内	n=19	5.3	5.3	5.3	0.0	15.8	31.6	0.0	0.0
	大字蒲牟田	n=48	14.6	4.2	4.2	0.0	18.8	33.3	2.1	2.1
		合計	活動するための場所確保が難しい	活動のための財源確保が難しい	活動がマンネリ化している	新しい活動を始めることが難しい	活動について相談したり、専門的な支援をしてくれる人がいない	その他	わからない、もしくは特にな	無回答
全体		n=161	1.2	5.6	13.7	8.7	3.1	5.6	20.5	13.0
年代	20代	n=2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	n=6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	40代	n=15	6.7	20.0	13.3	13.3	6.7	0.0	26.7	6.7
	50代	n=20	0.0	10.0	15.0	5.0	0.0	0.0	25.0	15.0
	60代	n=40	0.0	2.5	12.5	12.5	7.5	10.0	25.0	15.0
	70代	n=53	0.0	5.7	9.4	7.5	1.9	5.7	15.1	11.3
	80代以上	n=23	0.0	0.0	17.4	8.7	0.0	8.7	17.4	21.7
性別	男性	n=62	3.2	8.1	21.0	14.5	3.2	4.8	17.7	8.1
	女性	n=97	0.0	4.1	8.2	5.2	3.1	6.2	22.7	16.5
地区	大字広原	n=45	0.0	4.4	11.1	6.7	4.4	8.9	22.2	13.3
	大字西麓	n=46	2.2	10.9	13.0	8.7	2.2	4.3	17.4	10.9
	大字後川内	n=19	0.0	0.0	10.5	10.5	5.3	5.3	26.3	21.1
	大字蒲牟田	n=48	2.1	4.2	16.7	10.4	2.1	4.2	20.8	12.5

問 16 あなたは今後、福祉に関する活動をしたい（または続けたい）と思いますか。

（○は1つ）

単位：％

		合計	現在の活動を続けていきたい	現在の活動に加えて、新たな活動もしていきたい	現在の活動に代えて、新たな活動をしていきたい	現在は活動していないが、今後何らかの活動をしたい	活動を減らしたい、または、辞めたい	現在は活動しておらず、今後も活動するつもりはない	その他	無回答
全体		n=1,019	8.9	2.1	0.4	29.1	1.0	43.4	7.9	7.2
年代	20代	n=47	4.3	0.0	0.0	34.0	0.0	48.9	12.8	0.0
	30代	n=69	2.9	4.3	0.0	39.1	1.4	47.8	2.9	1.4
	40代	n=105	4.8	4.8	0.0	37.1	2.9	43.8	5.7	1.0
	50代	n=138	9.4	1.4	0.7	42.0	0.0	34.8	5.8	5.8
	60代	n=286	7.3	2.1	0.3	33.9	1.0	39.2	8.4	7.7
	70代	n=247	14.2	1.6	0.4	18.2	0.8	45.3	9.3	10.1
	80代以上	n=112	10.7	0.9	0.0	11.6	0.9	54.5	8.0	13.4
性別	男性	n=383	7.8	2.3	0.8	29.8	1.0	47.0	5.7	5.5
	女性	n=621	9.5	1.9	0.0	29.1	1.0	40.9	9.3	8.2
地区	大字広原	n=315	9.8	1.0	0.3	25.7	0.6	46.0	9.5	7.0
	大字西麓	n=290	8.6	2.8	0.7	30.3	1.0	42.8	6.6	7.2
	大字後川内	n=117	9.4	0.9	0.0	28.2	0.0	41.9	12.0	7.7
	大字蒲牟田	n=282	8.2	2.8	0.0	32.6	1.4	41.8	6.0	7.1

問 16-1 <問 16 で①～④を選択された方におたずねします。>

今後、どのような福祉の活動をしたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

単位：％

		合計	ひとり暮らしの人などの安否確認や見守り、話し相手	高齢者・障がい者等の介護や家事の手伝い	介護をしている人への手伝いや話し相手	子育ての手伝いや相談相手	高齢者・障がい者等のサロン（地域での交流の場）などの手伝い	その他	無回答
全体		n=413	45.0	8.2	21.3	21.3	20.8	5.6	11.1
年代	20代	n=18	33.3	16.7	11.1	50.0	38.9	5.6	5.6
	30代	n=32	46.9	15.6	18.8	46.9	9.4	6.3	3.1
	40代	n=49	28.6	8.2	16.3	42.9	20.4	8.2	10.2
	50代	n=74	52.7	6.8	29.7	21.6	18.9	4.1	6.8
	60代	n=125	48.8	7.2	25.6	16.0	24.0	5.6	8.0
	70代	n=85	41.2	7.1	14.1	7.1	21.2	5.9	20.0
	80代以上	n=26	57.7	3.8	19.2	3.8	11.5	3.8	23.1
性別	男性	n=156	48.1	6.4	19.9	13.5	15.4	7.7	9.6
	女性	n=252	43.7	9.1	22.2	26.6	23.8	4.4	11.9
地区	大字広原	n=116	49.1	8.6	18.1	21.6	21.6	3.4	10.3
	大字西麓	n=123	40.7	8.1	22.8	18.7	13.8	10.6	13.0
	大字後川内	n=45	48.9	13.3	35.6	28.9	20.0	2.2	11.1
	大字蒲牟田	n=123	45.5	4.9	17.9	22.0	27.6	4.1	8.9



問 17 あなたは、町民も参加して「地域で支え合う福祉」を推進していくことについて、どのように思いますか。(○は1つ)

単位：%

	合計	町民一人ひとりが、お互いに支え合えるよう協力したい	町民一人ひとりが、自分ができることをしていけばよい	協力できる人が取り組めばよい	個人では難しいので、地域の団体などが中心となって取り組めばよい	福祉は行政の仕事なので、行政がやればよい	わからない	その他	無回答
全体	n=1,019	25.1	20.1	7.9	17.2	3.2	20.4	1.0	5.0
年代	20代	n=47	31.9	21.3	6.4	14.9	0.0	25.5	0.0
	30代	n=69	20.3	23.2	14.5	15.9	5.8	20.3	0.0
	40代	n=105	25.7	23.8	12.4	16.2	1.0	18.1	0.0
	50代	n=138	32.6	22.5	7.2	11.6	5.8	16.7	2.2
	60代	n=286	23.1	18.2	8.0	20.6	3.8	19.2	1.7
	70代	n=247	23.5	22.7	6.5	19.8	2.8	17.8	0.4
	80代以上	n=112	25.9	8.9	5.4	13.4	1.8	32.1	0.9
性別	男性	n=383	24.3	18.3	10.4	19.1	4.7	18.5	0.5
	女性	n=621	25.9	21.1	6.4	16.3	2.4	21.3	1.3
地区	大字広原	n=315	26.0	20.6	8.6	14.9	3.8	21.0	1.0
	大字西麓	n=290	24.1	20.0	9.7	16.9	2.8	19.0	1.7
	大字後川内	n=117	27.4	17.9	6.0	15.4	3.4	23.9	0.9
	大字蒲牟田	n=282	24.1	20.6	6.7	21.3	3.2	19.5	0.4

問 18 お住まいの地域の福祉に関する環境について、次のことをおおむね5年前とくらべ、どのように変わったと思いますか。

(在住5年未満の方は、現在の印象でお答えください)

(①～⑯のそれぞれについて1～5の中から1つに○)

①高齢者が生きがいをもち、安心して暮らせる

単位：%

	合計	かなりよくなった	多少はよくなった	あまり変わらない	悪くなった	わからない	無回答	
全体	n=1,019	4.0	13.4	43.2	3.5	29.5	6.3	
年代	20代	n=47	2.1	8.5	36.2	2.1	51.1	0.0
	30代	n=69	0.0	7.2	47.8	1.4	42.0	1.4
	40代	n=105	2.9	5.7	43.8	3.8	41.9	1.9
	50代	n=138	0.7	18.1	43.5	4.3	31.2	2.2
	60代	n=286	3.1	13.3	47.9	4.9	23.8	7.0
	70代	n=247	7.3	15.4	42.9	3.2	23.1	8.1
	80代以上	n=112	7.1	18.8	34.8	0.9	24.1	14.3
性別	男性	n=383	3.7	13.1	48.0	5.0	25.8	4.4
	女性	n=621	4.2	13.8	40.6	2.6	31.6	7.2
地区	大字広原	n=315	4.1	13.0	40.3	3.2	33.0	6.3
	大字西麓	n=290	4.1	14.5	44.1	3.8	26.2	7.2
	大字後川内	n=117	2.6	10.3	49.6	2.6	27.4	7.7
	大字蒲牟田	n=282	4.3	14.9	44.0	3.9	28.7	4.3

## ②障がい者が社会に参加し、安心して暮らせる

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	2.0	10.4	37.5	2.3	39.7	8.1
年代	20代	n=47	2.1	8.5	29.8	2.1	57.4	0.0
	30代	n=69	0.0	5.8	47.8	0.0	44.9	1.4
	40代	n=105	1.9	6.7	41.0	2.9	45.7	1.9
	50代	n=138	0.0	13.0	42.0	2.2	39.9	2.9
	60代	n=286	1.4	13.3	43.0	2.4	32.9	7.0
	70代	n=247	4.5	9.7	33.2	2.8	39.7	10.1
	80代以上	n=112	1.8	8.9	23.2	1.8	39.3	25.0
性別	男性	n=383	1.6	11.2	41.3	3.4	37.3	5.2
	女性	n=621	2.3	10.0	35.3	1.6	41.2	9.7
地区	大字広原	n=315	1.9	9.8	33.7	1.9	44.8	7.9
	大字西麓	n=290	3.1	11.4	37.6	3.1	35.9	9.0
	大字後川内	n=117	0.9	10.3	36.8	0.9	41.9	9.4
	大字蒲牟田	n=282	1.4	10.3	42.6	2.5	36.9	6.4

## ③ゆとりをもって安心して子育てができる

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	3.2	14.4	34.9	3.5	34.2	9.6
年代	20代	n=47	2.1	19.1	27.7	2.1	48.9	0.0
	30代	n=69	2.9	17.4	47.8	4.3	26.1	1.4
	40代	n=105	4.8	11.4	49.5	5.7	26.7	1.9
	50代	n=138	1.4	17.4	44.2	3.6	29.7	3.6
	60代	n=286	2.1	16.8	38.5	3.1	30.8	8.7
	70代	n=247	4.5	13.0	26.7	3.2	40.5	12.1
	80代以上	n=112	5.4	8.9	17.0	2.7	39.3	26.8
性別	男性	n=383	2.9	13.8	39.9	5.5	30.8	7.0
	女性	n=621	3.5	15.1	32.0	2.3	36.4	10.6
地区	大字広原	n=315	2.9	15.2	32.1	3.8	36.5	9.5
	大字西麓	n=290	4.1	15.5	31.0	2.8	36.6	10.0
	大字後川内	n=117	1.7	11.1	45.3	2.6	29.9	9.4
	大字蒲牟田	n=282	3.5	14.2	38.3	4.3	31.6	8.2

## ④子どもが健やかに育つ環境がある

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	4.8	16.8	36.7	3.5	27.6	10.6
年代	20代	n=47	4.3	19.1	36.2	2.1	38.3	0.0
	30代	n=69	7.2	15.9	49.3	4.3	21.7	1.4
	40代	n=105	6.7	15.2	48.6	5.7	21.9	1.9
	50代	n=138	0.7	23.2	44.9	5.8	21.7	3.6
	60代	n=286	3.1	18.5	43.0	3.1	23.8	8.4
	70代	n=247	6.9	15.4	27.1	2.4	33.6	14.6
	80代以上	n=112	6.3	9.8	17.0	1.8	34.8	30.4
性別	男性	n=383	3.9	17.8	41.0	5.7	24.0	7.6
	女性	n=621	5.3	16.4	34.3	2.1	30.1	11.8
地区	大字広原	n=315	3.5	17.5	32.1	4.4	32.4	10.2
	大字西麓	n=290	6.2	15.9	34.5	2.4	30.7	10.3
	大字後川内	n=117	4.3	13.7	49.6	1.7	18.8	12.0
	大字蒲牟田	n=282	5.0	18.4	39.7	4.3	23.4	9.2

⑤だれもが生涯学習や好きな活動ができる

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	3.5	12.2	37.4	3.3	33.8	9.8
年代	20代	n=47	2.1	14.9	36.2	2.1	44.7	0.0
	30代	n=69	2.9	4.3	47.8	4.3	39.1	1.4
	40代	n=105	3.8	5.7	41.9	7.6	39.0	1.9
	50代	n=138	0.7	13.8	47.8	1.4	33.3	2.9
	60代	n=286	2.4	14.7	39.5	4.2	31.1	8.0
	70代	n=247	6.5	14.6	32.8	2.4	31.2	12.6
	80代以上	n=112	4.5	9.8	23.2	0.9	31.3	30.4
性別	男性	n=383	2.9	15.1	39.9	4.7	30.8	6.5
	女性	n=621	4.0	10.5	36.2	2.4	35.6	11.3
地区	大字広原	n=315	3.2	10.2	34.9	4.1	39.4	8.3
	大字西麓	n=290	5.2	11.7	35.5	3.4	34.1	10.0
	大字後川内	n=117	0.0	12.8	44.4	2.6	28.2	12.0
	大字蒲牟田	n=282	3.9	15.2	40.1	2.5	29.1	9.2

⑥住民どうしのあたたかいふれあいがある

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	3.6	12.6	47.3	7.2	20.9	8.4
年代	20代	n=47	2.1	12.8	51.1	8.5	25.5	0.0
	30代	n=69	0.0	10.1	52.2	4.3	31.9	1.4
	40代	n=105	4.8	4.8	52.4	9.5	26.7	1.9
	50代	n=138	0.7	8.7	54.3	10.1	23.2	2.9
	60代	n=286	3.5	12.2	49.0	9.1	19.2	7.0
	70代	n=247	4.0	19.0	42.5	5.3	17.0	12.1
	80代以上	n=112	7.1	12.5	41.1	1.8	14.3	23.2
性別	男性	n=383	3.1	11.5	52.5	8.9	18.0	6.0
	女性	n=621	3.7	13.0	44.8	6.1	22.7	9.7
地区	大字広原	n=315	4.1	13.3	42.2	7.3	25.4	7.6
	大字西麓	n=290	3.4	11.4	47.9	7.2	21.0	9.0
	大字後川内	n=117	0.9	16.2	51.3	4.3	17.1	10.3
	大字蒲牟田	n=282	3.9	11.0	52.1	8.2	17.4	7.4

⑦世代が違う人どうしの交流がある

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	2.1	7.6	45.2	8.8	28.0	8.3
年代	20代	n=47	2.1	8.5	44.7	10.6	34.0	0.0
	30代	n=69	0.0	5.8	56.5	2.9	33.3	1.4
	40代	n=105	3.8	2.9	51.4	8.6	31.4	1.9
	50代	n=138	0.7	6.5	51.4	8.7	29.7	2.9
	60代	n=286	2.1	5.6	48.3	14.0	21.7	8.4
	70代	n=247	2.0	12.6	40.1	6.1	28.3	10.9
	80代以上	n=112	2.7	8.9	32.1	5.4	29.5	21.4
性別	男性	n=383	1.6	7.6	50.4	11.0	23.2	6.3
	女性	n=621	2.3	7.6	42.4	7.6	30.9	9.3
地区	大字広原	n=315	2.5	8.3	41.3	7.9	32.1	7.9
	大字西麓	n=290	1.0	7.6	45.2	8.6	28.3	9.3
	大字後川内	n=117	0.9	9.4	51.3	8.5	19.7	10.3
	大字蒲牟田	n=282	2.8	6.0	48.2	10.3	26.2	6.4

⑧困ったときもすぐに相談できる

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	3.7	7.8	46.2	4.4	29.2	8.6
年代	20代	n=47	2.1	4.3	46.8	4.3	42.6	0.0
	30代	n=69	0.0	5.8	58.0	2.9	31.9	1.4
	40代	n=105	2.9	3.8	54.3	3.8	33.3	1.9
	50代	n=138	0.0	8.0	52.2	5.1	31.9	2.9
	60代	n=286	3.8	7.0	52.1	6.6	22.7	7.7
	70代	n=247	7.3	9.7	38.1	2.8	30.4	11.7
	80代以上	n=112	4.5	12.5	32.1	2.7	25.0	23.2
	性別	男性	n=383	3.4	8.6	50.9	4.4	26.6
	女性	n=621	4.0	7.2	44.0	4.3	30.6	9.8
地区	大字広原	n=315	3.8	8.3	44.8	4.1	31.1	7.9
	大字西麓	n=290	2.4	9.7	42.4	5.5	30.3	9.7
	大字後川内	n=117	4.3	9.4	51.3	2.6	22.2	10.3
	大字蒲牟田	n=282	5.0	4.6	51.4	4.3	28.0	6.7

⑨困ったことがあっても誰かが支えてくれる

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	3.5	7.5	44.5	4.4	31.1	9.0
年代	20代	n=47	2.1	8.5	48.9	4.3	36.2	0.0
	30代	n=69	1.4	2.9	56.5	2.9	34.8	1.4
	40代	n=105	2.9	1.9	51.4	4.8	36.2	2.9
	50代	n=138	0.7	4.3	55.1	4.3	32.6	2.9
	60代	n=286	3.8	7.3	47.9	6.3	26.6	8.0
	70代	n=247	6.1	10.5	36.0	2.8	32.0	12.6
	80代以上	n=112	3.6	13.4	29.5	2.7	27.7	23.2
	性別	男性	n=383	4.2	8.9	47.3	4.7	28.2
	女性	n=621	3.2	6.6	43.2	4.0	33.0	10.0
地区	大字広原	n=315	3.8	7.3	43.2	3.8	33.7	8.3
	大字西麓	n=290	3.4	8.3	42.1	5.2	31.0	10.0
	大字後川内	n=117	3.4	6.8	53.0	3.4	23.1	10.3
	大字蒲牟田	n=282	3.5	6.7	46.1	4.3	31.9	7.4

⑩住まいや地域の生活環境がよい

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	5.4	14.2	51.9	5.4	14.7	8.3
年代	20代	n=47	4.3	6.4	55.3	6.4	27.7	0.0
	30代	n=69	0.0	15.9	59.4	5.8	17.4	1.4
	40代	n=105	5.7	8.6	60.0	8.6	15.2	1.9
	50代	n=138	1.4	12.3	61.6	5.1	16.7	2.9
	60代	n=286	3.5	18.2	53.1	6.3	10.8	8.0
	70代	n=247	9.3	16.6	46.2	3.6	12.6	11.7
	80代以上	n=112	9.8	10.7	39.3	3.6	17.0	19.6
	性別	男性	n=383	5.0	15.7	55.1	7.0	11.5
	女性	n=621	5.6	13.5	50.2	4.3	16.7	9.5
地区	大字広原	n=315	5.1	14.0	49.8	5.4	18.1	7.6
	大字西麓	n=290	5.5	18.3	49.3	3.8	14.5	8.6
	大字後川内	n=117	2.6	9.4	59.0	7.7	12.0	9.4
	大字蒲牟田	n=282	6.7	12.8	55.0	5.7	12.4	7.4

①道路や交通の便がよくだれもが外出しやすい

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	3.9	11.3	45.1	18.2	12.6	8.9
年代	20代	n=47	4.3	10.6	53.2	10.6	21.3	0.0
	30代	n=69	1.4	13.0	50.7	15.9	17.4	1.4
	40代	n=105	2.9	6.7	59.0	17.1	12.4	1.9
	50代	n=138	2.2	8.0	52.2	20.3	14.5	2.9
	60代	n=286	2.8	11.2	48.6	19.9	9.4	8.0
	70代	n=247	6.1	14.6	38.1	17.0	10.5	13.8
	80代以上	n=112	5.4	13.4	28.6	18.8	13.4	20.5
性別	男性	n=383	4.7	13.8	45.4	19.6	9.1	7.3
	女性	n=621	3.2	9.8	45.6	17.2	14.7	9.5
地区	大字広原	n=315	3.5	11.1	45.1	14.9	16.2	9.2
	大字西麓	n=290	4.1	13.8	44.1	16.2	12.4	9.3
	大字後川内	n=117	2.6	8.5	48.7	23.1	7.7	9.4
	大字蒲牟田	n=282	4.3	10.6	46.1	21.3	10.6	7.1

②いろいろな活動ができる場が身近にある

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	3.1	7.4	48.3	7.4	25.1	8.7
年代	20代	n=47	2.1	12.8	51.1	4.3	29.8	0.0
	30代	n=69	1.4	4.3	60.9	5.8	26.1	1.4
	40代	n=105	1.9	2.9	57.1	7.6	28.6	1.9
	50代	n=138	1.4	8.0	55.8	8.0	23.9	2.9
	60代	n=286	2.4	6.3	52.4	10.1	20.6	8.0
	70代	n=247	4.5	8.9	44.5	4.9	25.1	12.1
	80代以上	n=112	6.3	8.9	25.0	6.3	31.3	22.3
性別	男性	n=383	2.1	10.4	49.6	8.4	23.0	6.5
	女性	n=621	3.7	5.2	48.1	6.6	26.7	9.7
地区	大字広原	n=315	2.2	8.3	44.8	7.0	29.2	8.6
	大字西麓	n=290	4.5	7.2	49.0	5.5	24.5	9.3
	大字後川内	n=117	0.9	2.6	59.8	10.3	16.2	10.3
	大字蒲牟田	n=282	3.5	7.8	48.2	8.2	25.5	6.7

③生活のいろいろな面で便利である

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	2.8	8.5	52.3	13.2	14.7	8.3
年代	20代	n=47	2.1	8.5	57.4	8.5	23.4	0.0
	30代	n=69	2.9	2.9	63.8	10.1	18.8	1.4
	40代	n=105	1.9	1.9	68.6	10.5	15.2	1.9
	50代	n=138	2.2	7.2	61.6	13.0	13.0	2.9
	60代	n=286	1.4	8.7	51.0	18.5	12.9	7.3
	70代	n=247	4.9	11.3	45.7	12.1	13.8	12.1
	80代以上	n=112	3.6	13.4	38.4	8.9	15.2	20.5
性別	男性	n=383	3.1	9.7	55.9	14.9	10.4	6.0
	女性	n=621	2.6	7.7	50.6	12.2	17.6	9.3
地区	大字広原	n=315	3.5	10.5	51.1	8.3	19.0	7.6
	大字西麓	n=290	3.8	12.1	51.4	9.3	14.5	9.0
	大字後川内	n=117	0.0	1.7	57.3	23.9	6.8	10.3
	大字蒲牟田	n=282	2.1	5.7	53.5	18.1	13.8	6.7

⑭すべての人の人権が守られている

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	3.1	10.4	43.1	3.4	31.6	8.3
年代	20代	n=47	4.3	4.3	46.8	6.4	38.3	0.0
	30代	n=69	1.4	7.2	60.9	4.3	24.6	1.4
	40代	n=105	2.9	5.7	53.3	3.8	31.4	2.9
	50代	n=138	0.7	9.4	50.7	2.2	34.1	2.9
	60代	n=286	2.1	12.6	45.8	4.2	28.0	7.3
	70代	n=247	4.5	13.8	34.0	2.0	33.2	12.6
	80代以上	n=112	6.3	7.1	27.7	2.7	36.6	19.6
性別	男性	n=383	3.9	11.5	46.0	2.9	29.5	6.3
	女性	n=621	2.6	9.5	41.5	3.5	33.5	9.3
地区	大字広原	n=315	3.8	11.4	41.0	3.2	33.3	7.3
	大字西麓	n=290	3.4	9.7	44.8	2.4	30.0	9.7
	大字後川内	n=117	1.7	8.5	48.7	7.7	23.1	10.3
	大字蒲牟田	n=282	2.5	10.6	42.2	2.5	35.5	6.7

⑮災害などの面で安全である

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	5.7	19.0	44.4	4.2	19.3	7.4
年代	20代	n=47	6.4	12.8	46.8	6.4	27.7	0.0
	30代	n=69	2.9	11.6	52.2	7.2	24.6	1.4
	40代	n=105	5.7	19.0	49.5	2.9	21.0	1.9
	50代	n=138	0.7	19.6	53.6	2.9	20.3	2.9
	60代	n=286	3.5	19.6	48.6	7.0	15.0	6.3
	70代	n=247	8.1	24.7	37.2	2.0	17.4	10.5
	80代以上	n=112	12.5	12.5	30.4	2.7	23.2	18.8
性別	男性	n=383	6.0	22.7	44.9	5.2	15.7	5.5
	女性	n=621	5.3	16.7	44.3	3.7	21.7	8.2
地区	大字広原	n=315	5.7	17.8	43.8	5.4	21.0	6.3
	大字西麓	n=290	6.9	20.7	42.8	3.4	17.6	8.6
	大字後川内	n=117	5.1	12.8	53.0	5.1	15.4	8.5
	大字蒲牟田	n=282	4.3	21.6	43.6	3.5	20.9	6.0

⑯防災などに対して安心感がある

単位：％

		合計	かなりよ くなった	多少はよ くなった	あまり変 わらない	悪くなっ た	わからな い	無回答
全体		n=1,019	6.4	18.2	45.2	4.1	18.5	7.6
年代	20代	n=47	6.4	8.5	48.9	4.3	31.9	0.0
	30代	n=69	2.9	13.0	55.1	4.3	23.2	1.4
	40代	n=105	7.6	14.3	53.3	4.8	18.1	1.9
	50代	n=138	1.4	21.7	50.7	2.9	20.3	2.9
	60代	n=286	4.5	18.2	50.3	5.9	14.7	6.3
	70代	n=247	9.7	21.9	37.2	2.8	17.0	11.3
	80代以上	n=112	10.7	16.1	31.3	3.6	19.6	18.8
性別	男性	n=383	7.0	19.8	47.3	4.7	15.7	5.5
	女性	n=621	6.0	16.9	44.3	3.9	20.5	8.5
地区	大字広原	n=315	6.3	18.4	43.2	5.7	19.4	7.0
	大字西麓	n=290	7.2	19.7	44.5	3.4	16.6	8.6
	大字後川内	n=117	5.1	10.3	55.6	4.3	16.2	8.5
	大字蒲牟田	n=282	6.0	19.5	44.7	3.2	20.6	6.0

問 19 高原町において、今後おおむね5年間で、特に力を入れて取り組んでいく必要があることは何ですか。(〇は5つまで)

単位：％

		合計	寝たきりや認知症などの高齢者への介護	高齢者の生きがいづくり	障がい者(児)の介護や支援	介護している家族等への支援(ケアラー支援)	子育てへの支援	子どもの健全育成や虐待問題への対応	低所得などで生活に困っている人への支援	外国籍住民への支援	地域の生活環境を良くするための取り組み
全体		n=1,019	36.1	30.8	16.8	30.7	34.7	17.5	23.1	2.4	25.7
年代	20代	n=47	19.1	27.7	21.3	38.3	55.3	29.8	25.5	8.5	23.4
	30代	n=69	21.7	26.1	13.0	27.5	76.8	30.4	23.2	7.2	21.7
	40代	n=105	24.8	33.3	16.2	33.3	52.4	21.9	14.3	3.8	24.8
	50代	n=138	34.1	23.9	23.9	40.6	39.9	17.4	22.5	2.9	28.3
	60代	n=286	39.5	30.1	16.8	31.5	28.3	18.9	22.4	1.0	26.9
	70代	n=247	41.7	36.4	14.2	26.3	21.5	10.5	27.9	1.2	24.7
	80代以上	n=112	45.5	33.0	17.0	25.0	25.0	12.5	23.2	0.9	26.8
性別	男性	n=383	37.6	33.2	19.8	31.3	40.2	18.3	22.5	2.6	29.2
	女性	n=621	35.4	29.8	15.3	30.9	31.7	17.1	23.5	2.3	23.7
地区	大字広原	n=315	35.9	25.1	18.1	31.1	36.2	18.4	23.2	2.5	24.4
	大字西麓	n=290	33.4	34.5	18.3	29.7	32.4	18.3	23.4	3.1	24.1
	大字後川内	n=117	40.2	27.4	12.8	32.5	35.0	12.8	24.8	3.4	26.5
	大字蒲牟田	n=282	37.6	35.1	16.0	31.6	36.2	17.7	22.3	1.1	28.4
	合計		ボランティアなどの地域での活動の推進	地域の人のつながりづくりや交流の場づくり	日常のちょっとした支援を行う活動	災害時の高齢者・障がい者等への支援体制づくり	福祉の支援が必要な人などの権利擁護	福祉の相談が気軽にできるしくみづくり	その他	わからない、もしくは特はない	無回答
全体		n=1,019	7.8	18.1	19.4	22.0	9.1	29.0	2.5	10.5	4.9
年代	20代	n=47	8.5	8.5	17.0	14.9	2.1	8.5	2.1	6.4	0.0
	30代	n=69	5.8	13.0	11.6	26.1	8.7	24.6	7.2	5.8	1.4
	40代	n=105	7.6	17.1	19.0	23.8	5.7	17.1	7.6	9.5	1.9
	50代	n=138	7.2	17.4	22.5	21.7	10.1	28.3	2.9	8.7	1.4
	60代	n=286	8.7	20.3	19.6	24.1	12.9	30.1	1.0	9.8	4.9
	70代	n=247	9.7	23.1	19.8	17.4	7.7	35.6	0.8	11.7	6.1
	80代以上	n=112	2.7	12.5	21.4	26.8	8.0	35.7	1.8	14.3	12.5
性別	男性	n=383	9.7	18.0	16.4	20.9	7.8	25.8	2.3	11.7	2.6
	女性	n=621	6.6	18.5	21.4	22.9	10.0	31.2	2.6	9.3	6.0
地区	大字広原	n=315	7.9	16.2	17.1	20.6	11.1	26.0	1.9	11.4	4.1
	大字西麓	n=290	6.9	18.3	22.1	23.8	11.7	30.3	1.4	11.0	5.2
	大字後川内	n=117	8.5	17.9	17.9	20.5	4.3	34.2	3.4	11.1	4.3
	大字蒲牟田	n=282	7.8	20.6	20.2	21.6	6.7	29.4	3.9	7.8	5.3

問 20 今後、特にどのような人に、福祉の活動に参加してほしいと思いますか。(〇は2つまで)

単位：％

		合計	小学生・中学生などの子どもたち	高齢者	若い世代の人	定年退職者や子育ての手が離れた世代の人	PTAや自治会などの活動の経験者	地域にある企業の従業員など	その他	わからない、もしくは特はない	無回答
全体		n=1,019	17.2	8.9	31.9	45.3	12.0	6.9	1.2	23.9	5.1
年代	20代	n=47	27.7	6.4	29.8	21.3	17.0	10.6	4.3	27.7	0.0
	30代	n=69	33.3	5.8	29.0	42.0	4.3	13.0	2.9	21.7	2.9
	40代	n=105	27.6	7.6	28.6	38.1	7.6	7.6	1.0	30.5	1.9
	50代	n=138	22.5	1.4	37.7	45.7	7.2	8.7	0.7	23.9	1.4
	60代	n=286	13.3	8.7	36.0	50.3	12.2	8.0	1.0	21.3	3.8
	70代	n=247	12.1	14.2	27.9	49.8	15.4	4.5	0.8	21.5	7.7
	80代以上	n=112	8.9	10.7	30.4	44.6	17.0	0.9	0.9	28.6	11.6
性別	男性	n=383	14.4	9.7	31.6	43.6	13.3	8.1	1.0	26.6	2.3
	女性	n=621	19.0	8.4	32.2	47.0	11.3	6.1	1.3	22.4	6.3
地区	大字広原	n=315	16.5	12.1	33.3	41.6	10.8	5.1	0.6	25.1	5.4
	大字西麓	n=290	17.6	7.2	31.7	49.0	12.1	8.3	1.0	25.2	4.5
	大字後川内	n=117	12.8	7.7	28.2	44.4	12.8	6.8	0.9	27.4	5.1
	大字蒲牟田	n=282	19.1	7.4	32.6	47.2	13.1	7.1	2.1	20.6	4.3

問 21 町民が福祉に関していっそう相談しやすくするために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は2つまで)

単位：%

	合計	福祉に関する町の相談窓口を充実する	地域包括支援センターなどの相談機関を充実する	身近な福祉施設・事業所や医療機関・薬局等で相談にのってもらえるようにする	町民も参加する身近な地域の相談窓口を開設、充実する	地域で相談にのっている民生委員・児童委員・福祉委員と専門機関等をつなぐ人やしくみを充実する	その他	わからない、もしくは特にない	無回答	
全体	n=1,019	38.7	20.0	21.3	17.7	27.0	2.0	17.8	6.1	
年代	20代	n=47	36.2	23.4	21.3	17.0	21.3	6.4	23.4	0.0
	30代	n=69	39.1	17.4	23.2	15.9	27.5	4.3	23.2	1.4
	40代	n=105	30.5	27.6	16.2	17.1	22.9	4.8	20.0	2.9
	50代	n=138	38.4	26.8	25.4	18.1	23.2	5.1	13.8	1.4
	60代	n=286	41.6	19.9	23.4	19.6	28.3	0.0	15.0	5.2
	70代	n=247	39.3	17.4	18.6	18.6	30.4	0.0	16.2	8.9
	80代以上	n=112	41.1	13.4	20.5	13.4	28.6	1.8	21.4	14.3
性別	男性	n=383	41.0	21.7	19.6	19.1	26.4	2.6	18.8	3.7
	女性	n=621	37.7	19.5	22.5	17.1	27.5	1.6	16.6	7.1
地区	大字広原	n=315	40.0	20.6	22.5	16.8	24.1	1.0	18.1	4.1
	大字西麓	n=290	39.3	20.0	23.4	18.6	28.3	2.4	21.0	5.2
	大字後川内	n=117	34.2	18.8	12.8	18.8	29.9	0.9	18.8	6.8
	大字蒲牟田	n=282	39.0	20.9	21.3	17.7	27.7	3.2	12.8	7.8

問 22 日常的に見守りや生活支援が必要な人が安心して生活できるようにしていくために、特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は2つまで)

単位：%

	合計	見守りや生活支援が必要な人を把握するための調査を行う	自治会等の身近な地域での見守りや支援の体制を充実する	希望する人には有償で生活支援を行うしくみをつくる	地域と専門機関との連携を充実する	その他	わからない、もしくは特にない	無回答	
全体	n=1,019	46.3	31.8	20.7	30.1	0.7	14.6	6.6	
年代	20代	n=47	44.7	27.7	10.6	42.6	2.1	17.0	0.0
	30代	n=69	50.7	20.3	29.0	37.7	1.4	14.5	1.4
	40代	n=105	48.6	17.1	26.7	36.2	1.0	16.2	1.0
	50代	n=138	49.3	35.5	23.9	34.1	1.4	10.9	2.2
	60代	n=286	47.9	36.0	19.2	33.9	0.7	12.2	4.9
	70代	n=247	43.3	37.7	19.8	20.6	0.0	14.6	10.5
	80代以上	n=112	43.8	28.6	17.9	24.1	0.0	18.8	17.0
性別	男性	n=383	48.0	34.5	24.3	26.4	0.3	17.5	2.9
	女性	n=621	45.7	30.6	18.7	33.0	1.0	12.4	8.4
地区	大字広原	n=315	49.8	25.1	23.5	29.5	0.6	15.2	5.4
	大字西麓	n=290	48.6	34.1	22.1	30.3	0.7	14.8	5.9
	大字後川内	n=117	41.0	32.5	13.7	31.6	0.0	17.1	8.5
	大字蒲牟田	n=282	42.9	36.9	19.5	30.9	1.1	12.1	7.1



問 23 地震や風水害等時に、誰もが安全に避難等できるようにしていくうえであなたが  
 気になることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

単位：％

		合計	自分や家族が安全に避難できるか心配	近所に自分では安全に避難できないと思う人がいる	避難場所やそこまでの経路がわからない	介護や生活支援が必要なので、避難所で生活できるか心配	その他	特に気になることはない	無回答
全体		n=1,019	47.2	22.9	10.3	12.3	3.3	26.9	6.1
年代	20代	n=47	53.2	21.3	40.4	6.4	2.1	21.3	0.0
	30代	n=69	75.4	8.7	13.0	2.9	5.8	17.4	0.0
	40代	n=105	48.6	23.8	12.4	7.6	6.7	25.7	3.8
	50代	n=138	48.6	23.9	6.5	8.7	3.6	27.5	2.9
	60代	n=286	43.7	28.7	8.4	12.9	3.8	28.0	5.9
	70代	n=247	42.1	22.3	9.3	13.0	1.6	31.2	6.9
	80代以上	n=112	47.3	17.0	7.1	25.9	1.8	22.3	15.2
性別	男性	n=383	38.1	29.8	9.4	13.6	3.4	33.2	3.4
	女性	n=621	53.5	18.4	11.1	11.4	3.4	23.0	7.4
地区	大字広原	n=315	45.4	19.7	12.4	13.3	3.2	28.9	6.7
	大字西麓	n=290	47.2	25.2	11.7	10.7	2.8	25.9	4.8
	大字後川内	n=117	53.0	23.1	8.5	11.1	2.6	29.9	4.3
	大字蒲牟田	n=282	47.9	23.8	7.8	12.8	4.6	24.8	6.4

問 24 災害時に誰もが安全に避難などができるよう地域で支え合うために、支援が必要な人の情報を地域で共有することについて、どのように思いますか。（①、②のそれぞれについて1～3の中から1つに○）

①あなたが支援する立場であった場合

単位：％

あなたが支援する立場であった場合		合計	情報が適切に管理され、プライバシーが守られるのならば、個人情報を提供してもよいと思う	どのような場合であっても、個人情報は提供したくないと思う	わからない	無回答
全体		n=1,019	54.9	14.6	23.1	7.5
年代	20代	n=47	70.2	14.9	14.9	0.0
	30代	n=69	71.0	15.9	13.0	0.0
	40代	n=105	69.5	12.4	17.1	1.0
	50代	n=138	69.6	13.8	15.9	0.7
	60代	n=286	52.4	15.4	26.6	5.6
	70代	n=247	45.3	17.0	28.3	9.3
	80代以上	n=112	39.3	8.9	25.9	25.9
性別	男性	n=383	58.2	13.1	23.8	5.0
	女性	n=621	53.6	15.3	22.7	8.4
地区	大字広原	n=315	56.8	12.1	21.6	9.5
	大字西麓	n=290	54.1	19.3	21.4	5.2
	大字後川内	n=117	53.0	13.7	26.5	6.8
	大字蒲牟田	n=282	55.3	12.8	25.5	6.4

②あなたが支援を必要とする立場であった場合

単位：％

あなたが支援を必要とする立場であった場合		合計	情報が適切に管理され、プライバシーが守られるのならば、個人情報を提供してもよいと思う	どのような場合であっても、個人情報は提供したくないと思う	わからない	無回答
全体		n=1,019	57.6	15.5	20.5	6.4
年代	20代	n=47	70.2	14.9	14.9	0.0
	30代	n=69	65.2	17.4	15.9	1.4
	40代	n=105	70.5	13.3	14.3	1.9
	50代	n=138	68.1	14.5	15.2	2.2
	60代	n=286	56.3	15.7	23.8	4.2
	70代	n=247	51.4	15.4	25.1	8.1
	80代以上	n=112	46.4	14.3	20.5	18.8
性別	男性	n=383	60.8	12.5	23.2	3.4
	女性	n=621	56.7	16.7	19.0	7.6
地区	大字広原	n=315	61.0	13.0	20.0	6.0
	大字西麓	n=290	54.8	18.6	21.0	5.5
	大字後川内	n=117	53.8	17.1	22.2	6.8
	大字蒲牟田	n=282	59.9	13.5	20.6	6.0

問 25 あなたは災害時に地域で支え合う活動をするために、特にどのような条件づくりが必要だと思いますか。（○は2つまで）

単位：％

		合計	災害時に支援が必要な人がどこにいるか等の情報共有	地域での防災組織の確立	災害時に活動のコーディネートや支援を行う「災害ボランティアセンター」の構築	災害時の避難や救出に活用できる資機材の整備	平時からの意識づくりや話し合い、訓練等の実施	その他	わからない、もしくは特にない	無回答
全体		n=1,019	55.1	22.7	11.7	20.1	29.1	0.7	13.8	6.2
年代	20代	n=47	59.6	12.8	10.6	36.2	29.8	4.3	14.9	0.0
	30代	n=69	55.1	18.8	21.7	33.3	24.6	0.0	11.6	0.0
	40代	n=105	59.0	26.7	15.2	24.8	20.0	2.9	8.6	3.8
	50代	n=138	58.7	23.2	15.9	24.6	33.3	0.7	10.1	0.7
	60代	n=286	61.5	20.6	11.2	19.6	32.2	0.3	11.9	5.2
	70代	n=247	53.4	24.7	9.7	12.6	31.2	0.0	16.2	6.9
	80代以上	n=112	37.5	28.6	3.6	15.2	25.0	0.0	19.6	18.8
性別	男性	n=383	57.7	25.1	11.0	24.5	28.5	0.3	13.8	2.9
	女性	n=621	54.1	21.7	12.2	17.7	30.0	1.0	13.4	7.6
地区	大字広原	n=315	55.9	22.2	12.4	21.9	25.7	1.0	13.7	6.7
	大字西麓	n=290	52.1	24.1	13.1	21.4	33.1	0.0	15.5	5.2
	大字後川内	n=117	54.7	28.2	10.3	16.2	29.1	1.7	9.4	5.1
	大字蒲牟田	n=282	58.9	20.6	10.3	19.1	29.1	0.7	13.5	5.3

問 26 「成年後見制度」をご存知ですか。(○は1つ)

単位：%

		合計	よく知っ ている	少し知っ ている	よく知ら ないが聞 いた事がある	全く聞い た事がない	無回答
全体		n=1,019	11.3	26.8	34.9	22.8	4.2
年代	20代	n=47	10.6	25.5	21.3	42.6	0.0
	30代	n=69	8.7	36.2	24.6	29.0	1.4
	40代	n=105	10.5	24.8	29.5	34.3	1.0
	50代	n=138	8.7	26.1	43.5	21.0	0.7
	60代	n=286	12.2	29.7	38.1	18.2	1.7
	70代	n=247	12.6	27.1	35.2	19.0	6.1
	80代以上	n=112	12.5	18.8	33.9	22.3	12.5
性別	男性	n=383	9.4	26.9	36.3	25.1	2.3
	女性	n=621	12.6	26.9	34.5	21.4	4.7
地区	大字広原	n=315	10.8	25.1	35.6	24.8	3.8
	大字西麓	n=290	11.7	29.0	34.8	20.0	4.5
	大字後川内	n=117	6.8	24.8	43.6	21.4	3.4
	大字蒲牟田	n=282	12.8	28.4	31.6	24.1	3.2

問 27 あなた自身が認知症などで判断ができなくなったとき、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(○は1つ)

単位：%

		合計	はい	いいえ	わからな い	無回答
全体		n=1,019	43.0	11.0	43.3	2.7
年代	20代	n=47	53.2	4.3	42.6	0.0
	30代	n=69	42.0	8.7	49.3	0.0
	40代	n=105	39.0	3.8	56.2	1.0
	50代	n=138	44.9	9.4	44.2	1.4
	60代	n=286	46.9	12.2	40.2	0.7
	70代	n=247	41.7	13.4	41.3	3.6
	80代以上	n=112	35.7	15.2	39.3	9.8
性別	男性	n=383	43.1	10.2	44.9	1.8
	女性	n=621	43.3	11.3	42.5	2.9
地区	大字広原	n=315	43.5	12.7	40.6	3.2
	大字西麓	n=290	43.4	9.0	44.8	2.8
	大字後川内	n=117	41.9	7.7	49.6	0.9
	大字蒲牟田	n=282	43.3	12.1	42.6	2.1

問 27-1 <問 27 で「1. はい」と答えた人におたずねします。>

後見人は誰になってもらいたいですか。(○は2つまで)

単位：%

		合計	親、子、 兄弟姉 妹、配偶 者、その 他親族	専門職 (弁護 士、司法 書士、社 会福祉士 など)	法律又は 福祉に関 する法人	社会福祉 協議会	ボラン ティア (市民後 見人)	その他	無回答
全体		n=438	86.3	28.1	5.3	8.4	1.1	0.7	3.2
年代	20代	n=25	80.0	40.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0
	30代	n=29	86.2	44.8	6.9	0.0	0.0	0.0	6.9
	40代	n=41	82.9	26.8	0.0	4.9	0.0	0.0	2.4
	50代	n=62	83.9	43.5	6.5	8.1	0.0	0.0	0.0
	60代	n=134	88.8	26.1	9.0	9.0	0.7	0.7	2.2
	70代	n=103	89.3	23.3	1.0	7.8	1.9	1.9	1.9
	80代以上	n=40	80.0	7.5	2.5	20.0	5.0	0.0	15.0
性別	男性	n=165	84.2	27.9	6.1	9.7	1.8	0.0	5.5
	女性	n=269	87.4	28.6	4.8	7.4	0.7	1.1	1.9
地区	大字広原	n=137	87.6	23.4	7.3	8.8	1.5	1.5	2.9
	大字西麓	n=126	84.9	34.1	5.6	7.9	1.6	0.8	3.2
	大字後川内	n=49	83.7	30.6	0.0	14.3	0.0	0.0	2.0
	大字蒲牟田	n=122	86.9	26.2	4.9	5.7	0.8	0.0	4.1

問 28 あなたは、再犯防止に関する広報・啓発活動の取り組みである「社会を明るくする運動」又は「再犯防止啓発月間」を聞いたことがありますか。（○は1つ）

単位：%

		合計	両方とも聞いたことがある	「社会を明るくする運動」のみ聞いたことがある	「再犯防止啓発月間」のみ聞いたことがある	両方とも聞いたことがない	わからない	無回答
全体		n=1,019	25.6	8.6	9.3	31.2	18.8	6.4
年代	20代	n=47	21.3	10.6	8.5	48.9	10.6	0.0
	30代	n=69	14.5	10.1	5.8	46.4	21.7	1.4
	40代	n=105	20.0	2.9	15.2	39.0	21.0	1.9
	50代	n=138	21.7	6.5	12.3	43.5	13.0	2.9
	60代	n=286	29.0	10.5	9.8	27.6	16.1	7.0
	70代	n=247	27.5	10.5	7.7	22.7	25.9	5.7
	80代以上	n=112	33.9	6.3	6.3	21.4	15.2	17.0
性別	男性	n=383	27.7	7.3	9.1	32.9	17.8	5.2
	女性	n=621	24.8	9.5	9.5	30.3	19.5	6.4
地区	大字広原	n=315	25.4	8.6	9.5	32.7	17.5	6.3
	大字西麓	n=290	27.2	8.6	10.3	29.7	19.7	4.5
	大字後川内	n=117	26.5	8.5	13.7	25.6	19.7	6.0
	大字蒲牟田	n=282	24.8	8.9	6.7	33.3	19.1	7.1

問 28-1 <問 28 で①～③を選択された方におたずねします。>

どのようにして知りましたか。（あてはまるものすべてに○）

単位：%

		合計	パンフレットやポスターで知った	イベントやシンポジウムに参加して知った	テレビや新聞で知った	ホームページやTwitterやLINEといったSNSなどのインターネットで知った	知人から聞いて知った	その他	わからない	無回答
全体		n=444	48.4	4.1	54.7	3.6	6.5	1.4	2.9	1.6
年代	20代	n=19	68.4	0.0	26.3	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0
	30代	n=21	61.9	0.0	28.6	0.0	4.8	0.0	19.0	0.0
	40代	n=40	50.0	0.0	45.0	10.0	0.0	2.5	5.0	2.5
	50代	n=56	51.8	1.8	53.6	10.7	3.6	0.0	0.0	1.8
	60代	n=141	52.5	3.5	54.6	2.1	9.2	1.4	2.1	0.7
	70代	n=113	40.7	5.3	65.5	1.8	6.2	1.8	0.9	0.0
	80代以上	n=52	38.5	11.5	61.5	0.0	7.7	0.0	5.8	7.7
性別	男性	n=169	50.9	5.3	51.5	6.5	8.3	1.2	3.0	0.6
	女性	n=272	47.4	2.9	57.0	1.8	5.1	1.5	2.9	2.2
地区	大字広原	n=137	51.8	4.4	51.1	3.6	8.0	1.5	2.2	1.5
	大字西麓	n=134	47.0	4.5	59.0	3.7	4.5	0.0	3.7	3.7
	大字後川内	n=57	40.4	3.5	50.9	1.8	7.0	3.5	3.5	0.0
	大字蒲牟田	n=114	50.9	3.5	57.0	3.5	6.1	1.8	2.6	0.0

問 28-2 あなたは、再犯防止に関して、広く国民の理解や関心を深めるためには、国は  
何をすべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

単位：％

		合計	芸能人や キャラクターが 出演するイベ ントを充実す る	誰もが参 加できる 講習会など のシン ポジウム を充実す る	テレビや 新聞など での広報 を充実す る	ホーム ページや SNSな どのイン ターネッ トでの情 報発信を 充実する	パンフ レットや ポスター を増やす	再犯防止 に協力す る民間協 力者に対 する表彰 の機会を 増やす
全体		n=1,019	7.5	18.2	47.6	16.5	22.5	5.8
年代	20代	n=47	17.0	6.4	42.6	29.8	17.0	6.4
	30代	n=69	13.0	11.6	36.2	40.6	18.8	13.0
	40代	n=105	12.4	8.6	38.1	28.6	19.0	10.5
	50代	n=138	9.4	20.3	49.3	23.2	21.0	5.1
	60代	n=286	6.6	21.7	56.6	14.0	24.1	3.5
	70代	n=247	4.0	18.2	49.4	8.1	26.7	6.1
	80代以上	n=112	2.7	25.9	41.1	0.9	21.4	3.6
性別	男性	n=383	6.5	17.8	47.8	16.7	27.4	8.4
	女性	n=621	8.2	18.5	48.3	16.4	20.0	4.3
地区	大字広原	n=315	5.7	16.5	48.3	14.6	21.3	4.8
	大字西麓	n=290	8.6	18.6	50.7	21.7	25.2	8.3
	大字後川内	n=117	8.5	22.2	46.2	12.8	19.7	6.0
	大字蒲牟田	n=282	8.2	18.1	46.1	14.5	23.4	4.3
		合計	学校の授 業で取り 上げるよ う働きか ける	地域や社 会教育の 場で話し 合う機会 をもつよ う働きか ける	職場の研 修などで 取り上げ るよう働 きかける	その他	わからな い	無回答
全体		n=1,019	34.7	19.3	16.2	1.0	12.7	11.9
年代	20代	n=47	51.1	10.6	17.0	0.0	14.9	8.5
	30代	n=69	53.6	14.5	23.2	1.4	10.1	5.8
	40代	n=105	44.8	16.2	24.8	2.9	14.3	8.6
	50代	n=138	39.1	20.3	23.2	3.6	10.1	7.2
	60代	n=286	37.1	23.1	14.7	0.3	9.1	9.4
	70代	n=247	27.9	19.4	10.9	0.0	13.4	14.2
	80代以上	n=112	13.4	20.5	11.6	0.0	18.8	24.1
性別	男性	n=383	31.1	17.5	17.5	1.0	11.7	12.5
	女性	n=621	37.7	20.9	15.6	1.0	12.7	11.0
地区	大字広原	n=315	34.3	17.5	19.0	1.6	16.2	11.1
	大字西麓	n=290	35.5	19.3	15.5	0.3	12.1	11.0
	大字後川内	n=117	33.3	22.2	9.4	1.7	7.7	13.7
	大字蒲牟田	n=282	35.8	20.9	17.0	0.7	10.6	11.7

---

## 第2期高原町地域福祉計画・地域福祉活動計画

発行：高原町

高原町社会福祉協議会

発行年月：令和4年3月

### ■高原町

〒889-4492

宮崎県西諸県郡高原町大字西麓 899 番地

電話番号：0984-42-2111

F A X：0984-42-4623

### ■社会福祉法人 高原町社会福祉協議会

〒889-4412

宮崎県西諸県郡高原町大字西麓 360 番地 1

電話番号：0984-42-2230

F A X：0984-42-4974

---